

Ⅲ 調査結果

(個人アンケート調査)

1. 回答者の属性

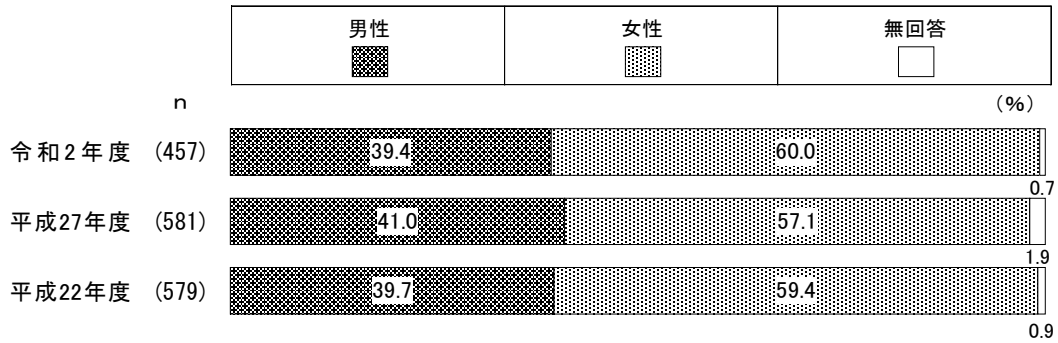
〔結果（概要）〕

- ◇回答者は、男性が約4割、女性が約6割である。
- ◇年齢別で見ると、最も少ないのは20代（12.9%）で、最も多いのは40代（21.2%）であった。
- ◇年代ごとの人口割合を考慮したうえでの無作為抽出を行っているが、今回の調査では、戸田市の居住年数が20年以上である人が87.1%と、過去の調査と比較すると偏った結果となった。
- ◇家族構成は、「夫婦と子ども」が最も多い。

(1) 性別

◇「男性」が39.4%、「女性」は60.0%

問1 あなたの性別はどちらですか。御自身が自認する性別を選択してください。

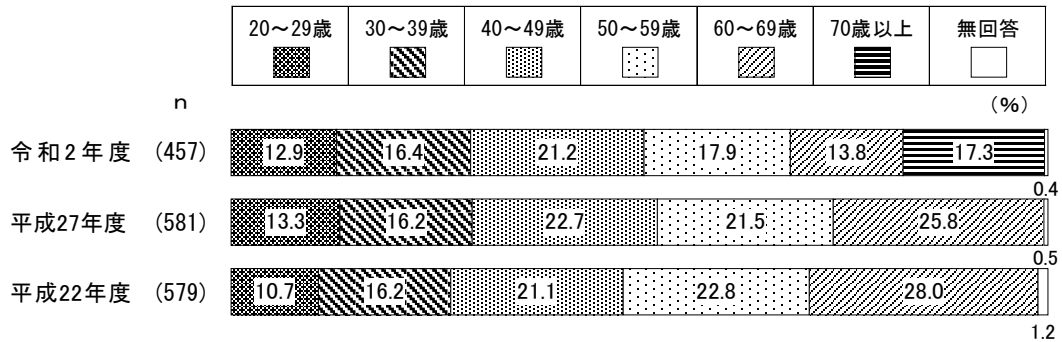


性別は、「男性」が39.4%、「女性」は60.0%となっている。

(2) 年齢

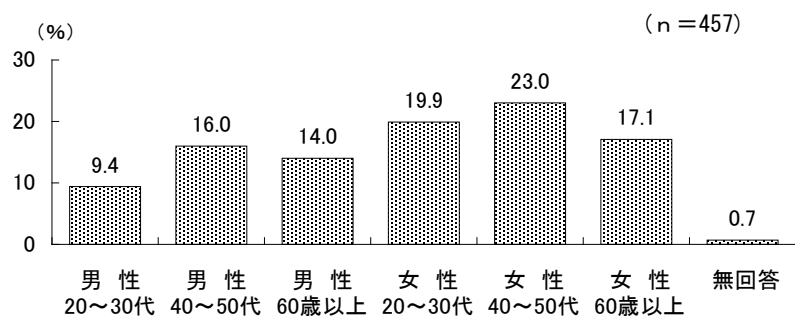
◇「40～49歳」が21.2%

問2 あなたの年齢はいくつですか。（令和2年5月1日現在）



※平成27年度までは「60～69歳」と「70歳以上」は「60歳以上」としていた

【性・年齢別】

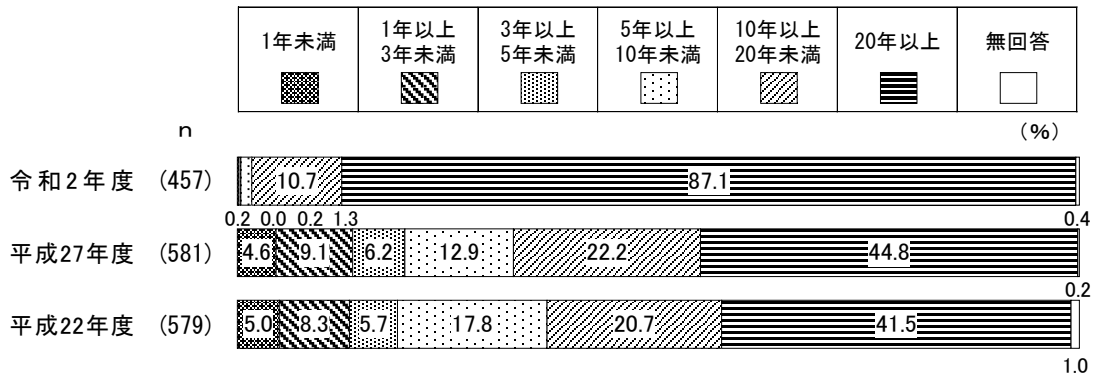


年齢は、「40～49歳」が21.2%で最も高く、次いで「50～59歳」(17.9%)、「70歳以上」(17.3%)、「30～39歳」(16.4%)、「60～69歳」(13.8%)、「20～29歳」(12.9%)と続いており、性・年齢別では「女性40～50代」が23.0%で最も高くなっている。

(3) 居住年数

◇「20年以上」が87.1%

問3 あなたは戸田市内に何年くらいお住みですか。



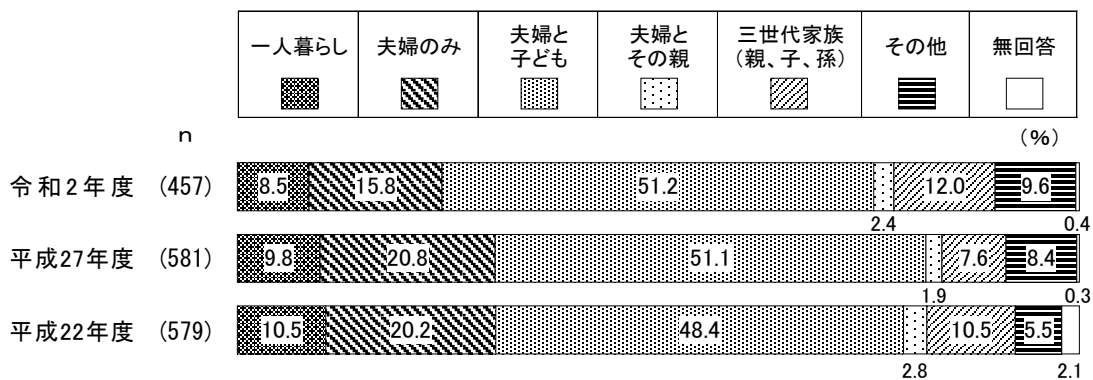
居住年数は、「20年以上」が87.1%で最も高く、次いで「10年以上20年未満」（10.7%）と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「20年以上」は平成27年度より42.3ポイント増加している。

(4) 家族構成

◇「夫婦と子ども」が51.2%

問4 （現在同居している）あなたの家族はどのような構成ですか。



家族構成は、「夫婦と子ども」が51.2%で最も高く、次いで「夫婦のみ」（15.8%）、「三世大家族（親、子、孫）」（12.0%）、「一人暮らし」（8.5%）と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「三世大家族（親、子、孫）」は平成27年度より4.4ポイント増加している。一方、「夫婦のみ」は平成27年度より5.0ポイント減少している。

2 市民の生涯学習の実態

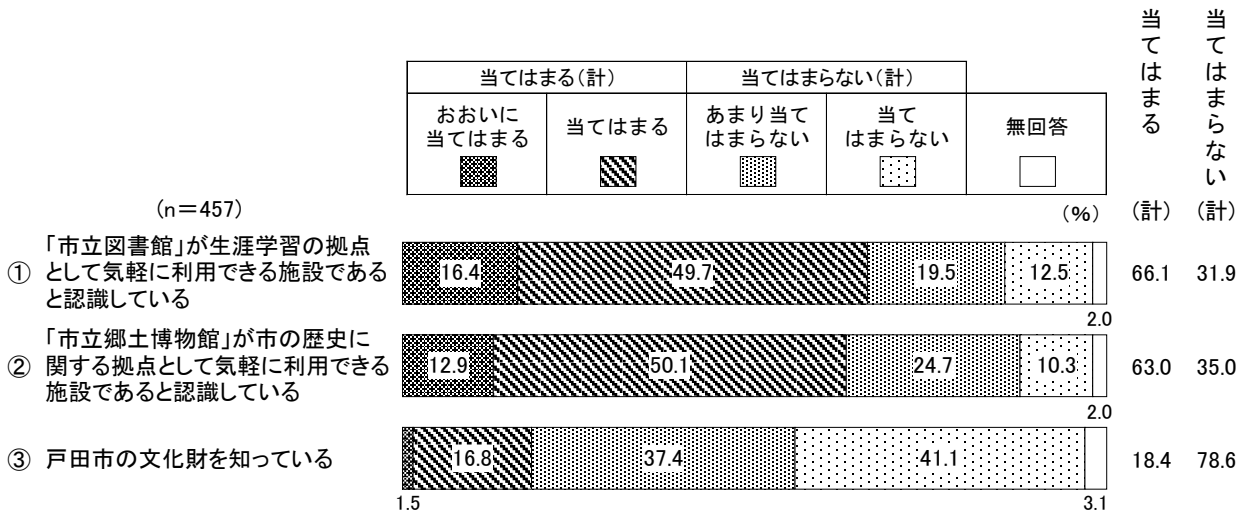
〔結果と課題（概要）〕

- ◇市立図書館、市立郷土博物館については、半数以上が「生涯学習活動の拠点として気軽に利用できる施設である」と認識している。一方で、文化財については認識が低いことが課題。
- ◇学習活動をしている人の割合は、前々回調査の平成22年度以降減少傾向で、今回は40.5%である。
- ◇学習活動の内容は、従前より「体力づくり・スポーツ」が抜きん出て多い。過去の調査と比較すると、「趣味」「日常の暮らしに役立つもの」「一般的な教養を高めるもの」「職業上必要な知識・技能を高めるもの」の割合は増加傾向にある。
- ◇個別の活動内容をみると、「ウォーキング・散歩」が42.2%で最も多く、次いで「芸術鑑賞」(29.2%)、「料理」と「健康管理」(ともに21.1%)となっている。
- ◇週に1~2回、1回あたり2時間未満で、体力づくりや気分転換のために学習活動を行う人が多い。過去の調査と比較すると、学習活動を「ほぼ毎日」行う人の割合が増加傾向にあり、特に20~29歳では活動頻度の高まりがみられる。
- ◇過去の調査と比較すると、ほぼすべての学習活動の内容や目的の回答割合が増加しており、学習活動の内容や目的が多様化していることがうかがえる。自分自身の体力や教養を高めることに加え、人とのつながりの形成など、様々な効果を期待し、活動していることがわかる。
- ◇今回の調査では、現在学習活動を行っている人と回答した人に限定し、その充実度について尋ねた（前回調査では全員に尋ねた）。現在学習活動を行っている人にとっては、学習活動はおおむね充実したものとなっているといえる。
- ◇学習活動の阻害要因として、環境・制度的要因の認識は低く、当人の忙しさときっかけのなさが課題となっている。

(1) 生涯学習に関する認識

◇『当てはまる（計）』は“「市立図書館」が生涯学習の拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”で66.1%、“「市立郷土博物館」が市の歴史に関する拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”は63.0%
 『当てはまらない（計）』は“戸田市の文化財を知っている”で78.6%

問5 生涯学習に関して、以下の①～③について、あてはまるものについてお答えください。
 （それぞれ1つだけに○印）



生涯学習に関する認識を3項目に分けて聞いたところ、「おおいに当てはまる」と「当てはまる」を合わせた『当てはまる（計）』は“「市立図書館」が生涯学習の拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”で66.1%と最も高く、次いで“「市立郷土博物館」が市の歴史に関する拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”（63.0%）、“戸田市の文化財を知っている”（18.4%）と続いている。

一方、「あまり当てはまらない」と「当てはまらない」を合わせた『当てはまらない（計）』は“戸田市の文化財を知っている”で78.6%と最も高く、次いで“「市立郷土博物館」が市の歴史に関する拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”（35.0%）、“「市立図書館」が生涯学習の拠点として気軽に利用できる施設であると認識している”（31.9%）と続いている。

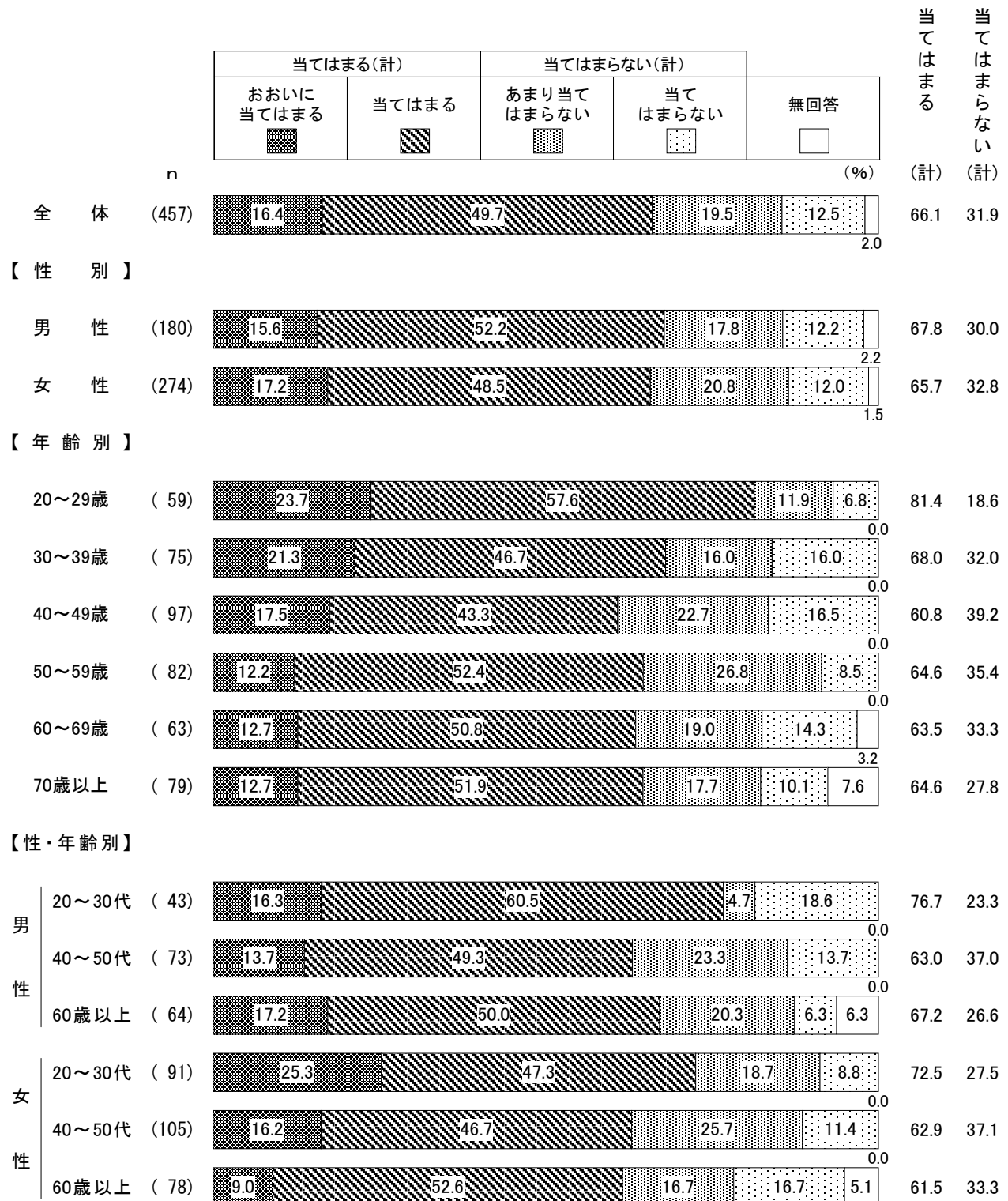
<性別、年齢別、性・年齢別>

①「市立図書館」が生涯学習の拠点として気軽に利用できる施設であると認識している

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『当てはまる（計）』は20～29歳で81.4%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は40～49歳で39.2%と高くなっている。

性・年齢別でみると、『当てはまる（計）』は男性20～30代で76.7%、女性20～30代で72.5%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は女性40～50代で37.1%、男性40～50代で37.0%と高くなっている。

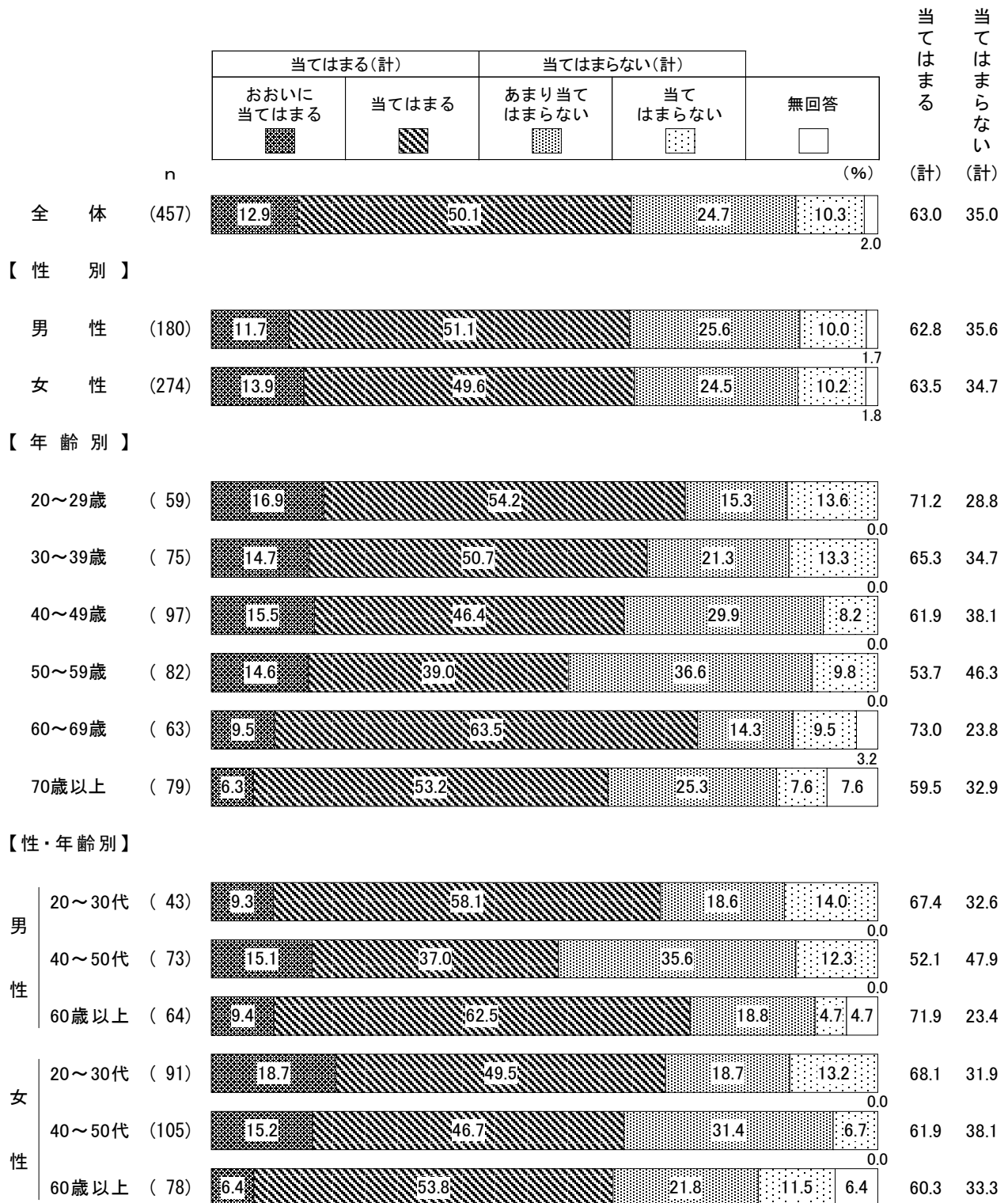


<性別、年齢別、性・年齢別>

②「市立郷土博物館」が市の歴史に関する拠点として気軽に利用できる施設であると認識している性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『当てはまる（計）』は60～69歳で73.0%、20～29歳で71.2%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は50～59歳で46.3%と高くなっている。

性・年齢別でみると、『当てはまる（計）』は男性60歳以上で71.9%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は男性40～50代で47.9%と高くなっている。



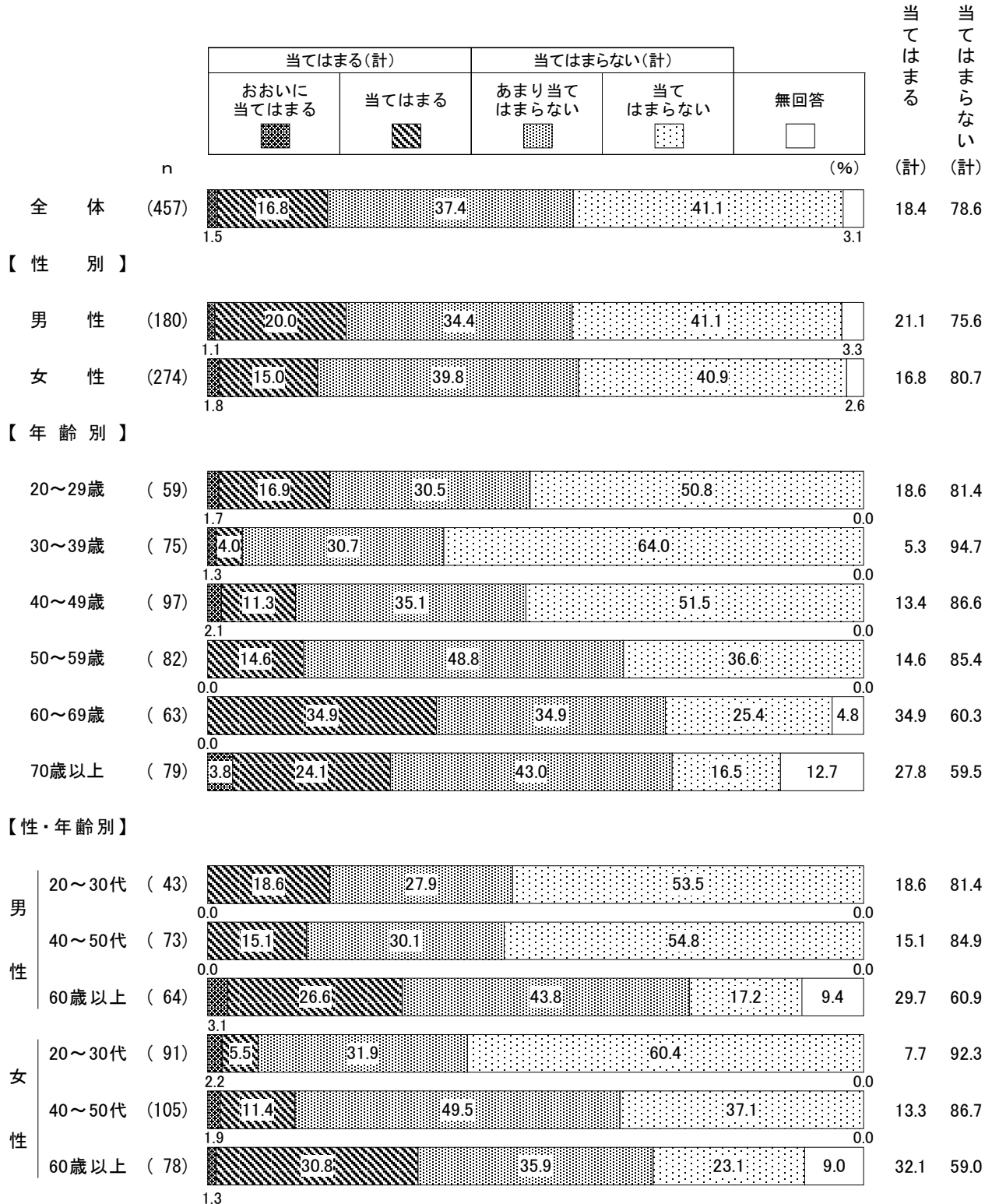
<性別、年齢別、性・年齢別>

③ 戸田市の文化財を知っている

性別でみると、『当てはまる（計）』は男性（21.1%）が女性（16.8%）より4.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『当てはまる（計）』は60～69歳で34.9%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は30～39歳で94.7%と高くなっている。

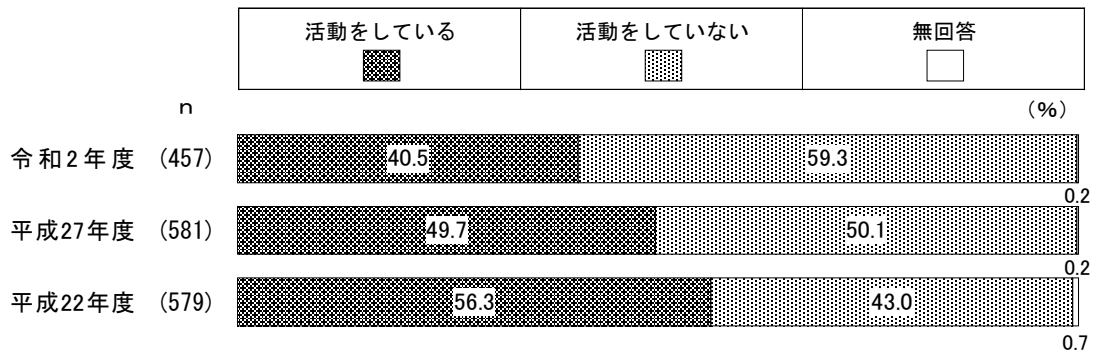
性・年齢別でみると、『当てはまる（計）』は女性60歳以上で32.1%と高くなっている。一方、『当てはまらない（計）』は女性20～30代で92.3%と高くなっている。



(2) 現在の「学習活動」の状況

◇「活動をしている」が40.5%

問6 あなたは現在（または過去1～2年の間に）文化・趣味・スポーツなどの活動（学習活動）をしていますか。（1つだけに○印）



現在の「学習活動」の状況を聞いたところ、「活動をしている」が40.5%、「活動をしていない」は59.3%となっている。

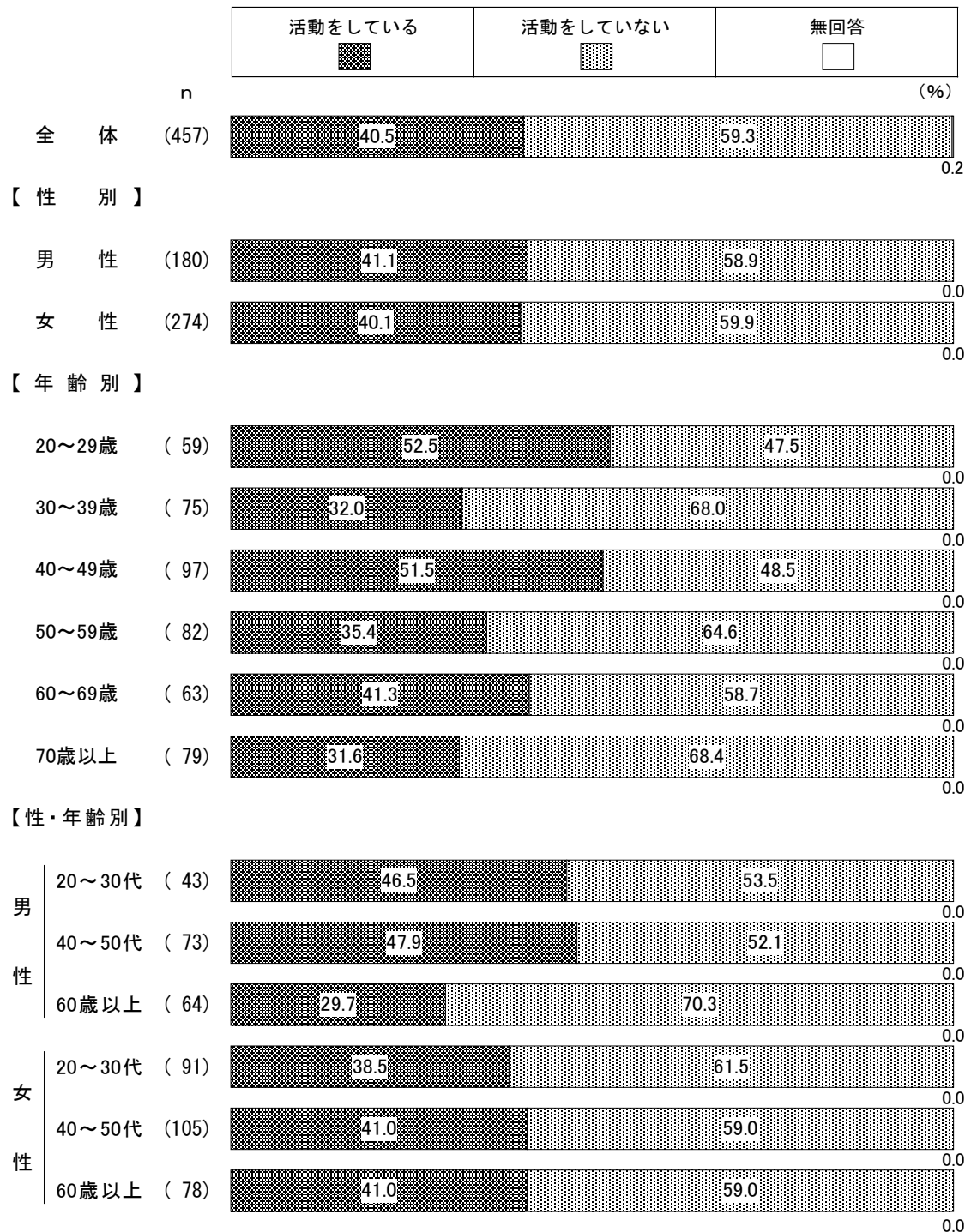
過去の調査結果と比較すると、「活動をしている」は平成22年度以降減少傾向にあり、平成27年度より9.2ポイント減少している。

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、「活動をしている」は20～29歳で52.5%、40～49歳で51.5%と高くなっている。一方、「活動をしていない」は70歳以上で68.4%、30～39歳で68.0%と高くなっている。

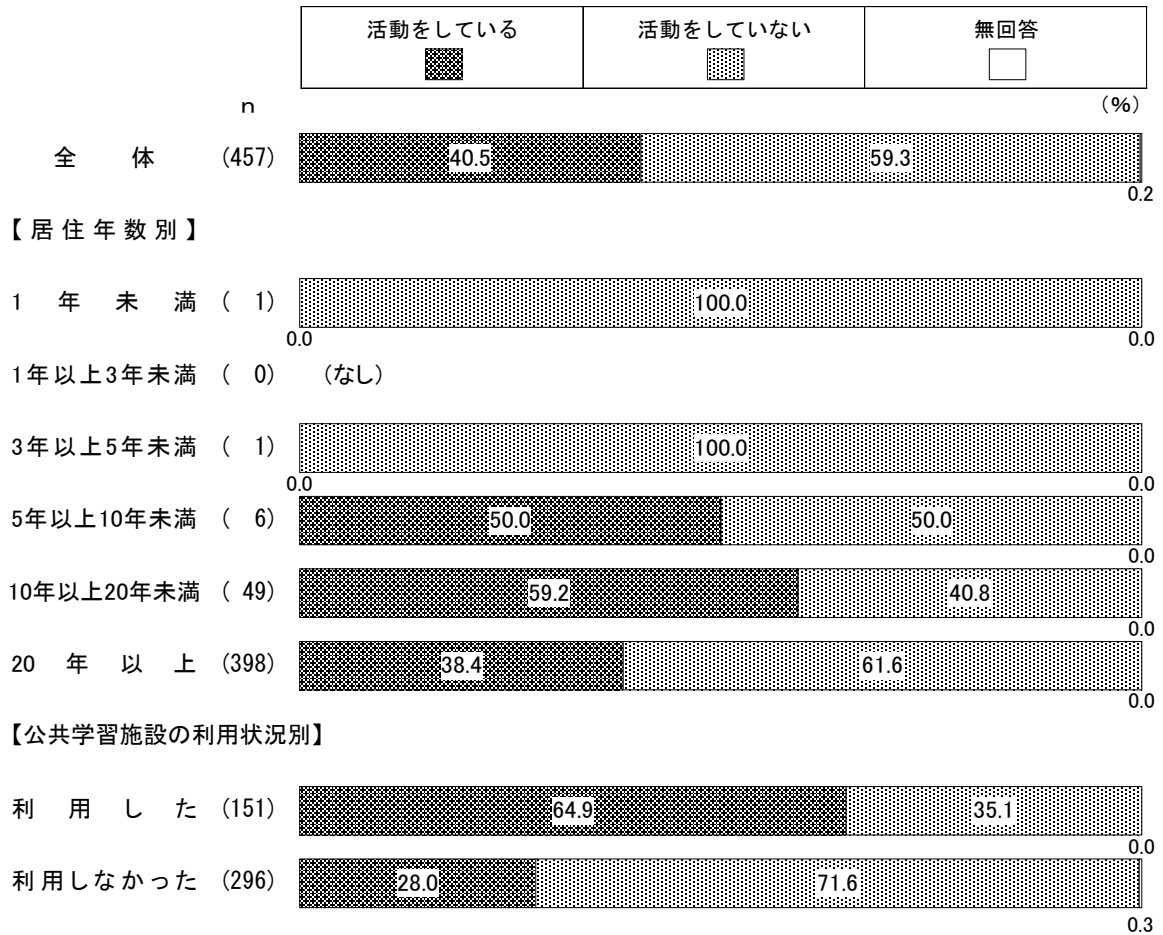
性・年齢別でみると、「活動をしている」は男性40～50代で47.9%、男性20～30代で46.5%と高くなっている。一方、「活動をしていない」は男性60歳以上で70.3%と高くなっている。



＜居住年数別、公共学習施設の利用状況別＞

居住年数別でみると、「活動をしている」は10年以上20年未満で59.2%と高くなっている。一方、「活動をしていない」は20年以上で61.6%と高くなっている。

公共学習施設の利用状況別でみると、「活動をしている」は公共学習施設を利用した人（64.9%）が利用しなかった人（28.0%）より36.9ポイント高くなっている。



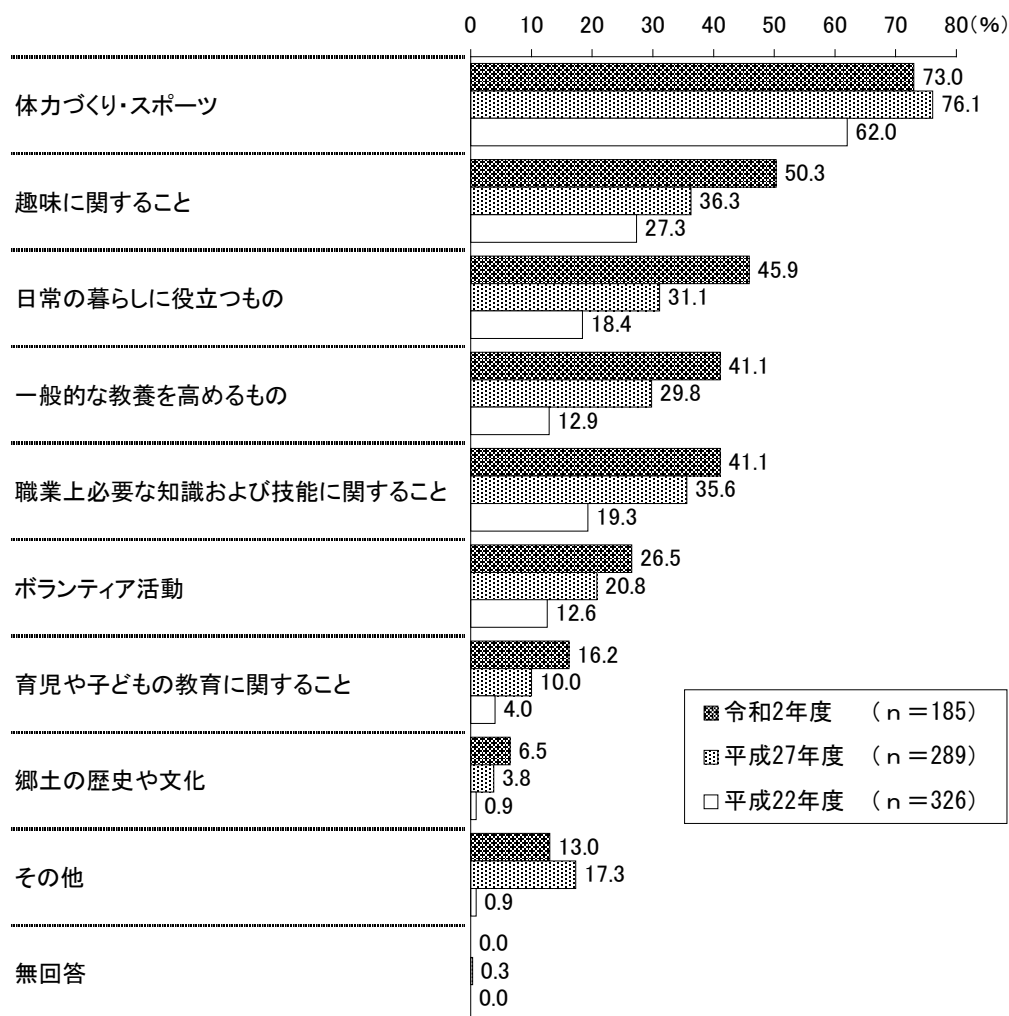
(3) 現在の具体的な「学習活動」

◇「体力づくり・スポーツ」が73.0%

【問6で、「活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-1 どのような活動（学習活動）を行っていますか。

(1) 以下の（1～62）の中から、あてはまるものにもいくつか○印をつけてください。

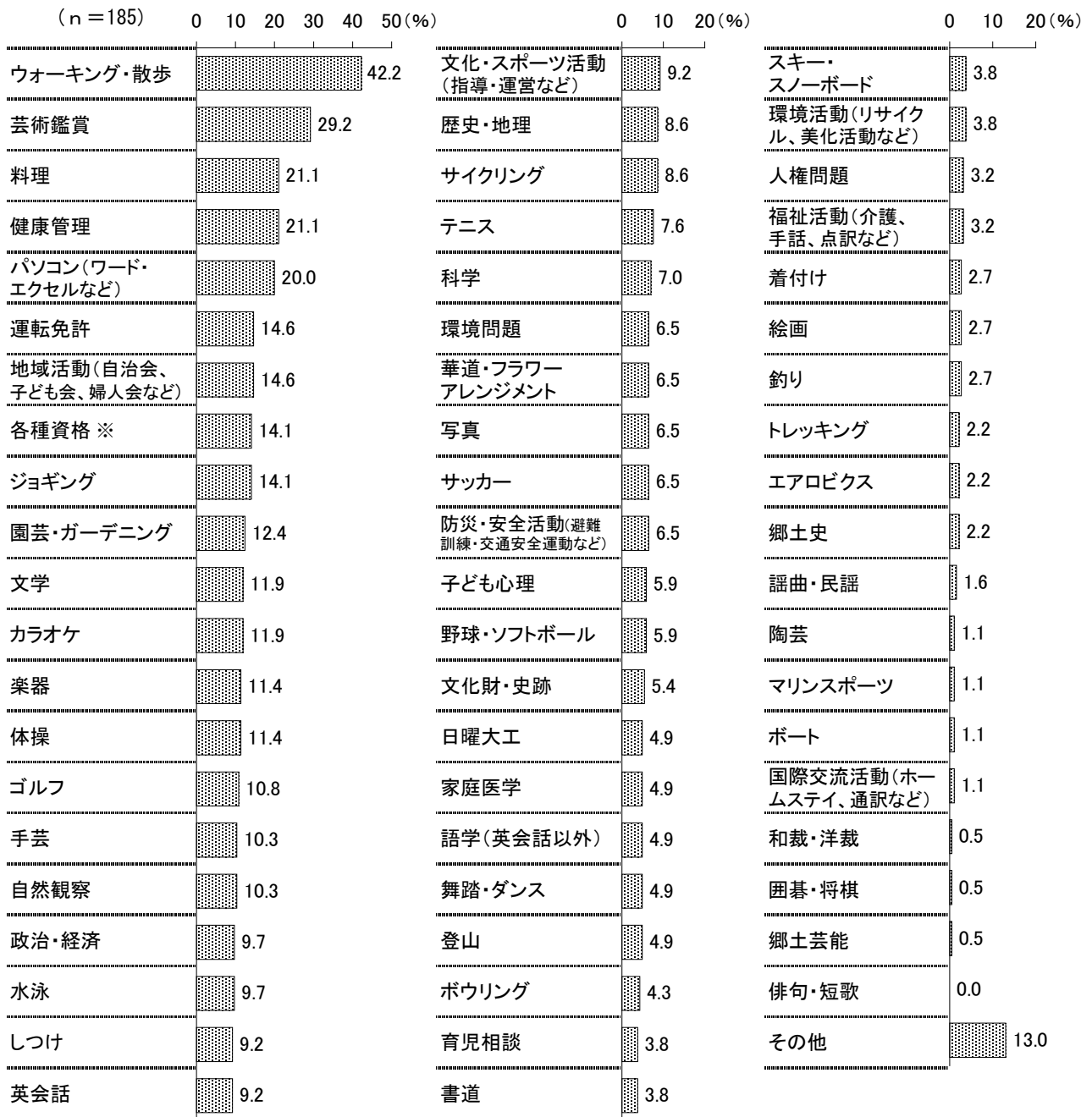


※平成22年度では回答個数を2つまでとしていた

「学習活動をしている」と答えた方に、その内容を聞いたところ、「体力づくり・スポーツ」が73.0%で最も高く、次いで「趣味に関すること」(50.3%)、「日常の暮らしに役立つもの」(45.9%)、「一般的な教養を高めるもの」と「職業上必要な知識および技能に関すること」(ともに41.1%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「日常の暮らしに役立つもの」は平成27年度より14.8ポイント、「趣味に関すること」は平成27年度より14.0ポイント、「一般的な教養を高めるもの」は平成27年度より11.3ポイント、それぞれ増加している。

具体的な「学習活動」をみると、「ウォーキング・散歩」が42.2%で最も高く、次いで「芸術鑑賞」（29.2%）、「料理」と「健康管理」（ともに21.1%）と続いている。



※「各種資格」の回答内容は次のとおりである。

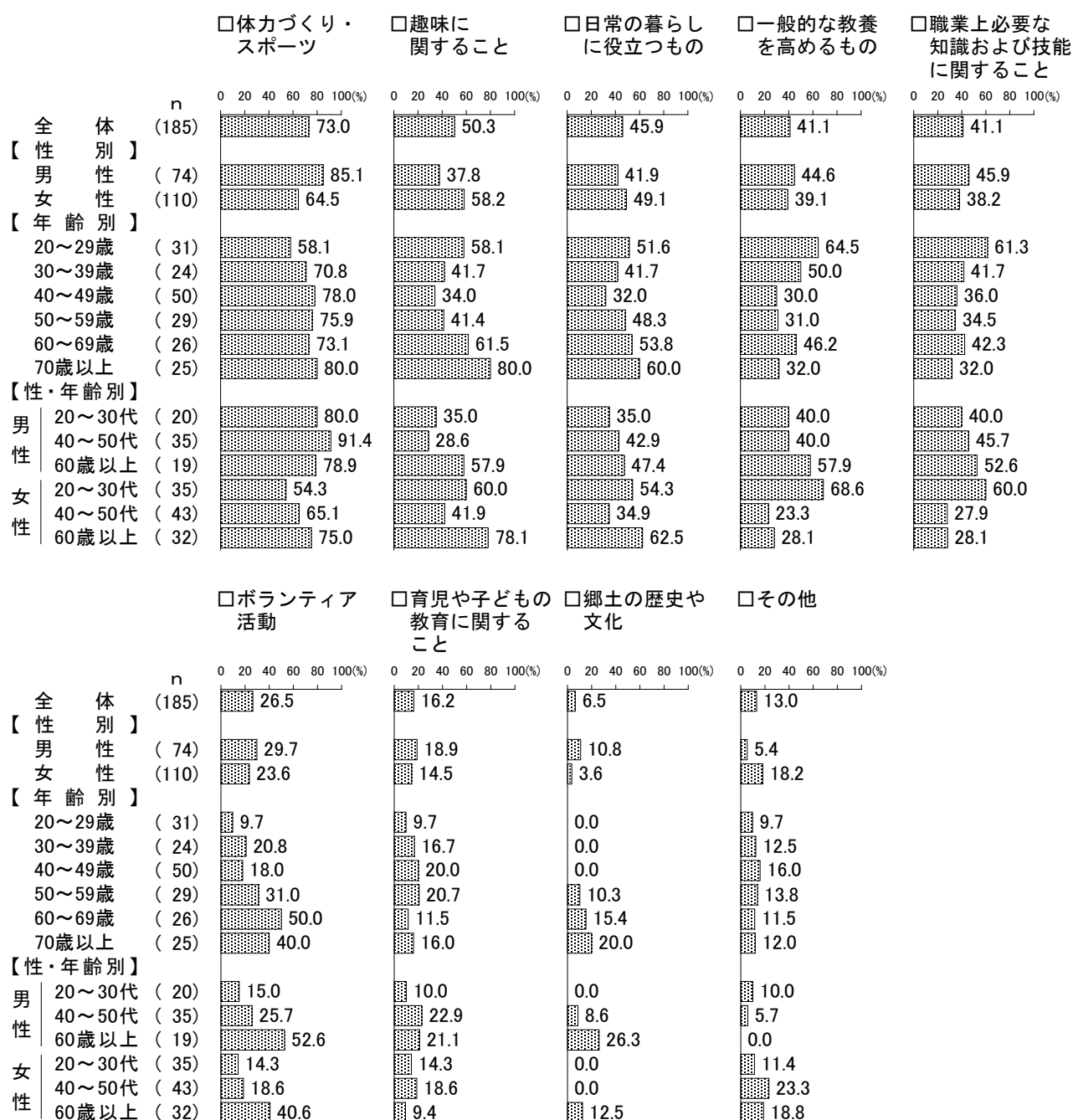
ファイナンシャル・プランナー・情報処理・ニュース検定・基本情報技術者試験・生涯学習支援実践講座・Cisco Certified Network Professional・救急救命士国家資格・薬剤師免許・電気工事士・保育士・幼稚園教諭・着付け・手芸・職業上必要な知識・宅地建物取引士・社会保険労務士・CFP・建築施工管理技士・陶磁器製造絵付け一級技能士・栄養士・公害防止管理者

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別で見ると、「体力づくり・スポーツ」は男性（85.1%）が女性（64.5%）より20.6ポイント高くなっている。一方、「趣味に関すること」は女性（58.2%）が男性（37.8%）より20.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「趣味に関すること」は70歳以上で80.0%と高くなっている。「一般的な教養を高めるもの」は20～29歳で64.5%と高くなっている。

性・年齢別で見ると、「体力づくり・スポーツ」は男性40～50代で91.4%と高くなっている。「趣味に関すること」は女性60歳以上で78.1%と高くなっている。「一般的な教養を高めるもの」は女性20～30代で68.6%と高くなっている。



<性別、年齢別、性・年齢別>（具体的な「学習活動」の上位5位）

性別で見ると、男女ともに「ウォーキング・散歩」が第1位となっており、男性では「健康管理」、女性では「芸術鑑賞」が第2位となっている。

年齢別で見ると、全ての年齢で「ウォーキング・散歩」が第1位となっている。50～59歳と70歳以上では「健康管理」、それ以外では「芸術鑑賞」が第2位となっている。

性・年齢別で見ると、同率を含め女性20～30代と女性40～50代で「芸術鑑賞」が第1位となっており、それ以外では同率を含め「ウォーキング・散歩」が第1位となっている。

属性		順位	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体			185	ウォーキング・散歩 (42.2)	芸術鑑賞 (29.2)	料理/健康管理 (21.1)		パソコン(ワード・エクセルなど) (20.0)
性 別	男 性		74	ウォーキング・散歩 (50.0)	健康管理 (28.4)	芸術鑑賞 (25.7)	パソコン(ワード・エクセルなど) (23.0)	運転免許/ジョギング (20.3)
	女 性		110	ウォーキング・散歩 (36.4)	芸術鑑賞 (31.8)	料理 (25.5)	パソコン(ワード・エクセルなど) (18.2)	手芸/健康管理 (16.4)
年 齢 別	20～29歳		31	ウォーキング・散歩 (38.7)	芸術鑑賞 (35.5)	料理 (32.3)	パソコン(ワード・エクセルなど)/ 各種資格/カラオケ (25.8)	
	30～39歳		24	ウォーキング・散歩 (37.5)	芸術鑑賞 (33.3)	料理/パソコン(ワード・エクセルなど) (25.0)		文学 (20.8)
	40～49歳		50	ウォーキング・散歩 (36.0)	芸術鑑賞 (22.0)	ジョギング/ゴルフ (20.0)		健康管理/しつけ/ 運転免許/園芸・ ガーデニング (16.0)
	50～59歳		29	ウォーキング・散歩 (44.8)	健康管理 (31.0)	芸術鑑賞 (27.6)	料理/パソコン(ワード・エクセルなど)/ 運転免許 (20.7)	
	60～69歳		26	ウォーキング・散歩 (46.2)	芸術鑑賞 (42.3)	地域活動(自治会、子ども会、 婦人会など) (34.6)	料理/園芸・ガーデニング/体操 (23.1)	
	70歳以上		25	ウォーキング・散歩 (56.0)	健康管理 (32.0)	パソコン(ワード・エクセルなど)/ 体操 (24.0)		同率で5項目 (注)下記参照 (20.0)
性・年 齢 別	男性20～30代		20	ウォーキング・散歩 (35.0)	サッカー (25.0)	料理/健康管理/各種資格/ カラオケ/ジョギング (20.0)		
	40～50代		35	ウォーキング・散歩 (57.1)	健康管理 (31.4)	芸術鑑賞 (25.7)	パソコン(ワード・エクセルなど)/ 運転免許/ジョギング/ゴルフ (22.9)	
	60歳以上		19	ウォーキング・散歩 (52.6)	芸術鑑賞 (42.1)	健康管理/パソコン(ワード・エクセルなど)/自然観察/ 地域活動(自治会、子ども会、婦人会など) (31.6)		
	女性20～30代		35	芸術鑑賞 (48.6)	ウォーキング・散歩 (40.0)	料理 (34.3)	パソコン(ワード・エクセルなど) (31.4)	文学 (28.6)
	40～50代		43	芸術鑑賞/ ウォーキング・散歩 (23.3)		料理/手芸/ジョギング/ゴルフ/テニス (16.3)		
	60歳以上		32	ウォーキング・散歩 (50.0)	体操 (31.3)	料理 (28.1)	芸術鑑賞/手芸/華道・フラワー アレンジメント/地域活動(自治会、 子ども会、婦人会など) (25.0)	

※表中で、活動名ごとにスラッシュ（/）で区切り、まとめているものは、同率で複数の回答があるもの

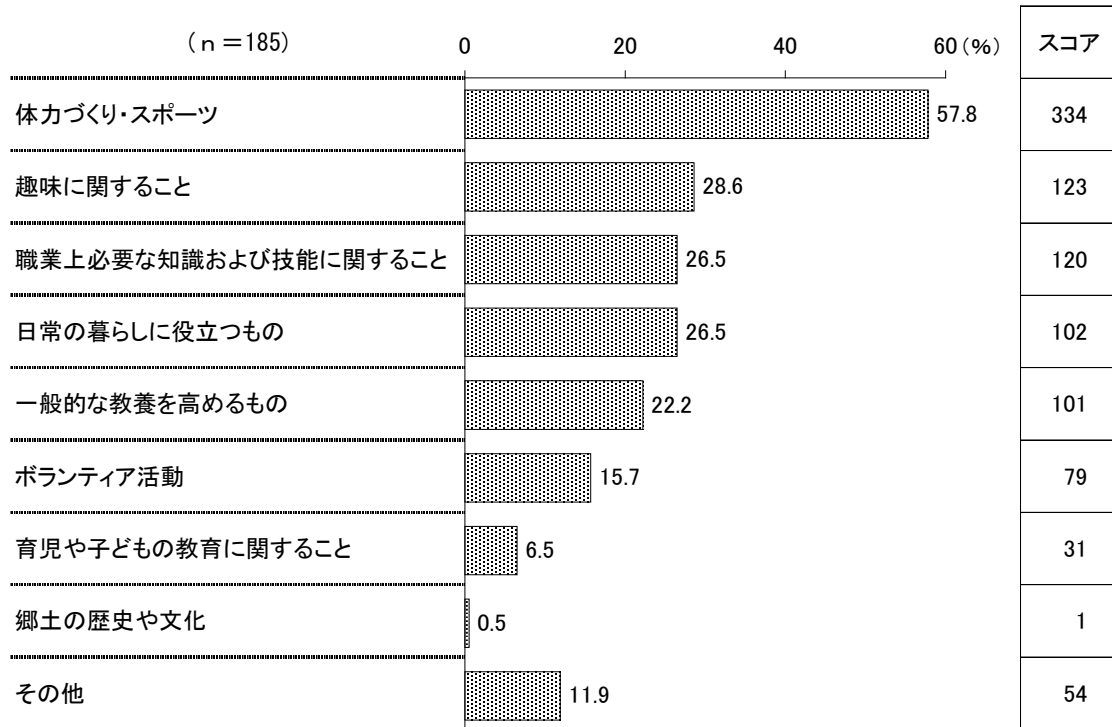
（注）「70歳以上」の同率5位の5項目は、下記の通り。

「芸術鑑賞/手芸/華道・フラワーアレンジメント/カラオケ/地域活動(自治会、子ども会、婦人会など)」

(4) 特に力を入れた「学習活動」

◇「体力づくり・スポーツ」が57.8%、スコアでも334点でトップ

問6-1 (2) (1) で○印をつけた活動（学習活動）のうち、特に力を入れた活動について、順に3つまで、番号でお答えください。



※スコアは、順位付けの回答結果に1位=3点、2位=2点、3位=1点を与えて集計したもの。

特に力を入れた「学習活動」の順位付け回答について、1位から3位の累計では「体力づくり・スポーツ」が57.8%で最も高く、次いで「趣味に関すること」(28.6%)、「職業上必要な知識および技能に関すること」と「日常の暮らしに役立つもの」(ともに26.5%)と続いている。

また、1位に3点、2位に2点、3位に1点を与えて集計したスコアで見ると、「体力づくり・スポーツ」が334点で最も高く、次いで「趣味に関すること」(123点)、「職業上必要な知識および技能に関すること」(120点)、「日常の暮らしに役立つもの」(102点)と続いている。

＜具体的な「学習活動」の上位10位（スコア）＞

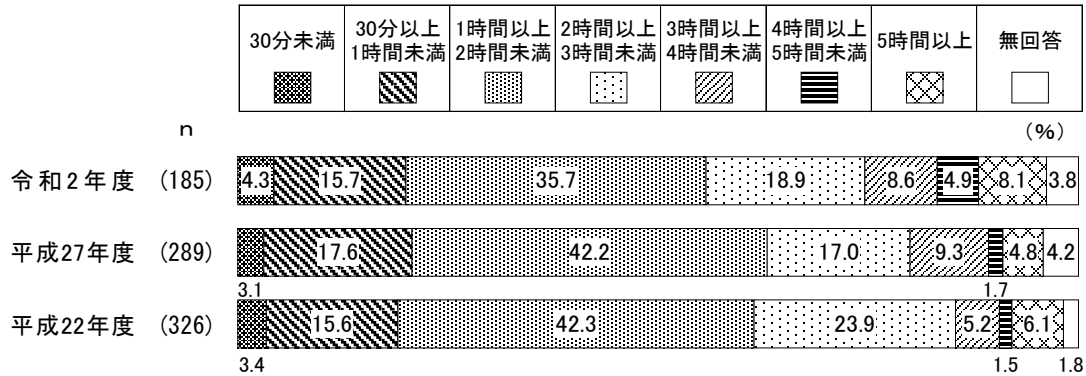
具体的な「学習活動」のスコアをみると、「ウォーキング・散歩」が88点で最も高く、次いで「芸術鑑賞」（45点）、「料理」（42点）、「ゴルフ」（39点）と続いている。

順位	分野	具体的な学習活動	スコア
第1位	スポーツ	ウォーキング・散歩	88
第2位	一般的教養	芸術鑑賞	45
第3位	暮らし	料理	42
第4位	スポーツ	ゴルフ	39
第5位	職業上の知識・技能	各種資格	37
第6位	ボランティア	地域活動(自治会、子ども会、婦人会など)	34
第7位	暮らし	健康管理	32
	趣味	楽器	
第9位	職業上の知識・技能	パソコン（ワード・エクセルなど）	30
第10位	スポーツ	体操	29

(5) 特に力を入れた「学習活動」の1回あたりの時間

◇「1時間以上2時間未満」が35.7%

問6-1 (3) (2) で一番力を入れて取り組んだ活動において、1回あたりの活動時間はどれくらいですか。(1つだけに○印)



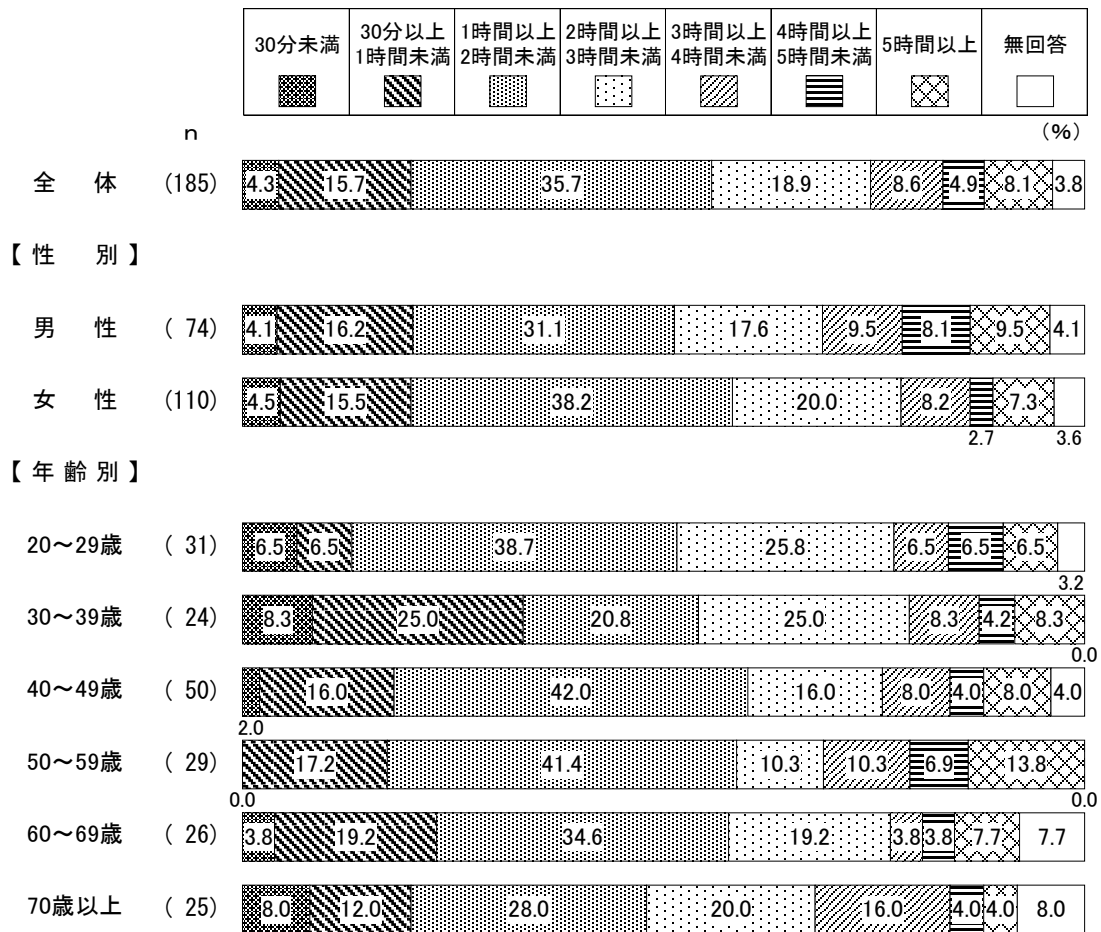
特に力を入れた「学習活動」の1回あたりの時間を聞いたところ、「1時間以上2時間未満」が35.7%で最も高く、次いで「2時間以上3時間未満」(18.9%)、「30分以上1時間未満」(15.7%)、「3時間以上4時間未満」(8.6%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「1時間以上2時間未満」は平成27年度より6.5ポイント減少している。一方、3時間以上の長時間活動する人の割合が増加傾向にある。

<性別、年齢別>

性別で見ると、「1時間以上2時間未満」は女性（38.2%）が男性（31.1%）より7.1ポイント高くなっている。一方、「4時間以上5時間未満」は男性（8.1%）が女性（2.7%）より5.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「30分以上1時間未満」は30～39歳で25.0%と高くなっている。「1時間以上2時間未満」は40～49歳で42.0%、50～59歳で41.4%と高くなっている。「2時間以上3時間未満」は20～29歳で25.8%、30～39歳で25.0%、「5時間以上」は50～59歳で13.8%と高くなっている。

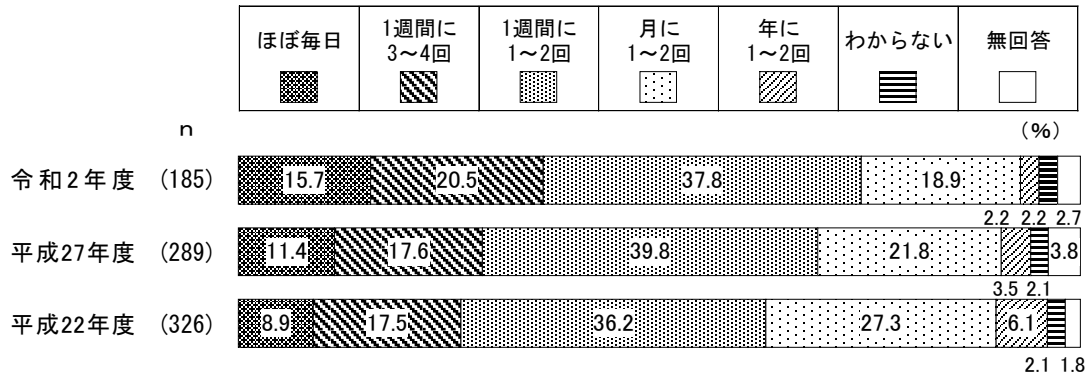


(6) 「学習活動」の頻度

◇ 「1週間に1～2回」が37.8%

【問6で、「活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-2 ここ1年間で（複数の活動も含めて）どのくらい活動をしましたか。（1つだけに○印）



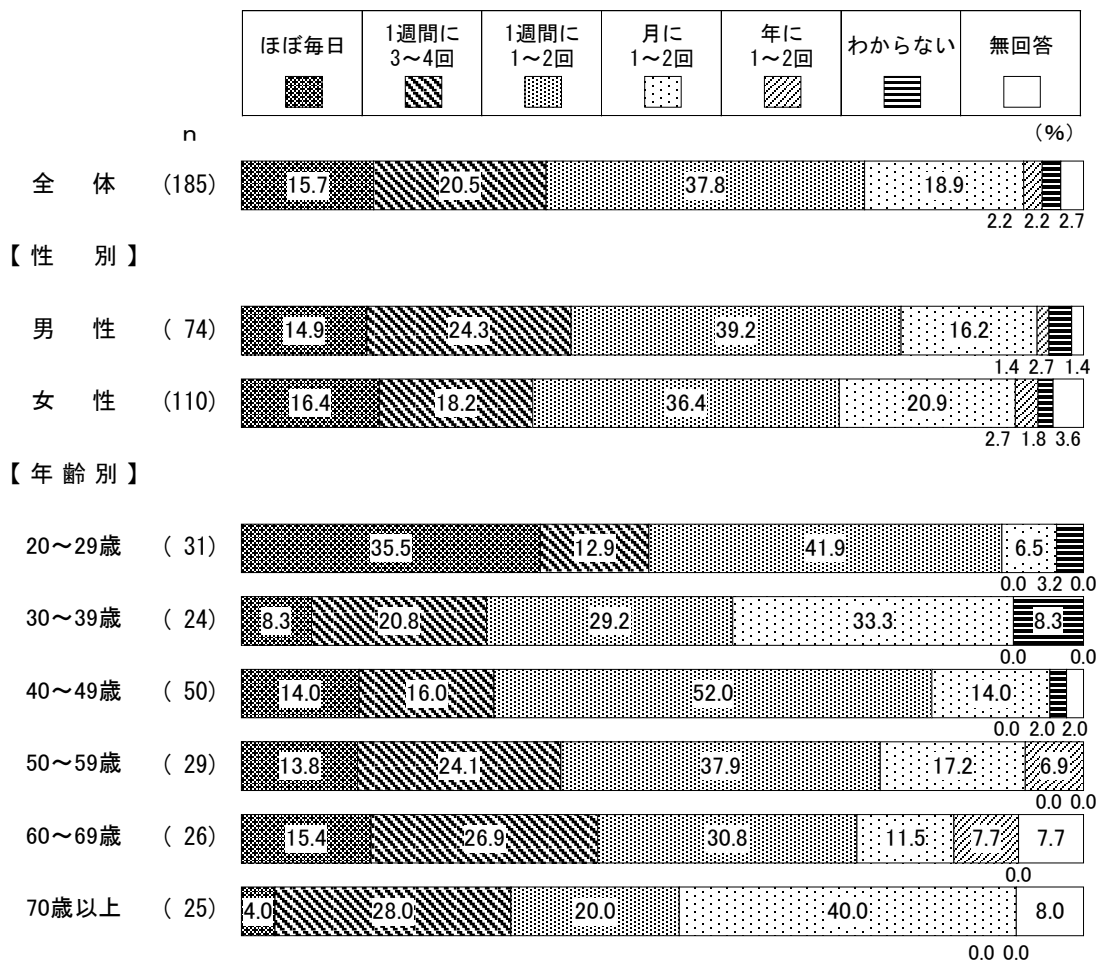
「学習活動をしている」と答えた方に、「学習活動」の頻度を聞いたところ、「1週間に1～2回」が37.8%で最も高く、次いで「1週間に3～4回」(20.5%)、「月に1～2回」(18.9%)、「ほぼ毎日」(15.7%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日」は平成22年度以降増加傾向にあり、平成27年度より4.3ポイント増加している。

<性別、年齢別>

性別で見ると、「1週間に3～4回」は男性（24.3%）が女性（18.2%）より6.1ポイント高くなっている。一方、「月に1～2回」は女性（20.9%）が男性（16.2%）より4.7ポイント高くなっている。過去の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日」は女性で平成27年度（8.0%）より8.4ポイント増加している。

年齢別で見ると、「ほぼ毎日」は20～29歳で35.5%と高くなっている。過去の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日」は20～29歳で平成27年度（19.4%）より16.1ポイント大幅に増加している。「1週間に1～2回」は40～49歳で52.0%、20～29歳で41.9%と高くなっている。「月に1～2回」は70歳以上で40.0%、30～39歳で33.3%と高くなっている。

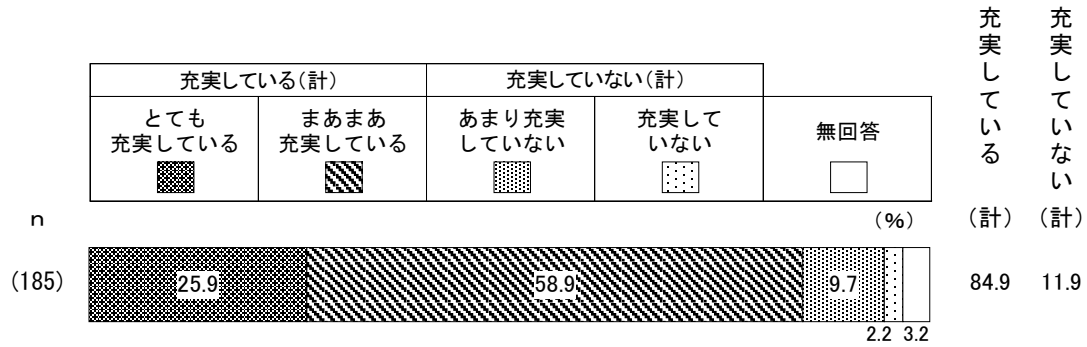


(7) 現在の「学習活動」の充実度

◇『充実している（計）』が84.9%

【問6で、「活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-3 あなたの現在の活動（学習）の充実度はどの程度ですか。（1つだけに○印）

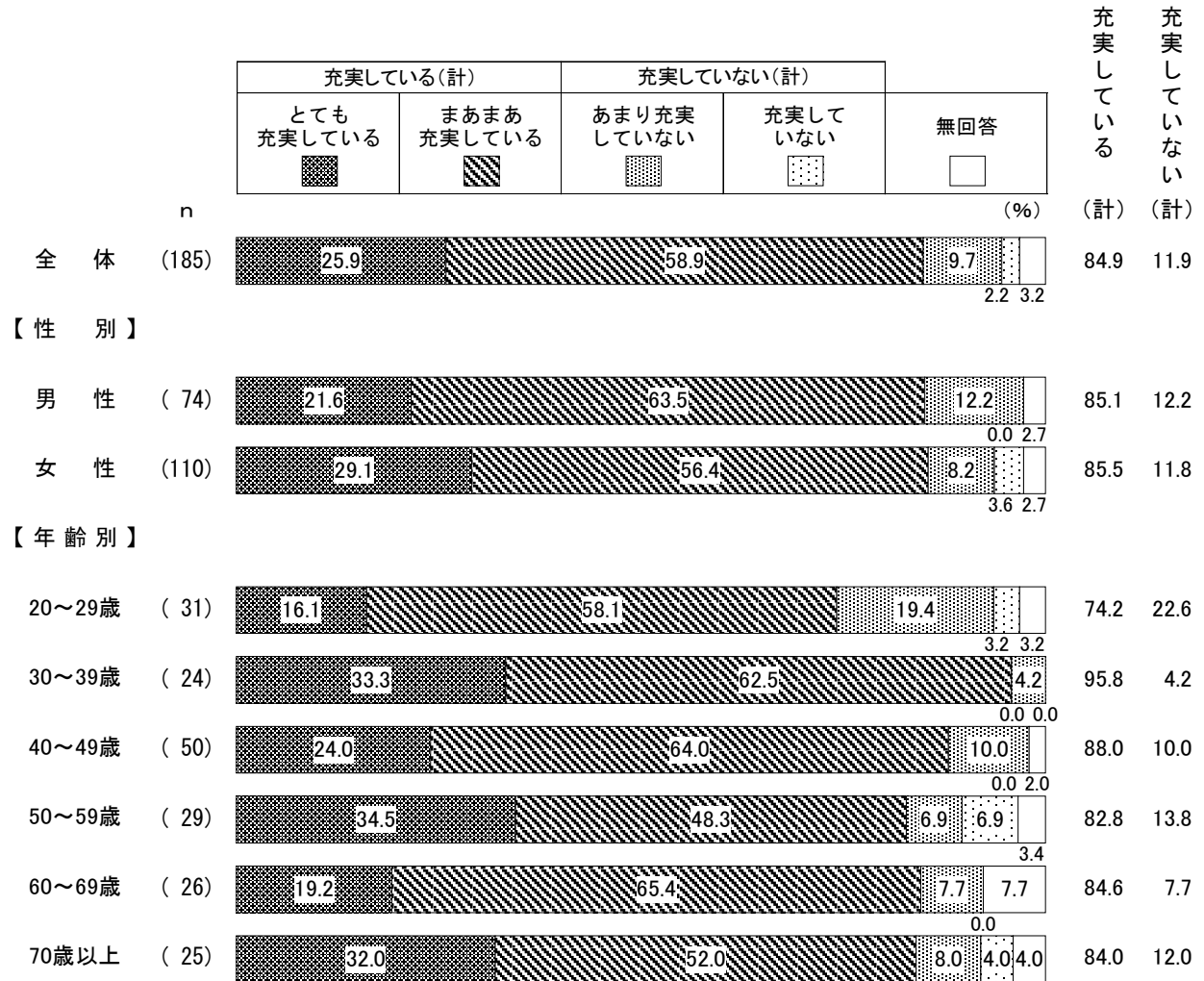


「学習活動をしている」と答えた方に、現在の「学習活動」の充実度を聞いたところ、「とても充実している」と「まあまあ充実している」を合わせた『充実している（計）』は84.9%となっている。一方、「あまり充実していない」と「充実していない」を合わせた『充実していない（計）』は11.9%となっている。

<性別、年齢別>

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『充実している（計）』は30～39歳で95.8%と高くなっている。一方、『充実していない（計）』は20～29歳で22.6%と高くなっている。

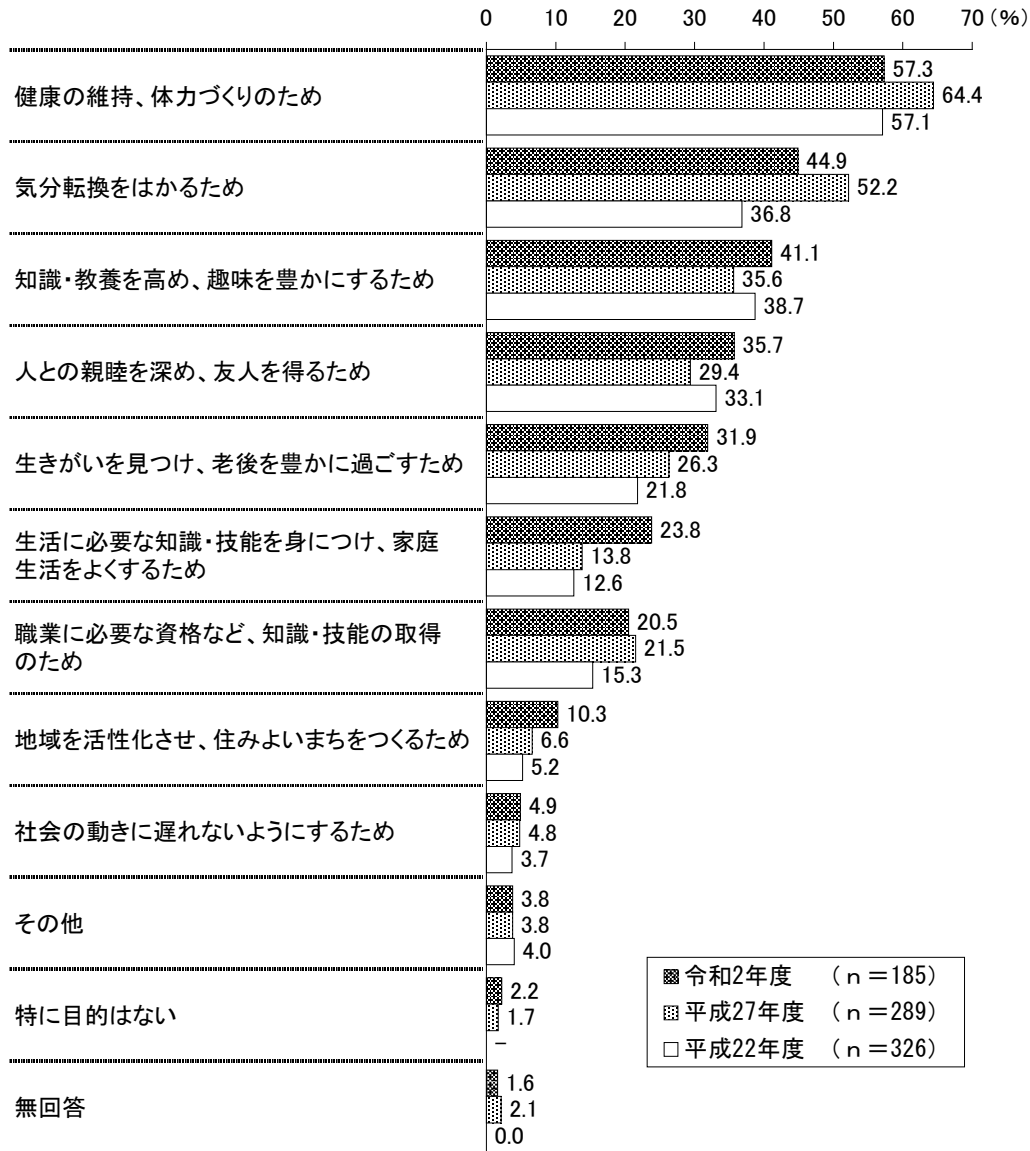


(8) 「学習活動」の目的

◇「健康の維持、体力づくりのため」が57.3%

【問6で、「活動をしている」と答えた方にお聞きします】

問6-4 あなたが学習活動をした主な目的は何ですか。（いくつでも○印）



※「特に目的はない」は平成27年度から追加された選択肢
 ※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

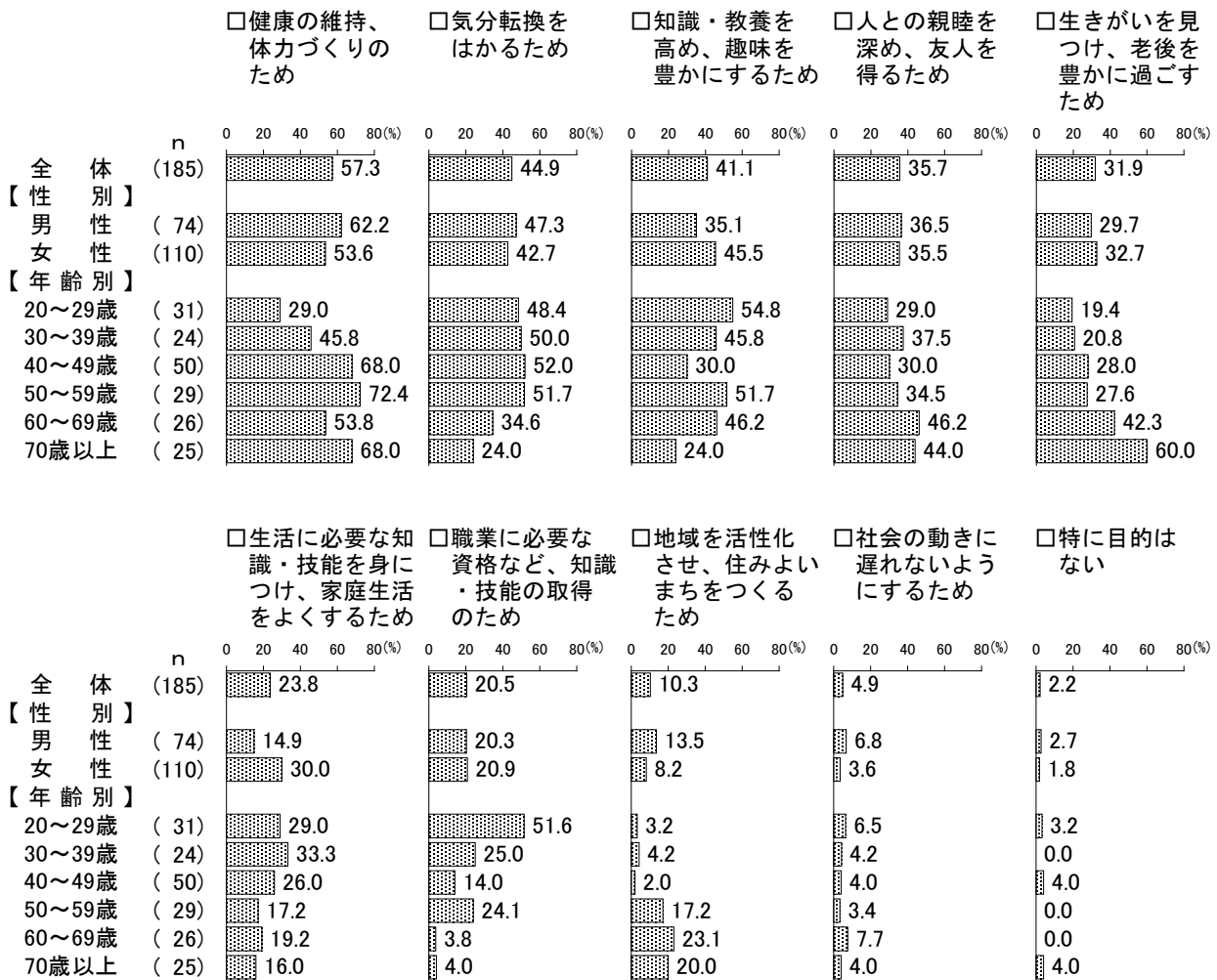
「学習活動をしている」と答えた方に、「学習活動」の目的を聞いたところ、「健康の維持、体力づくりのため」が57.3%で最も高く、次いで「気分転換をはかるため」(44.9%)、「知識・教養を高め、趣味を豊かにするため」(41.1%)、「人との親睦を深め、友人を得るため」(35.7%)と続いている。

過去の調査結果と比較すると、「気分転換をはかるため」は平成27年度より7.3ポイント、「健康の維持、体力づくりのため」は平成27年度より7.1ポイント、それぞれ減少しているが、一方で上位3位以下の項目の割合が増加しており、目的が多様化しているといえる。なお、「生活に必要な知識・技能を身につけ、家庭生活をよくするため」は平成27年度より10.0ポイント増加している。

<性別、年齢別>

性別で見ると、「生活に必要な知識・技能を身につけ、家庭生活をよくするため」は女性（30.0%）が男性（14.9%）より15.1ポイント、「知識・教養を高め、趣味を豊かにするため」は女性（45.5%）が男性（35.1%）より10.4ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「健康の維持、体力づくりのため」は男性（62.2%）が女性（53.6%）より8.6ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「健康の維持、体力づくりのため」は50～59歳で72.4%と高くなっている。「知識・教養を高め、趣味を豊かにするため」は20～29歳で54.8%と高くなっている。「生きがいを見つけ、老後を豊かに過ごすため」は70歳以上で60.0%と高くなっている。

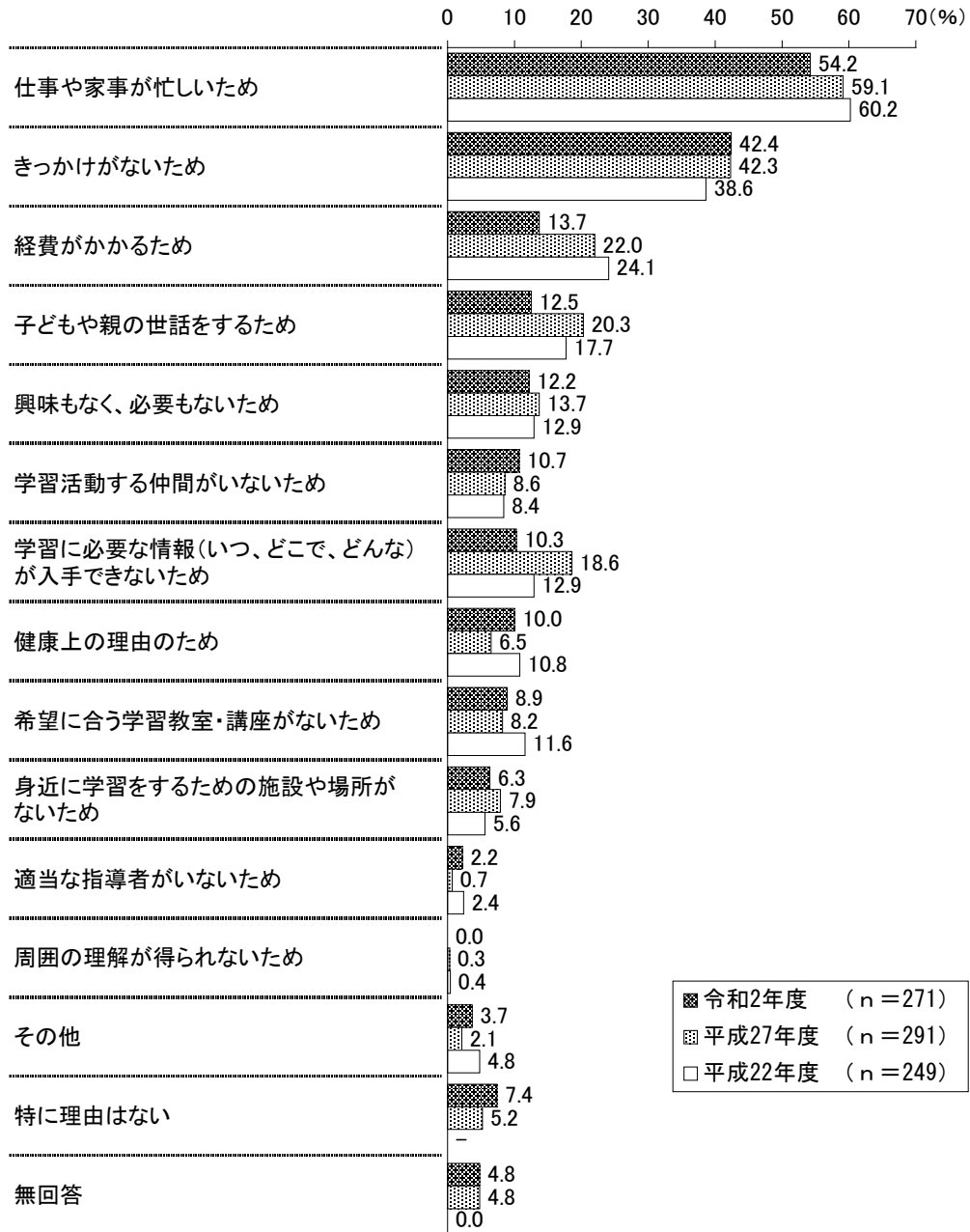


(9) 「学習活動」をしなかった理由

◇ 「仕事や家事が忙しいため」が54.2%、「きっかけがないため」が42.4%

【問6で、「活動をしていない」と答えた方にお聞きします】

問7 あなたが学習活動をしなかった理由は何ですか。（いくつでも○印）



※「特に理由はない」は平成27年度から追加された選択肢

※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

「学習活動をしていない」と答えた方に、その理由を聞いたところ、「仕事や家事が忙しいため」が54.2%で最も高く、次いで「きっかけがないため」(42.4%)、「経費がかかるため」(13.7%)、「子どもや親の世話をするため」(12.5%)と続いている。

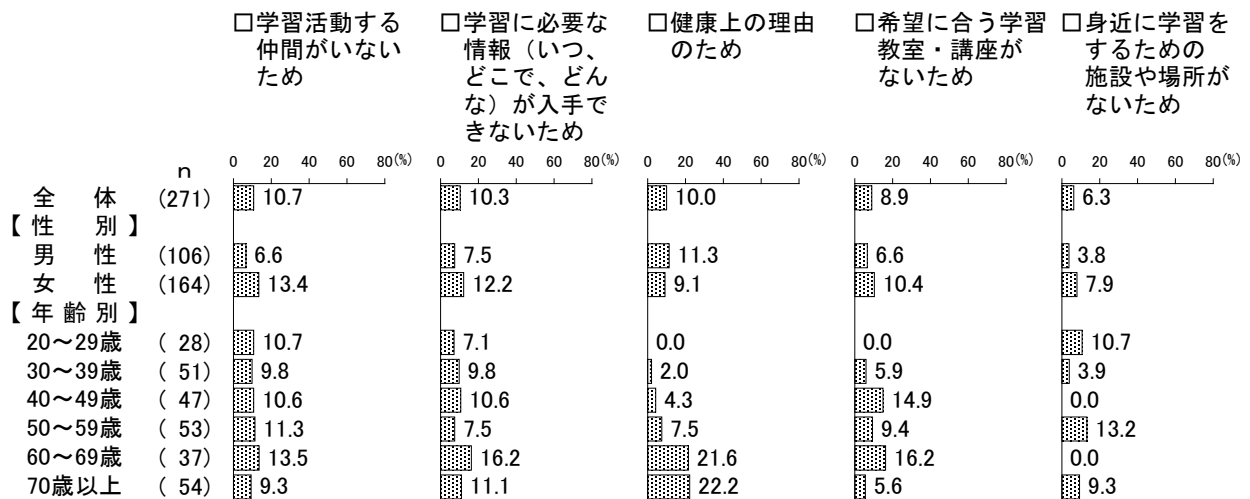
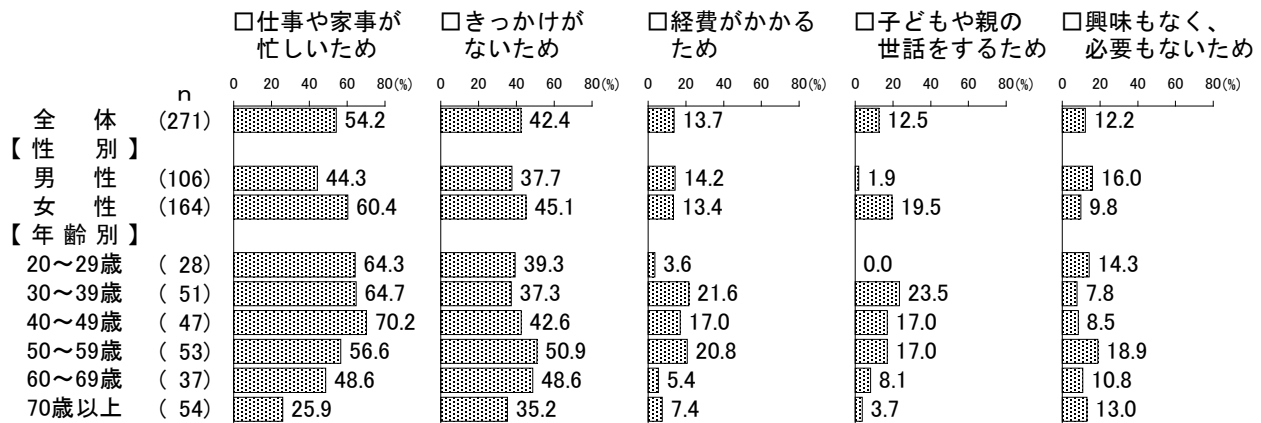
過去の調査結果と比較すると、「経費がかかるため」は平成27年度より8.3ポイント、「学習に必要な情報(いつ、どこで、どんな)が入手できないため」は平成27年度より8.3ポイント、それぞれ減少している。

＜性別、年齢別＞（上位10項目）

性別で見ると、「子どもや親の世話をするため」は女性（19.5%）が男性（1.9%）より17.6ポイント、「仕事や家事が忙しいため」は女性（60.4%）が男性（44.3%）より16.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「興味もなく、必要もないため」は男性（16.0%）が女性（9.8%）より6.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「仕事や家事が忙しいため」は40～49歳で70.2%と高くなっている。「きっかけがないため」は50～59歳で50.9%と高くなっている。「経費がかかるため」は30～39歳で21.6%、50～59歳で20.8%、40～49歳で17.0%と高くなっている。「子どもや親の世話をするため」は30～39歳で23.5%、40～49歳で17.0%、50～59歳で17.0%と高くなっている。「健康上の理由のため」は70歳以上で22.2%、60～69歳で21.6%と高くなっている。

回答率自体は低い「経費がかかるため」は30～39歳及び50～59歳、「子どもや親の世話をするため」は30～39歳、「健康上の理由のため」は60～69歳及び70歳以上でそれぞれ比較的高めである。



3 市民の生涯学習の意向

〔結果と課題（概要）〕

◇今後の学習方法の希望

インターネットをはじめとした、場所を選ばず個人で学習できる形式へのニーズの高まりが読み取れる。また、市の公共施設を利用しての学習のニーズは減少傾向にある。しかしながら、世代ごとに希望する媒体は様々であることから、特定の媒体に偏るのではなく、学習機会を多様な媒体に変換しながら展開していく必要がある。

◇生涯学習事業の情報に接しやすいと思う媒体

「広報『戸田市』」(67.2%)が最も多く、「戸田市ホームページ」(39.2%)と続いている。Twitter(15.8%)は20～29歳で半数以上を占めている。

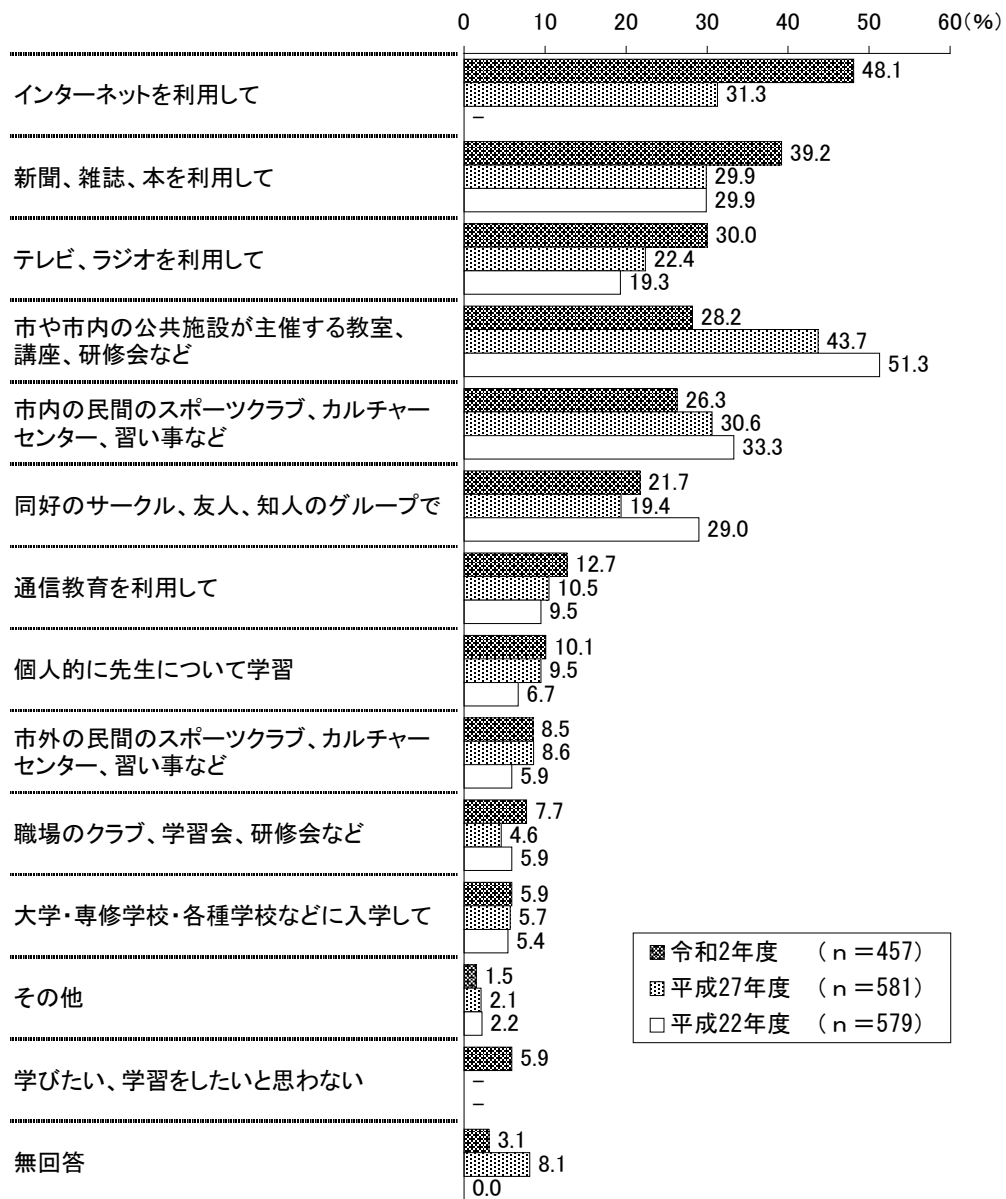
◇新たに始めたい学習活動

- ・新たに始めたい学習活動があると回答した人は半数以上。特に20～50代の女性が多い。その内容については、特定の分野に偏ることなく、「趣味に関すること」、「体力づくり・スポーツ」、「職業上必要な知識および技能に関すること」など様々であることから、多様な学習活動の機会を提供できるよう工夫することの必要性が改めて明らかとなった。なお、「職業上必要な知識および技能に関すること」は20～30代が多い。
- ・個別の活動内容を見ると、「料理」(28.6%)が最も多く、「英会話」(26.7%)、「パソコン」(25.6%)、「ウォーキング・散歩」(24.8%)と続いている。

(1) 今後の学習方法の希望

◇「インターネットを利用して」が48.1%

問8 あなたは、どのような方法で学んだり、学習をしたいと思いますか。（いくつでも○印）



※「インターネットを利用して」は平成27年度から追加された選択肢
 ※「学びたい、学習をしないと思わない」は令和2年度から追加された選択肢
 ※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

今後の学習方法の希望を聞いたところ、「インターネットを利用して」が48.1%で最も高く、次いで「新聞、雑誌、本を利用して」(39.2%)、「テレビ、ラジオを利用して」(30.0%)、「市や市内の公共施設が主催する教室、講座、研修会など」(28.2%)と続いている。

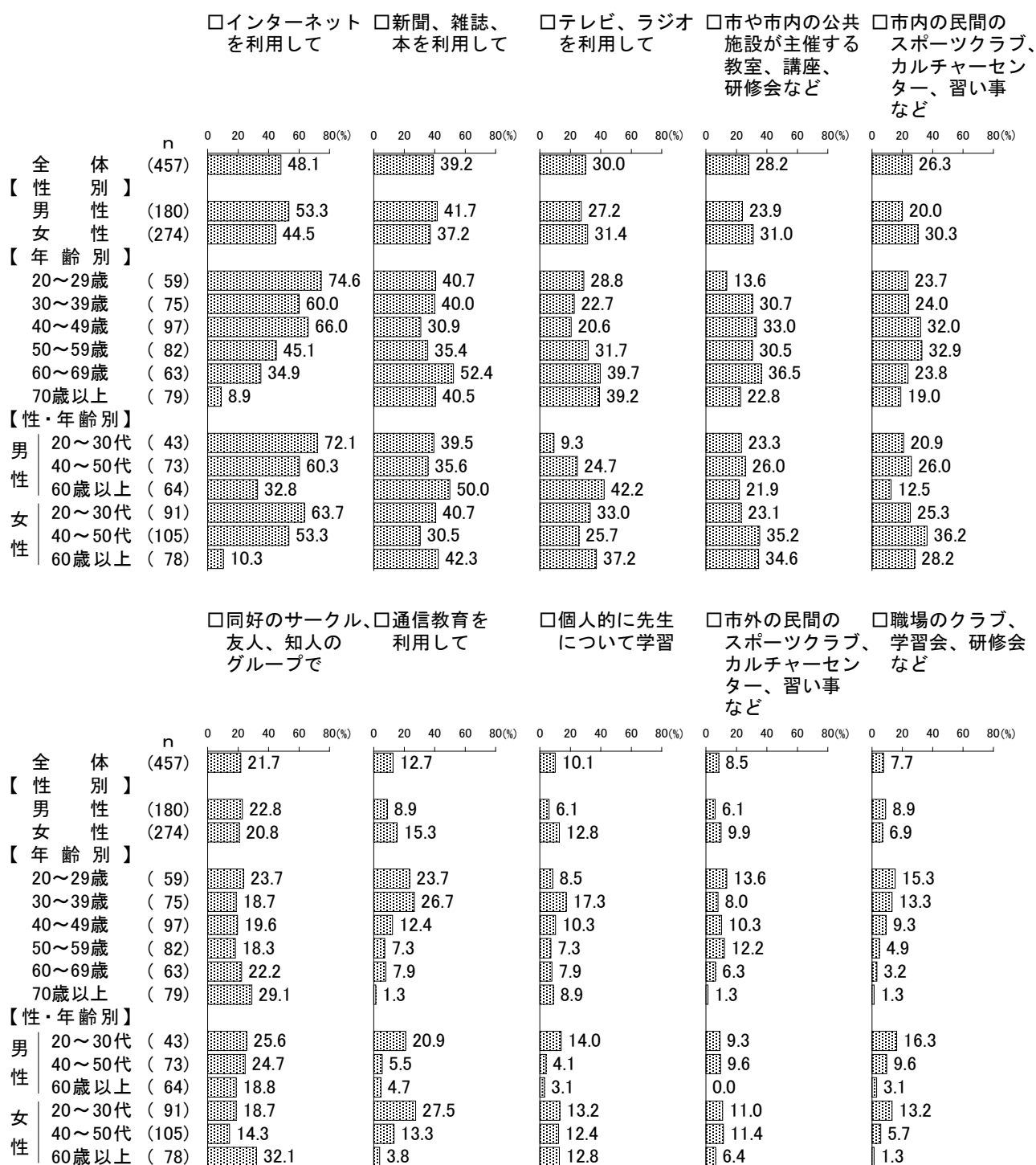
過去の調査結果と比較すると、「新聞、雑誌、本を利用して」は平成27年度より9.3ポイント増加している。一方、「市や市内の公共施設が主催する教室、講座、研修会など」は平成27年度より15.5ポイント減少している。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞（上位10項目）

性別で見ると、「市内の民間のスポーツクラブ、カルチャーセンター、習い事など」は女性（30.3%）が男性（20.0%）より10.3ポイント高くなっている。一方、「インターネットを利用して」は男性（53.3%）が女性（44.5%）より8.8ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「インターネットを利用して」は20～29歳で74.6%と高くなっている。「新聞、雑誌、本を利用して」は60～69歳で52.4%と高くなっている。

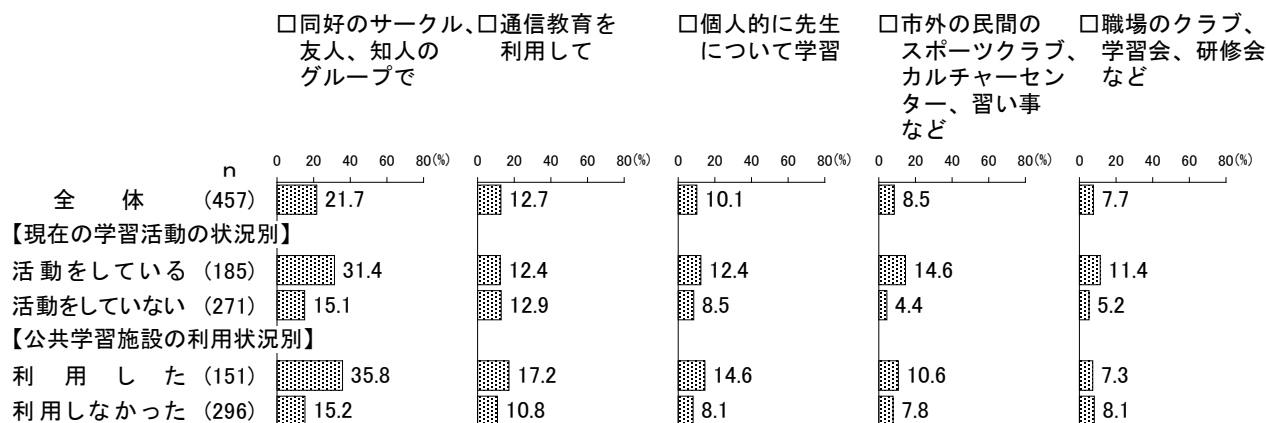
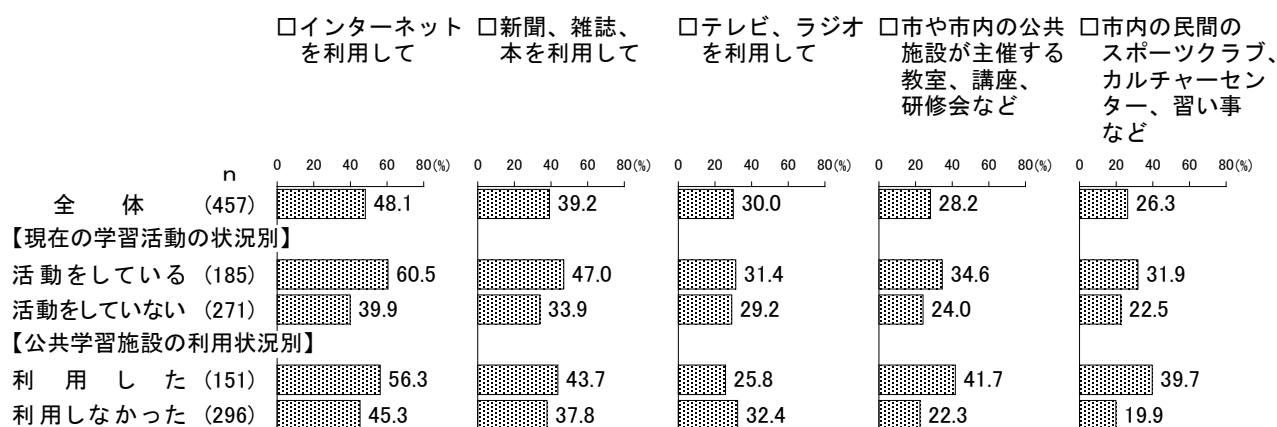
性・年齢別で見ると、「インターネットを利用して」は男性20～30代で72.1%と高くなっている。「新聞、雑誌、本を利用して」は男性60歳以上で50.0%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞（上位10項目）

現在の学習活動の状況別でみると、「インターネットを利用して」は現在学習活動をしている人（60.5%）が活動をしていない人（39.9%）より20.6ポイント、「同好のサークル、友人、知人のグループで」は現在学習活動をしている人（31.4%）が活動をしていない人（15.1%）より16.3ポイント、それぞれ高くなっている。

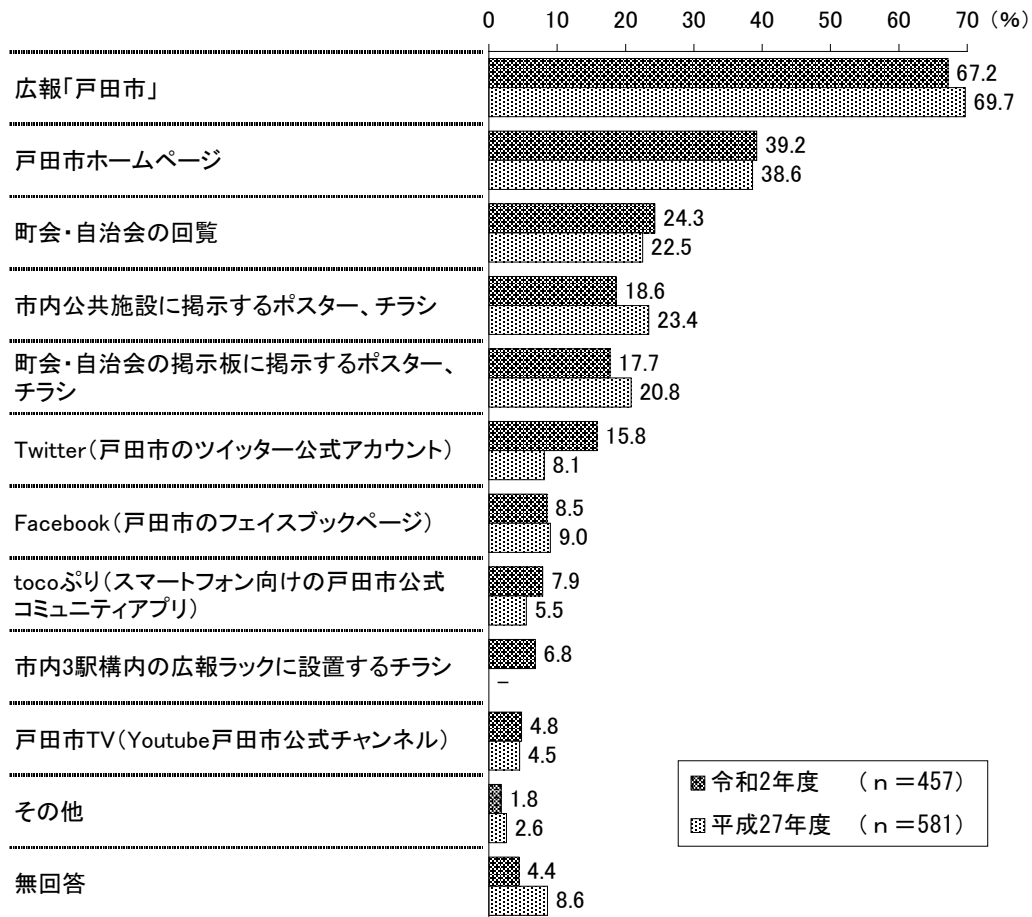
公共学習施設の利用状況別でみると、「同好のサークル、友人、知人のグループで」は公共学習施設を利用した人（35.8%）が利用しなかった人（15.2%）より20.6ポイント、「市内の民間のスポーツクラブ、カルチャーセンター、習い事など」は公共学習施設を利用した人（39.7%）が利用しなかった人（19.9%）より19.8ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「テレビ、ラジオを利用して」は公共学習施設を利用しなかった人（32.4%）が利用した人（25.8%）より6.6ポイント高くなっている。



(2) 「市民向け生涯学習事業」の情報に接しやすいと思う発信媒体

◇「広報『戸田市』」が67.2%、市ホームページが39.2%、Twitterは15.8%（20～29歳では55.9%）

問9 あなたにとって、講座をはじめとする市民向け生涯学習事業に関する情報は、どんな媒体を通じて発信されると、接しやすいと思いますか。（いくつでも○印）



※「市内3駅構内の広報ラックに設置するチラシ」は令和2年度から追加された選択肢

「市民向け生涯学習事業」の情報に接しやすいと思う発信媒体を聞いたところ、「広報『戸田市』」が67.2%で最も高く、次いで「戸田市ホームページ」(39.2%)、「町会・自治会の回覧」(24.3%)、「市内公共施設に掲示するポスター、チラシ」(18.6%)と続いている。

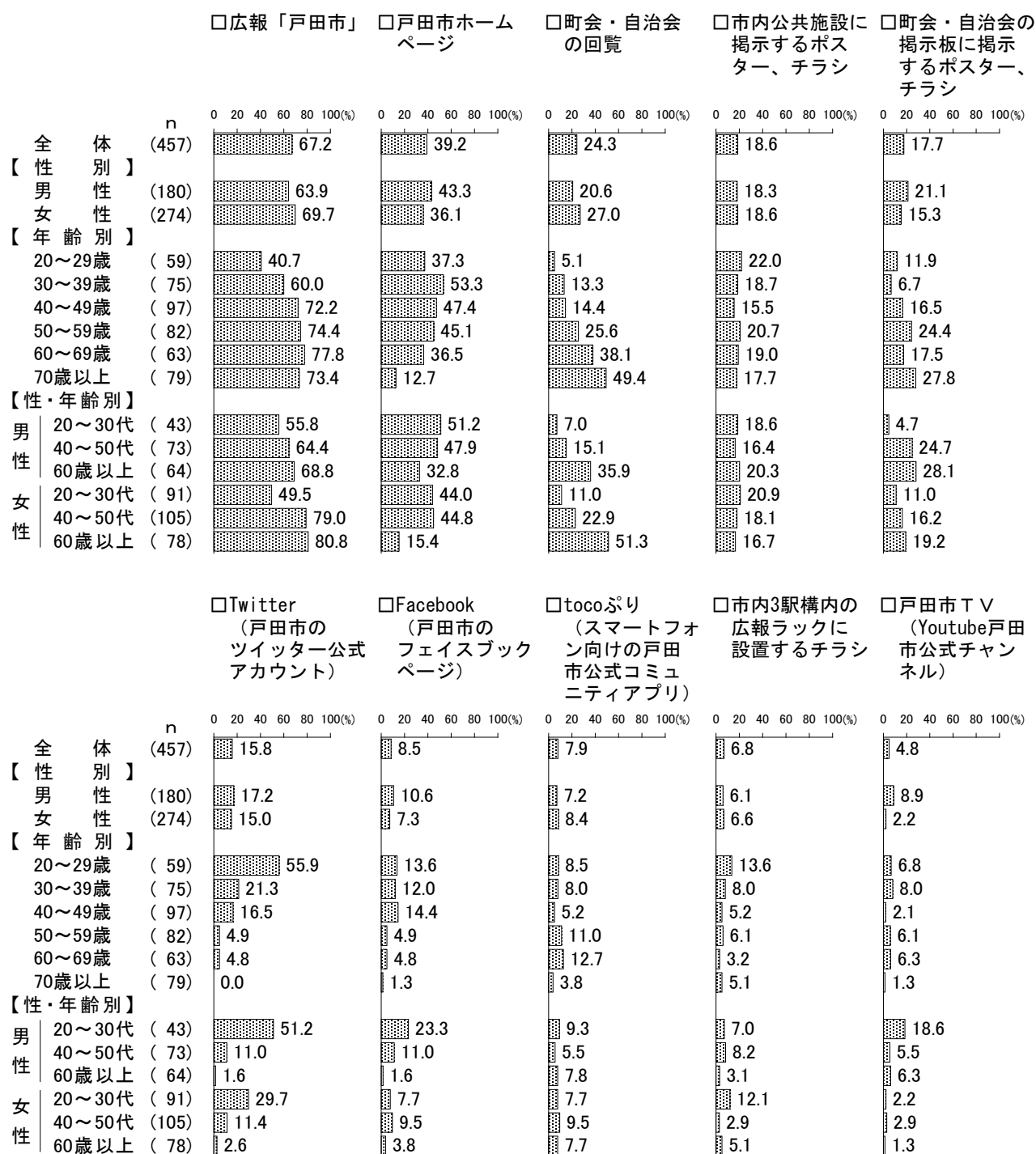
過去の調査結果と比較すると、「Twitter(戸田市のツイッター公式アカウント)」は平成27年度より7.7ポイント増加している。一方、「市内公共施設に掲示するポスター、チラシ」は平成27年度より4.8ポイント減少している。

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別で見ると、「戸田市ホームページ」は男性（43.3%）が女性（36.1%）より7.2ポイント高くなっている。一方、「町会・自治会の回覧」は女性（27.0%）が男性（20.6%）より6.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「広報『戸田市』」と「町会・自治会の回覧」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなっている。「Twitter（戸田市のツイッター公式アカウント）」は年齢が下がるにつれて高くなっており、20～29歳で55.9%となっている。

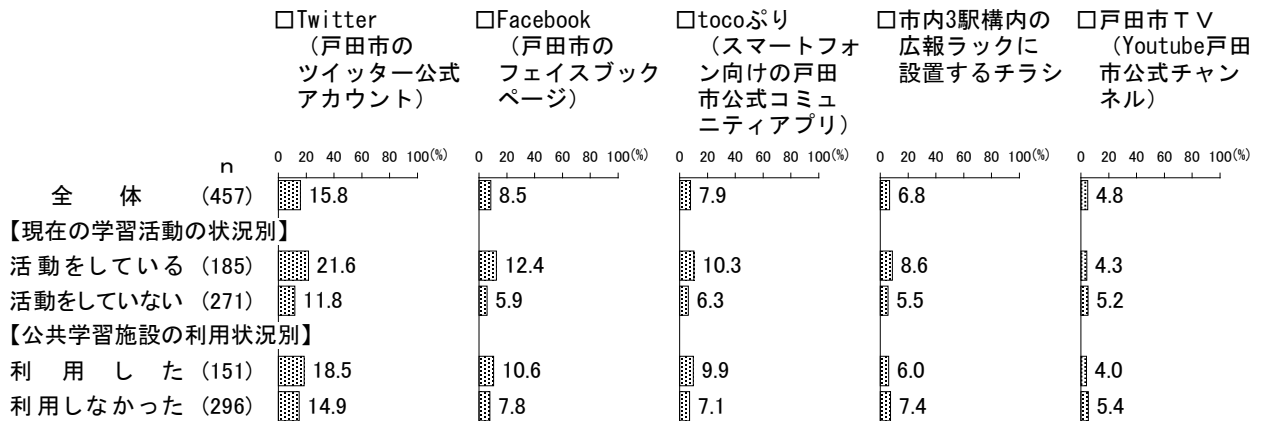
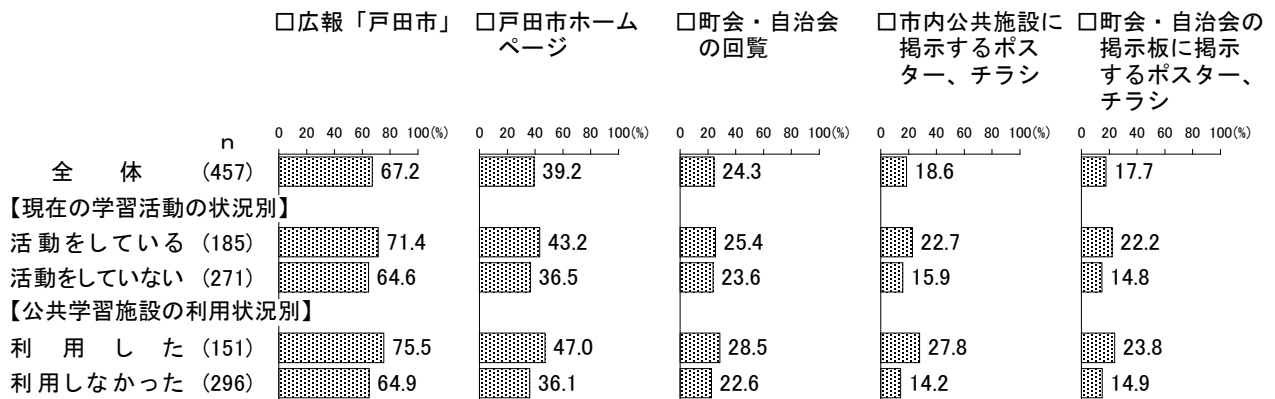
性・年齢別で見ると、「広報『戸田市』」は女性60歳以上で80.8%、女性40～50代で79.0%と高くなっている。「町会・自治会の回覧」は女性60歳以上で51.3%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞

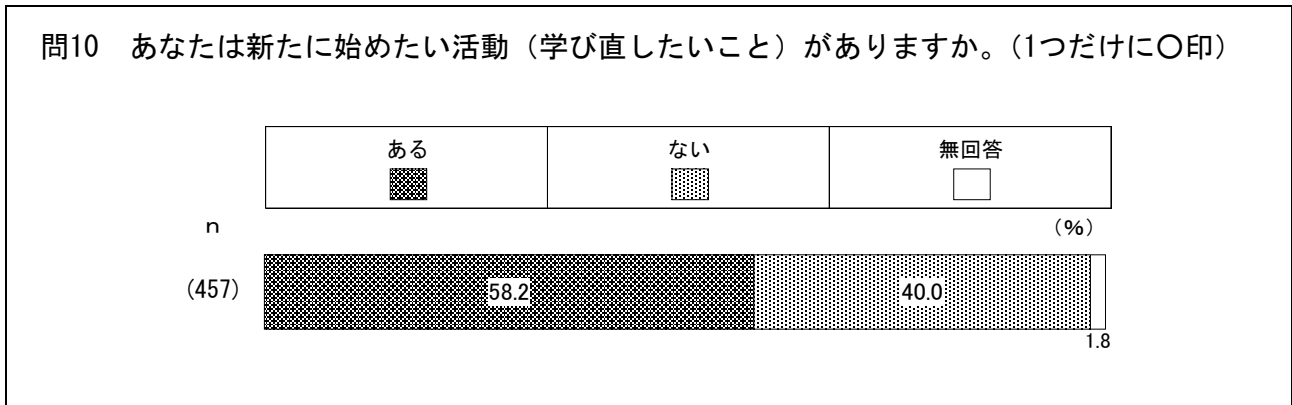
現在の学習活動の状況別でみると、「Twitter（戸田市のツイッター公式アカウント）」は現在学習活動をしている人（21.6%）が活動をしていない人（11.8%）より9.8ポイント、「町会・自治会の掲示板に掲示するポスター、チラシ」は現在学習活動をしている人（22.2%）が活動をしていない人（14.8%）より7.4ポイント、それぞれ高くなっている。

公共学習施設の利用状況別でみると、「市内公共施設に掲示するポスター、チラシ」は公共学習施設を利用した人（27.8%）が利用しなかった人（14.2%）より13.6ポイント、「戸田市ホームページ」は公共学習施設を利用した人（47.0%）が利用しなかった人（36.1%）より10.9ポイント、それぞれ高くなっている。



(3) 新たに始めたい「学習活動」の有無

◇「ある」が58.2%



新たに始めたい「学習活動」の有無を聞いたところ、「ある」が58.2%、「ない」は40.0%となっている。

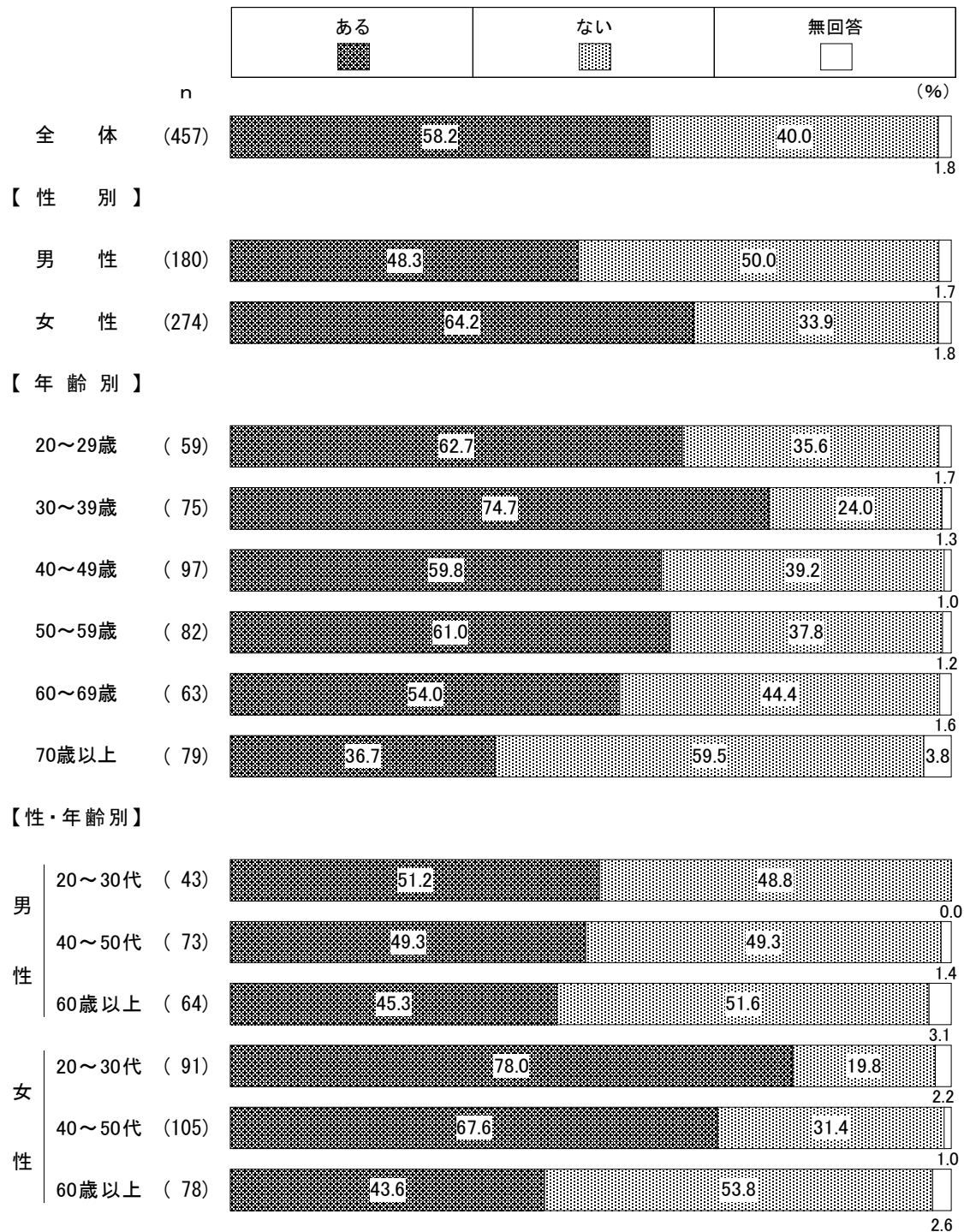
<性別、年齢別、性・年齢別>

性別でみると、「ある」は女性（64.2%）が男性（48.3%）より15.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「ある」は30～39歳で74.7%と高くなっている。一方、「ない」は70歳以上で59.5%と高くなっている。

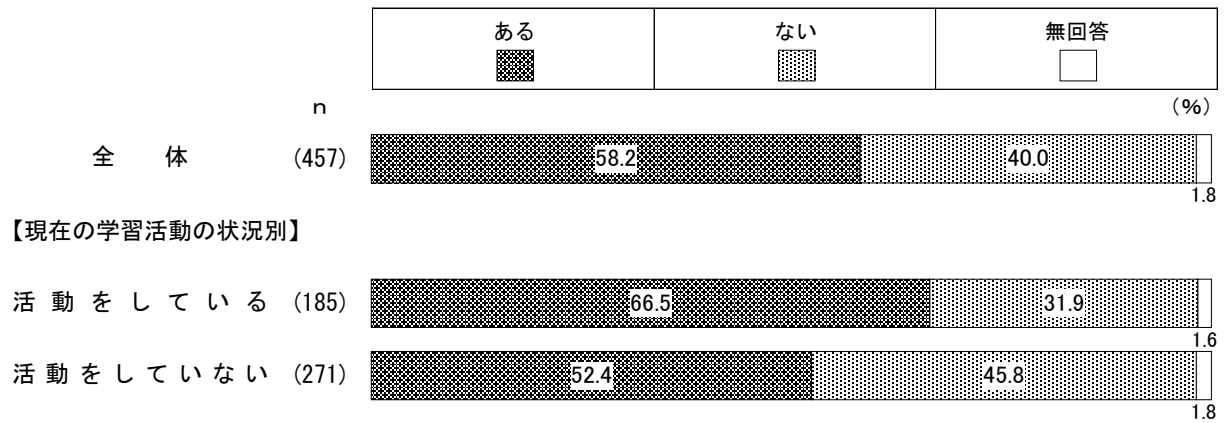
性・年齢別でみると、「ある」は女性20～30代で78.0%、女性40～50代で67.6%と高くなっている。一方、「ない」は女性60歳以上で53.8%、男性60歳以上で51.6%と高くなっている。

「新たに始めたい活動がある」と回答した人の割合は20～30代に多く、特に女性でその傾向は顕著である。



＜現在の学習活動の状況別＞

現在の学習活動状況別（問6）で見ると、「学習活動を行っていない」と回答した人は59.3%であるが、そのうち52.4%の人が「新たに始めたい活動がある」と回答している。なお、「新たに始めたい活動がある」は、“現在学習活動をしている”（66.5%）が“現在活動をしていない”（52.4%）より14.1ポイント高くなっている。

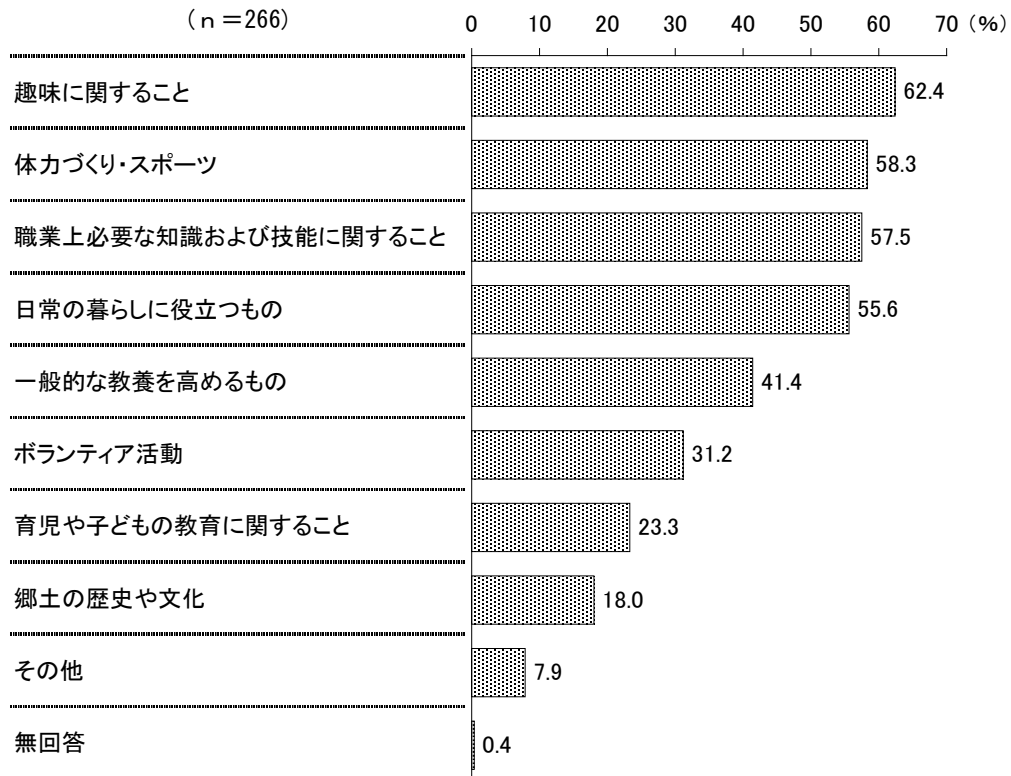


(4) 新たに始めたい具体的な「学習活動」

◇「趣味に関すること」が62.4%

【問10で、「ある」と答えた方にお聞きします】

問10-1 (1) 新たに始めたい活動について、以下の（1～62）の中から、あてはまるもの
いくつでも○印をつけてください。



「新たに始めたい学習活動がある」と答えた方に、具体的な内容を聞いたところ、「趣味に関すること」が62.4%で最も高く、次いで「体づくり・スポーツ」(58.3%)、「職業上必要な知識および技能に関すること」(57.5%)、「日常の暮らしに役立つもの」(55.6%)と続いている。

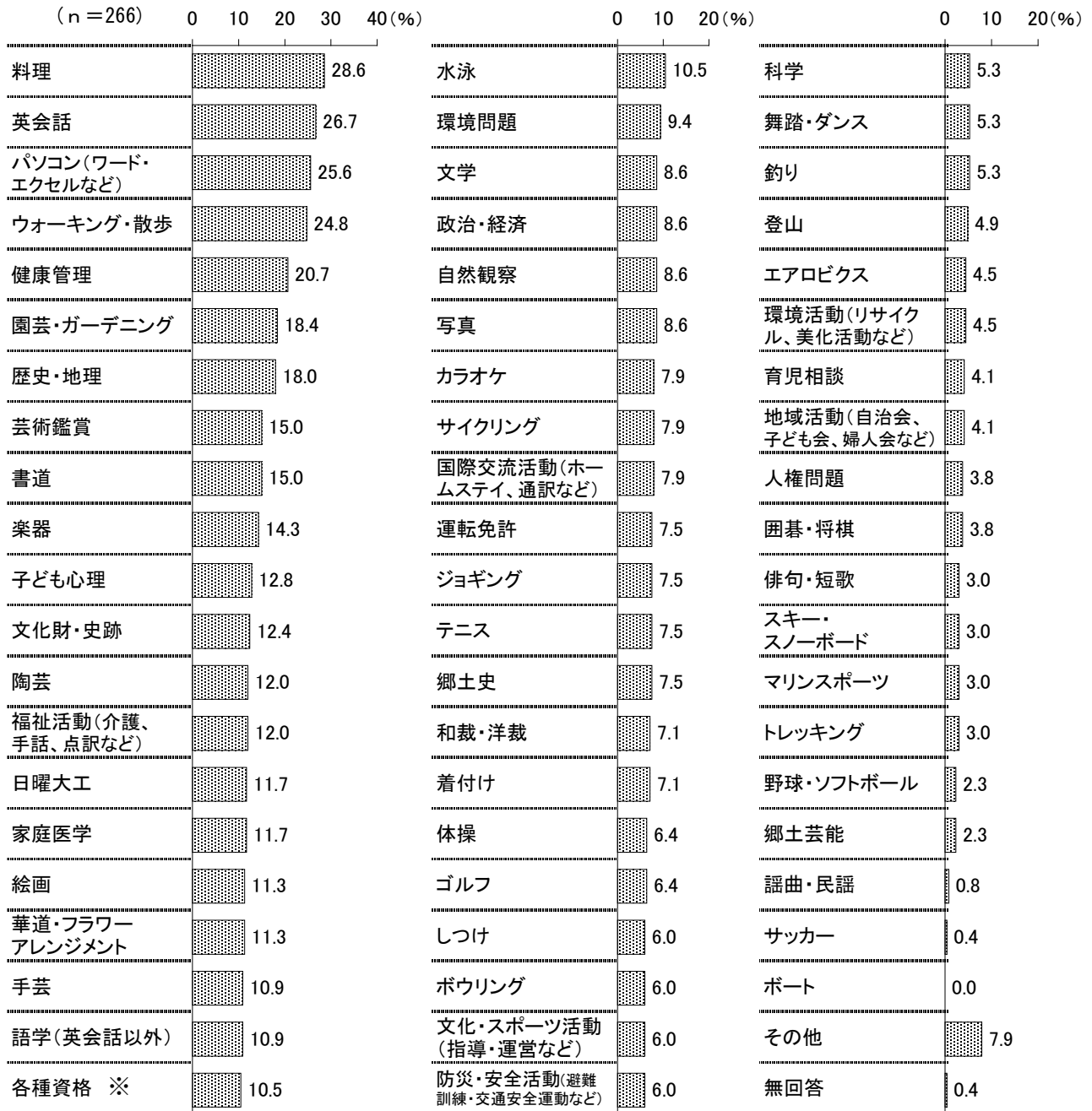
<平成27年度調査結果（参考）>

過去の調査結果との比較は回答対象者が異なるため、平成27年度の調査結果を参考に図示する。

分野 (N=581)	(%)
体づくり・スポーツ	58.0
日常の暮らしに役立つもの	50.3
職業上必要な知識および技能に関すること	48.7
趣味に関すること	47.8
一般的な教養を高めるもの	28.2
ボランティア活動	24.4
育児や子どもの教育に関すること	17.6
郷土の歴史や文化	11.0
その他	3.8
無回答	13.8

※平成27年度では全員を回答対象者としていた

具体的な「学習活動」をみると、「料理」が28.6%で最も高く、次いで「英会話」（26.7%）、「パソコン（ワード・エクセルなど）」（25.6%）、「ウォーキング・散歩」（24.8%）と続いている。



※「各種資格」の回答内容は次のとおりである。

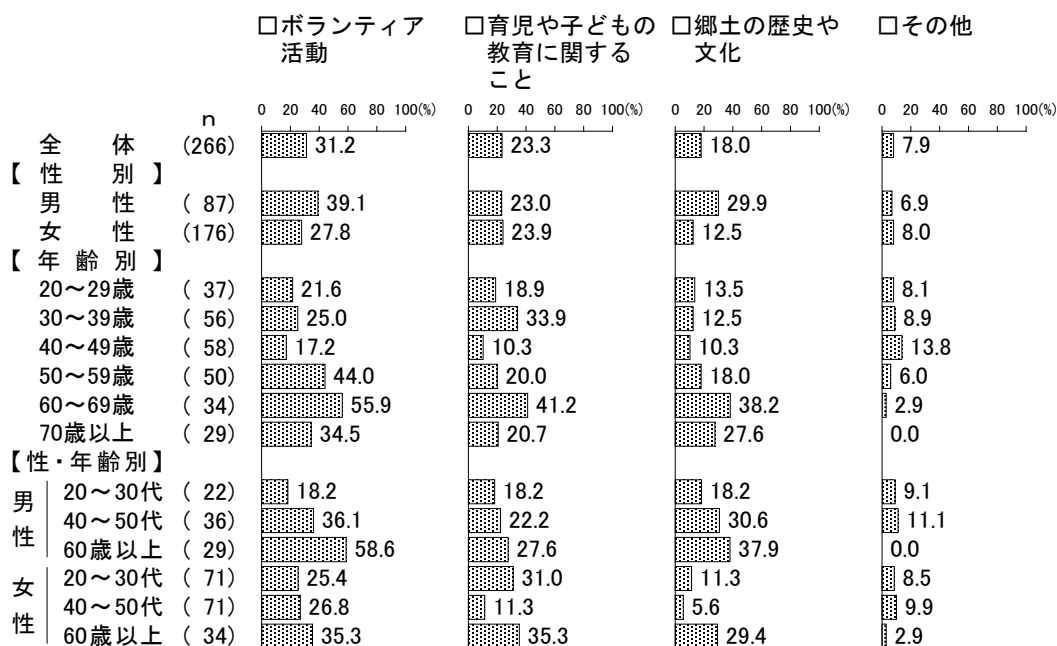
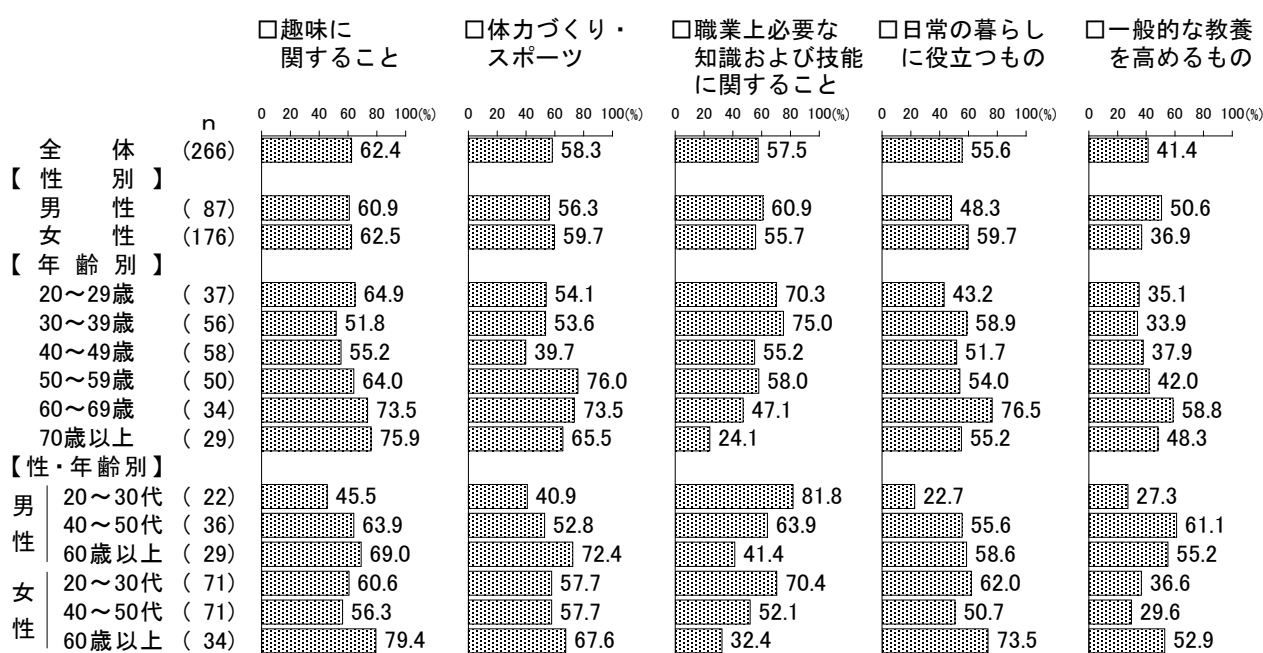
LinuC・簿記・ファイナンシャルプランナー・ハンゲル・カウンセリング・理学療法士・社労士・IT・土木一級・溶接・水道ガス工事・漢字検定・経営学・ケアマネージャー・宅地建物取引士資格試験

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別で見ると、「郷土の歴史や文化」は男性（29.9%）が女性（12.5%）より17.4ポイント高くなっている。一方、「日常の暮らしに役立つもの」は女性（59.7%）が男性（48.3%）より11.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「趣味に関すること」は70歳以上で75.9%、60～69歳で73.5%と高くなっている。「体力づくり・スポーツ」は50～59歳で76.0%、60～69歳で73.5%と高くなっている。「日常の暮らしに役立つもの」は60～69歳で76.5%と高くなっている。

性・年齢別で見ると、「趣味に関すること」は女性60歳以上で79.4%と高くなっている。「日常の暮らしに役立つもの」は女性60歳以上で73.5%と高くなっている。また、「職業上必要な知識および技能に関すること」は男性20～30代で81.8%、女性20～30代で70.4%と高くなっている。



<性別、年齢別、性・年齢別>（具体的な「学習活動」の上位5位）

性別でみると、男性では「歴史・地理」、女性では「料理」が第1位となっている。

年齢別でみると、39歳以下では「英会話」と「料理」が上位2位となっている。50歳以上では同率を含め「ウォーキング・散歩」が第1位となっている。

性・年齢別でみると、男女ともに60歳以上では「ウォーキング・散歩」が第1位となっている。「英会話」は男性20～30代で第1位、女性20～30代で第2位となっている。

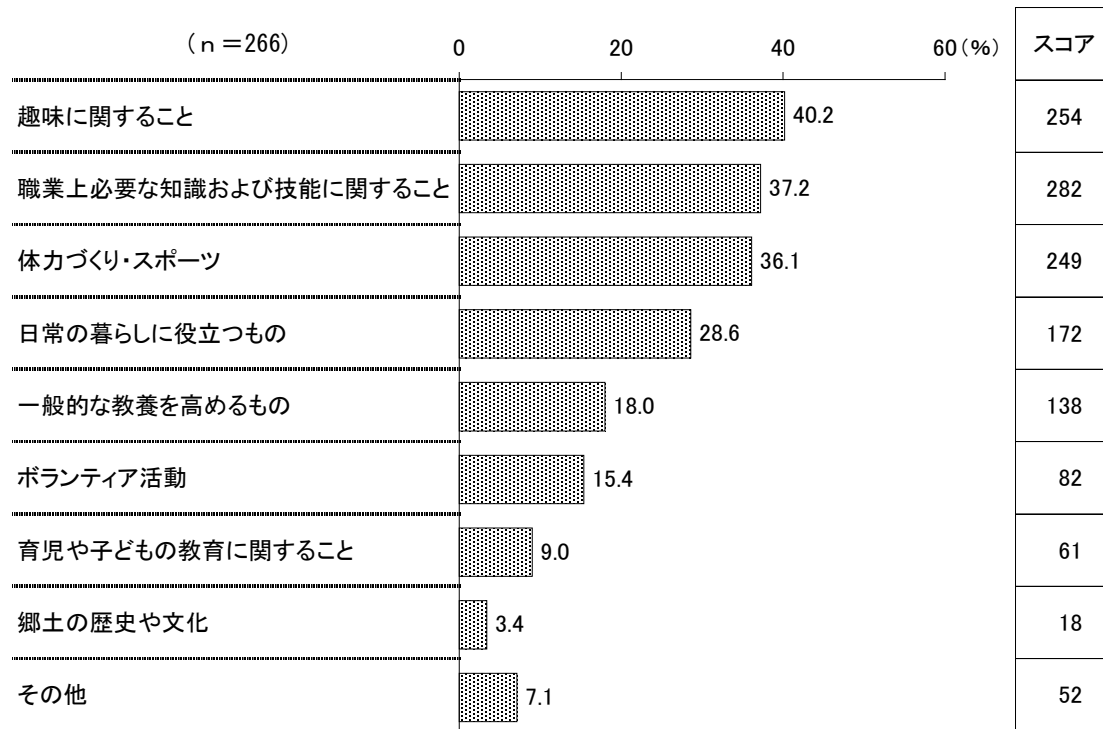
属性		順位	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体			266	料理 (28.6)	英会話 (26.7)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (25.6)	ウォーキング・ 散歩 (24.8)	健康管理 (20.7)
性 別	男 性		87	歴史・地理 (27.6)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (25.3)	日曜大工/ウォーキング・散歩 (24.1)		英会話 (23.0)
	女 性		176	料理 (33.5)	英会話 (27.8)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (26.1)	ウォーキング・ 散歩 (25.6)	健康管理/園芸・ ガーデニング (20.5)
年 齢 別	20～29歳		37	料理/英会話 (32.4)		パソコン(ワード・ エクセルなど) (27.0)	運転免許 (24.3)	歴史・地理 (21.6)
	30～39歳		56	英会話 (50.0)	料理 (37.5)	子ども心理/パソコン(ワード・ エクセルなど) (25.0)		ウォーキング・ 散歩 (19.6)
	40～49歳		58	パソコン(ワード・ エクセルなど) (25.9)	各種資格 (20.7)	歴史・地理/料理 (19.0)		英会話/楽器 (17.2)
	50～59歳		50	ウォーキング・ 散歩 (32.0)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (30.0)	園芸・ガーデニング/ 福祉活動(介護、手話、点訳など) (28.0)		歴史・地理/ 健康管理/英会話 (22.0)
	60～69歳		34	健康管理/ウォーキング・散歩 (47.1)		料理 (38.2)	日曜大工/サイクリング (32.4)	
	70歳以上		29	ウォーキング・ 散歩 (48.3)	健康管理 (37.9)	料理 (31.0)	園芸・ ガーデニング (27.6)	文化財・史跡 (24.1)
性 ・ 年 齢 別	男性20～30代		22	英会話 (54.5)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (27.3)	運転免許/楽器/文化財・史跡 (18.2)		
	40～50代		36	歴史・地理 (36.1)	日曜大工 (30.6)	各種資格 (27.8)	パソコン(ワード・エクセルなど)/ 文化財・史跡 (25.0)	
	60歳以上		29	ウォーキング・ 散歩 (48.3)	健康管理 (44.8)	歴史・地理/自然観察 (31.0)		日曜大工 (27.6)
	女性20～30代		71	料理 (43.7)	英会話 (39.4)	パソコン(ワード・ エクセルなど) (25.4)	子ども心理 (23.9)	語学 (英会話以外) (19.7)
	40～50代		71	パソコン(ワード・ エクセルなど) (29.6)	ウォーキング・ 散歩 (25.4)	園芸・ ガーデニング (22.5)	英会話 (21.1)	料理/福祉活動 (介護、手話、 点訳など) (18.3)
	60歳以上		34	ウォーキング・ 散歩 (47.1)	料理 (44.1)	健康管理 (41.2)	園芸・ ガーデニング (32.4)	芸術鑑賞/ 手芸 (26.5)

※表中で、活動名ごとにスラッシュ（/）で区切り、まとめているものは、同率で複数の回答があるもの

(5) 特に力を入れて行いたい「学習活動」

◇「趣味に関すること」が40.2%、スコアでは「職業上必要な知識および技能に関すること」が282点でトップ

問10-1 (2) (1) で○印をつけた活動（学習活動）のうち、特に力を入れて行いたいものについて、順に3つまで、番号でお答えください。



※スコアは、順位付けの回答結果に1位=3点、2位=2点、3位=1点を与えて集計したもの。

特に力を入れて行いたい「学習活動」の順位付け回答について、1位から3位の累計では「趣味に関すること」が40.2%で最も高く、次いで「職業上必要な知識および技能に関すること」(37.2%)、「体力づくり・スポーツ」(36.1%)、「日常の暮らしに役立つもの」(28.6%)と続いている。

また、1位に3点、2位に2点、3位に1点を与えて集計したスコアで見ると、「職業上必要な知識および技能に関すること」が282点で最も高く、次いで「趣味に関すること」(254点)、「体力づくり・スポーツ」(249点)、「日常の暮らしに役立つもの」(172点)と続いている。

＜具体的な「学習活動」の上位10位（スコア）＞

具体的な「学習活動」のスコアをみると、「英会話」が107点で最も高く、次いで「パソコン（ワード・エクセルなど）」（76点）、「ウォーキング・散歩」（72点）、「料理」（65点）と続いている。

順位	分野	新たに始めたい学習活動	スコア
第1位	職業上の知識・技能	英会話	107
第2位	職業上の知識・技能	パソコン（ワード・エクセルなど）	76
第3位	スポーツ	ウォーキング・散歩	72
第4位	暮らし	料理	65
第5位	一般的教養	歴史・地理	57
第6位	趣味	園芸・ガーデニング	53
第7位	暮らし	健康管理	44
第8位	職業上の知識・技能	各種資格	37
	趣味	絵画	
第10位	趣味	書道	36

4 公共学習施設の利用実態および評価

〔結果と課題（概要）〕

◇「公共学習施設」の利用状況

- ・「利用した」は平成22年度以降減少傾向にあり、前回調査より8.8ポイント減少している。
- ・忙しいため利用ができないということのほか、「特に理由がない」が上位に。公共学習施設でできることや、学習活動そのものに関する認知、関心を高める必要がある。

◇利用している「公共学習施設」

- ・平成27年に設立された「上戸田地域交流センター（あいパル）」が市民にとって新たな学習活動の場として位置づいてきていることがうかがえる。
- ・図書館の利用率の減少については、図書館本館が平成30年7月から令和2年3月まで工事のため休館していたことや、電子書籍の台頭等が影響していると思われるが、これからの図書館の在り方を再考する必要があると考えられる。

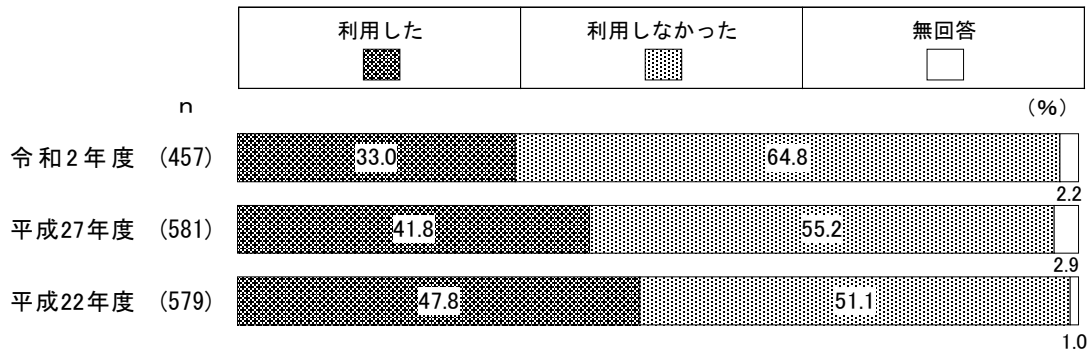
◇「公共学習施設」への改善希望

- ・「特になし」が突出して高い。現状に満足しているとも読み取れる一方で、施設そのものへの期待度の低さも伺える。
- ・施設の使用手続きの簡略化や利用時間については施設の利用状況に関らず改善へのニーズがある。

(1) 「公共学習施設」の利用状況

◇ 「利用した」が33.0%

問11 あなたはここ1年間に、市内にある公共の学習施設を利用しましたか。(1つだけに○印)



「公共学習施設」の利用状況を聞いたところ、「利用した」が33.0%、「利用しなかった」は64.8%となっている。

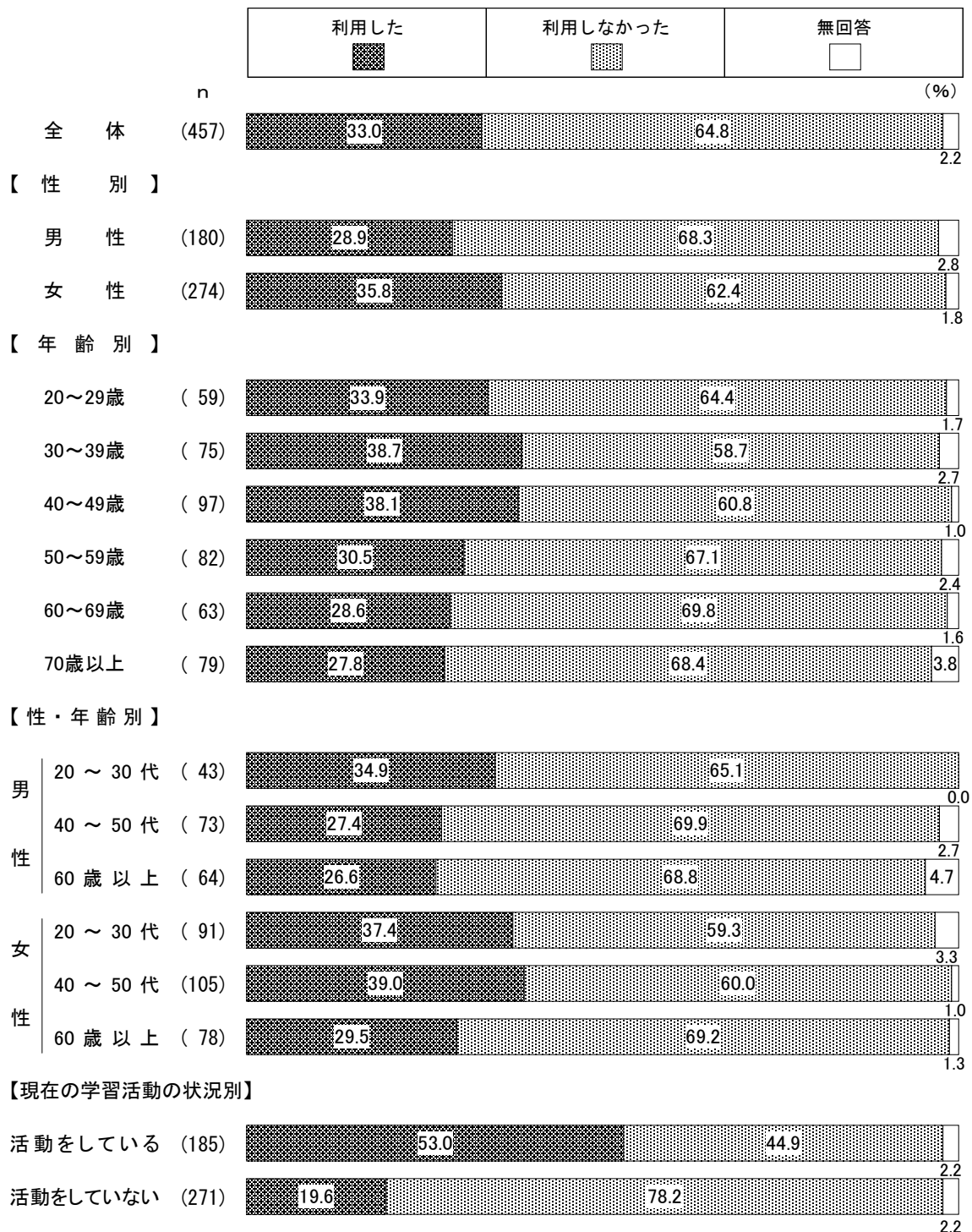
過去の調査結果と比較すると、「利用した」は平成22年度以降減少傾向にあり、平成27年度より8.8ポイント減少している。

＜性別、年齢別、性・年齢別、現在の学習活動の状況別＞

性別でみると、「利用した」は女性（35.8%）が男性（28.9%）より6.9ポイント高くなっている。
 年齢別でみると、「利用した」は30～39歳で38.7%、40～49歳で38.1%と高くなっている。一方、「利用しなかった」は60～69歳で69.8%と高くなっている。

性・年齢別でみると、「利用した」は女性40～50代で39.0%、女性20～30代で37.4%と高くなっている。一方、「利用しなかった」は男性40～50代で69.9%、女性60歳以上で69.2%、男性60歳以上で68.8%と高くなっている。

現在の学習活動の状況別でみると、「利用した」は現在学習活動をしている人（53.0%）が活動をしていない人（19.6%）より33.4ポイント高くなっている。

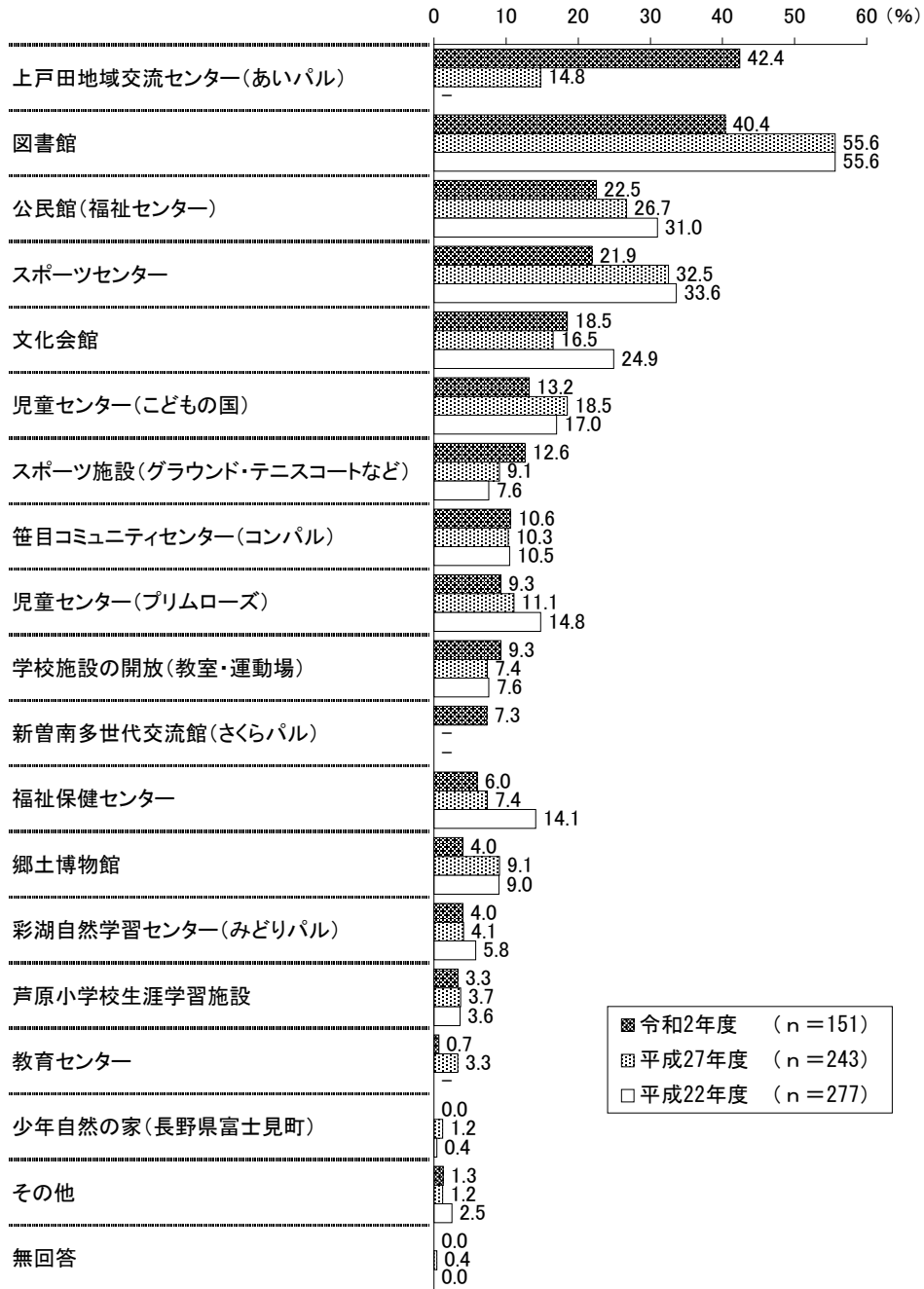


(2) 利用している「公共学習施設」

◇「上戸田地域交流センター（あいパル）」が42.4%

【問11で、「利用した」と答えた方にお聞きします】

問11-1 どの施設を利用しましたか。（いくつでも○印）



- ※「上戸田地域交流センター（あいパル）」は平成27年度から追加された選択肢
- ※「新曽南多世代交流館（さくらパル）」は令和2年度から追加された選択肢
- ※「教育センター」は平成22年度では「芦原小学校生涯学習施設」に含まれていた
- ※「図書館本館」「スポーツセンター」「文化会館」「郷土博物館」は工事のため一部休館期間あり

「公共学習施設を利用した」と答えた方に、具体的な施設を聞いたところ、「上戸田地域交流センター（あいパル）」が42.4%で最も高く、次いで「図書館」（40.4%）と続いている。

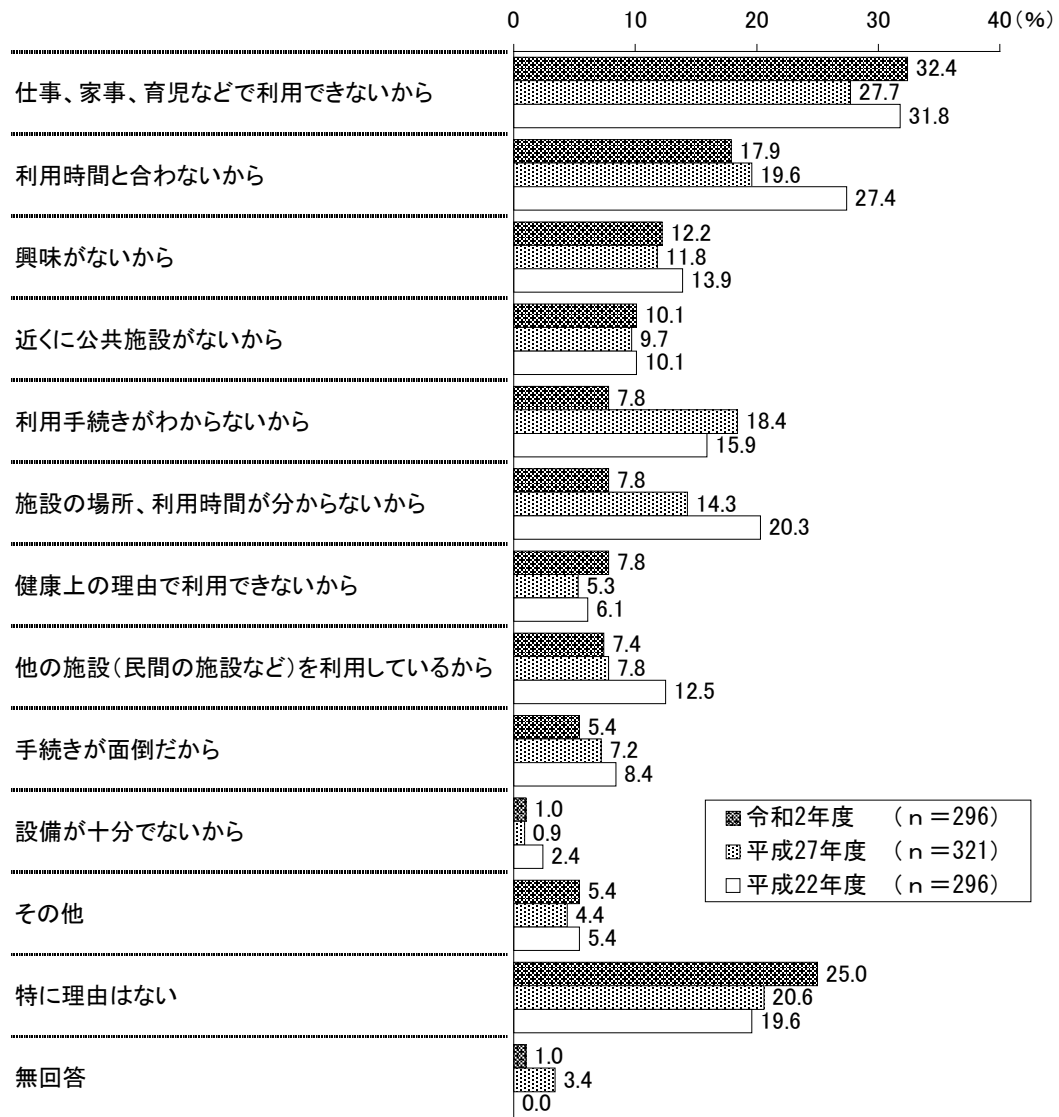
過去の調査結果と比較すると、「上戸田地域交流センター（あいパル）」は平成27年度より27.6ポイント増加している。一方、「図書館」は平成27年度より15.2ポイント減少している。

(3) 「公共学習施設」を利用していない理由

◇「仕事、家事、育児などで利用できないから」が32.4%、「特に理由はない」が25.0%

【問11で、「利用しなかった」と答えた方にお聞きします】

問12 施設を利用しなかった理由は何ですか。（いくつでも○印）



※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

「公共学習施設を利用しなかった」と答えた方に、その理由を聞いたところ、「仕事、家事、育児などで利用できないから」が32.4%で最も高く、次いで「利用時間と合わないから」(17.9%)、「興味がないから」(12.2%)、「近くに公共施設がないから」(10.1%)と続いている。また、「特に理由はない」が25.0%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「仕事、家事、育児などで利用できないから」は平成27年度より4.7ポイント増加している。一方、「利用手続きがわからないから」は平成27年度より10.6ポイント、「施設の場所、利用時間が分からないから」は平成27年度より6.5ポイント、それぞれ減少している。

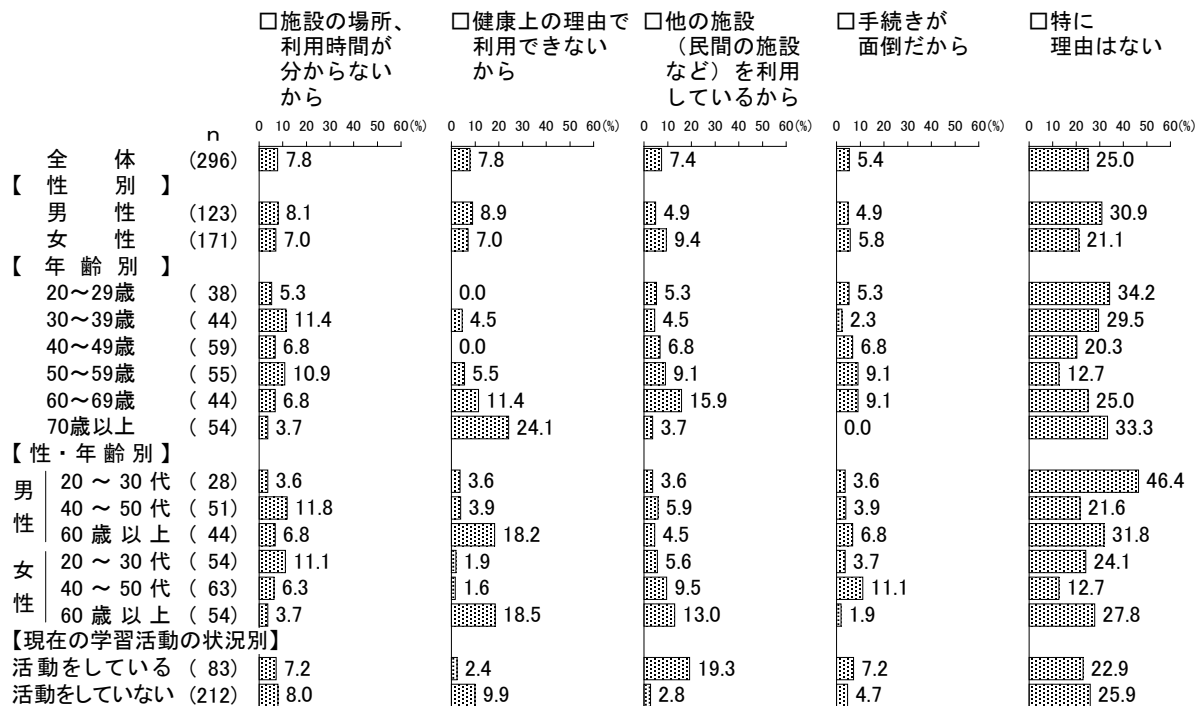
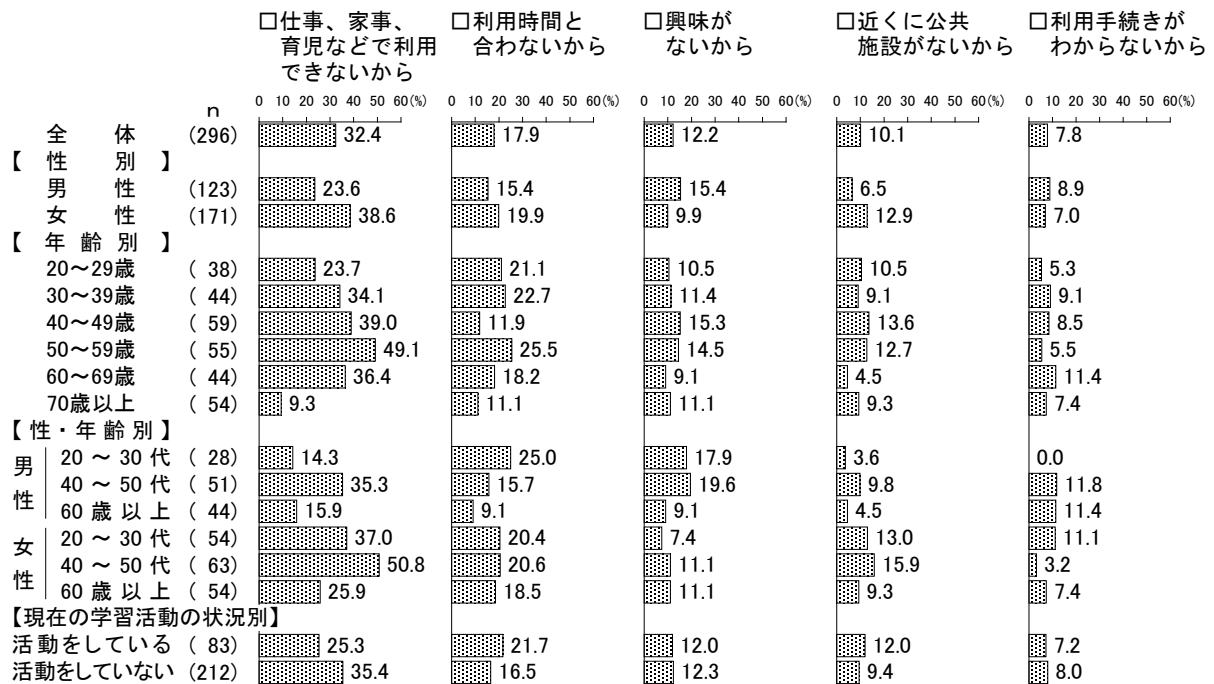
＜性別、年齢別、性・年齢別、現在の学習活動の状況別＞（上位10項目）

性別でみると、「仕事、家事、育児などで利用できないから」は女性（38.6%）が男性（23.6%）より15.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「仕事、家事、育児などで利用できないから」は50～59歳で49.1%と高くなっている。

性・年齢別でみると、「仕事、家事、育児などで利用できないから」は女性40～50代で50.8%と高くなっている。

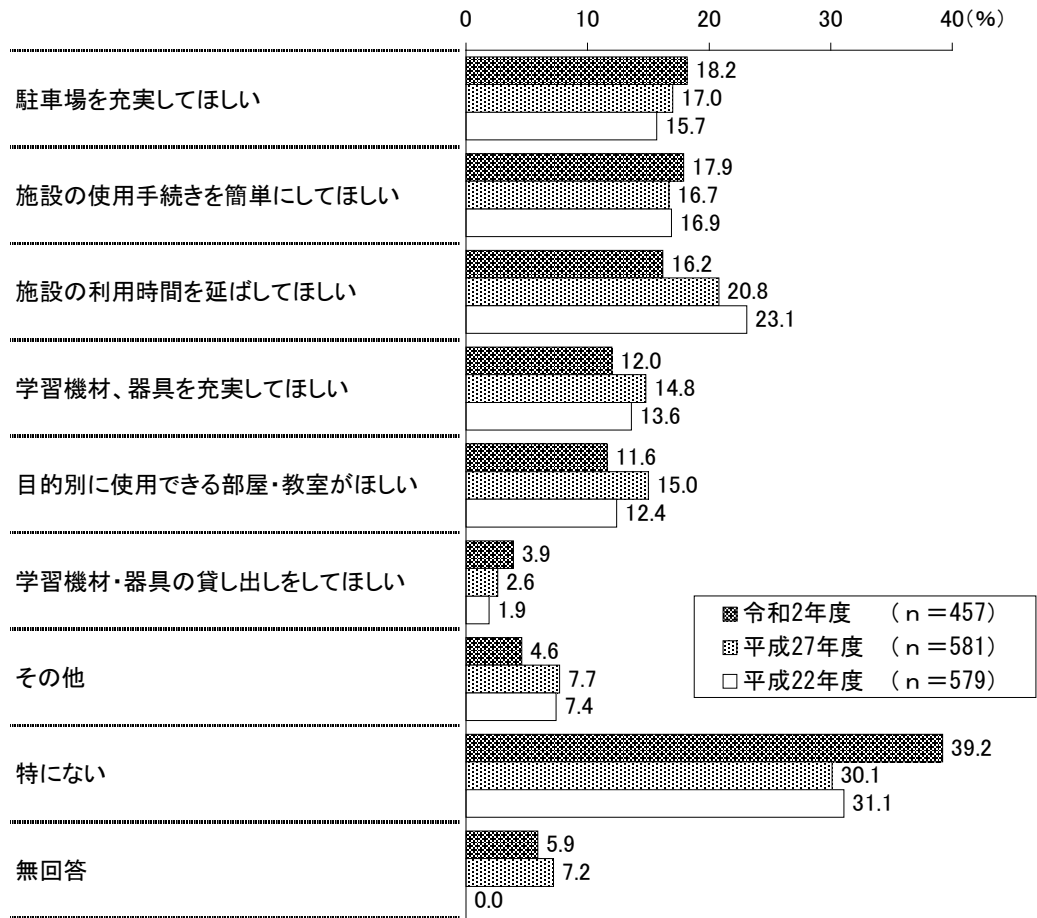
現在の学習活動の状況別でみると、「他の施設（民間の施設など）を利用しているから」は現在学習活動をしている人（19.3%）が活動をしていない人（2.8%）より16.5ポイント高くなっている。一方、「仕事、家事、育児などで利用できないから」は現在学習活動をしていない人（35.4%）が活動をしている人（25.3%）より10.1ポイント高くなっている。



(4) 「公共学習施設」への改善希望

◇ 「駐車場を充実してほしい」が18.2%、「特にない」は39.2%

問13 公共の学習施設の設備・サービスでさらに望むものは何ですか。(2つ以内に○印)



「公共学習施設」への改善希望を聞いたところ、「駐車場を充実してほしい」が18.2%で最も高く、次いで「施設の使用手続きを簡単にしてほしい」(17.9%)、「施設の利用時間を延ばしてほしい」(16.2%)、「学習機材、器具を充実してほしい」(12.0%)と続いている。一方、「特にない」は39.2%となっている。

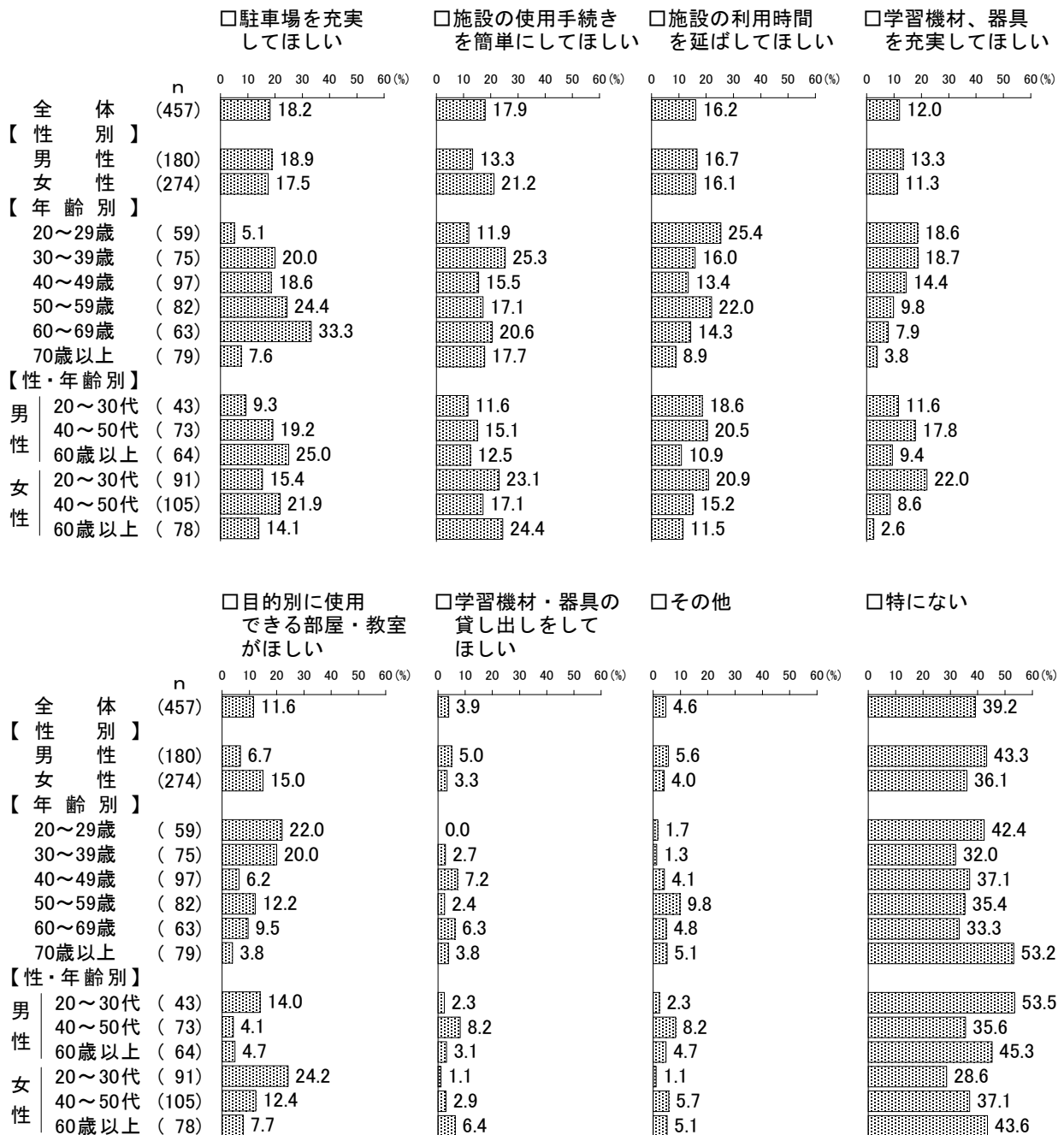
過去の調査結果と比較すると、「特にない」は平成27年度より9.1ポイント増加している。一方、「施設の利用時間を延ばしてほしい」は平成22年度以降減少傾向にあり、平成27年度より4.6ポイント減少している。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞

性別でみると、「目的別に使用できる部屋・教室がほしい」は女性（15.0%）が男性（6.7%）より8.3ポイント、「施設の使用手続きを簡単にしてほしい」は女性（21.2%）が男性（13.3%）より7.9ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「駐車場を充実してほしい」は60～69歳で33.3%と高くなっている。「施設の利用時間を延ばしてほしい」は20～29歳で25.4%と高くなっている。

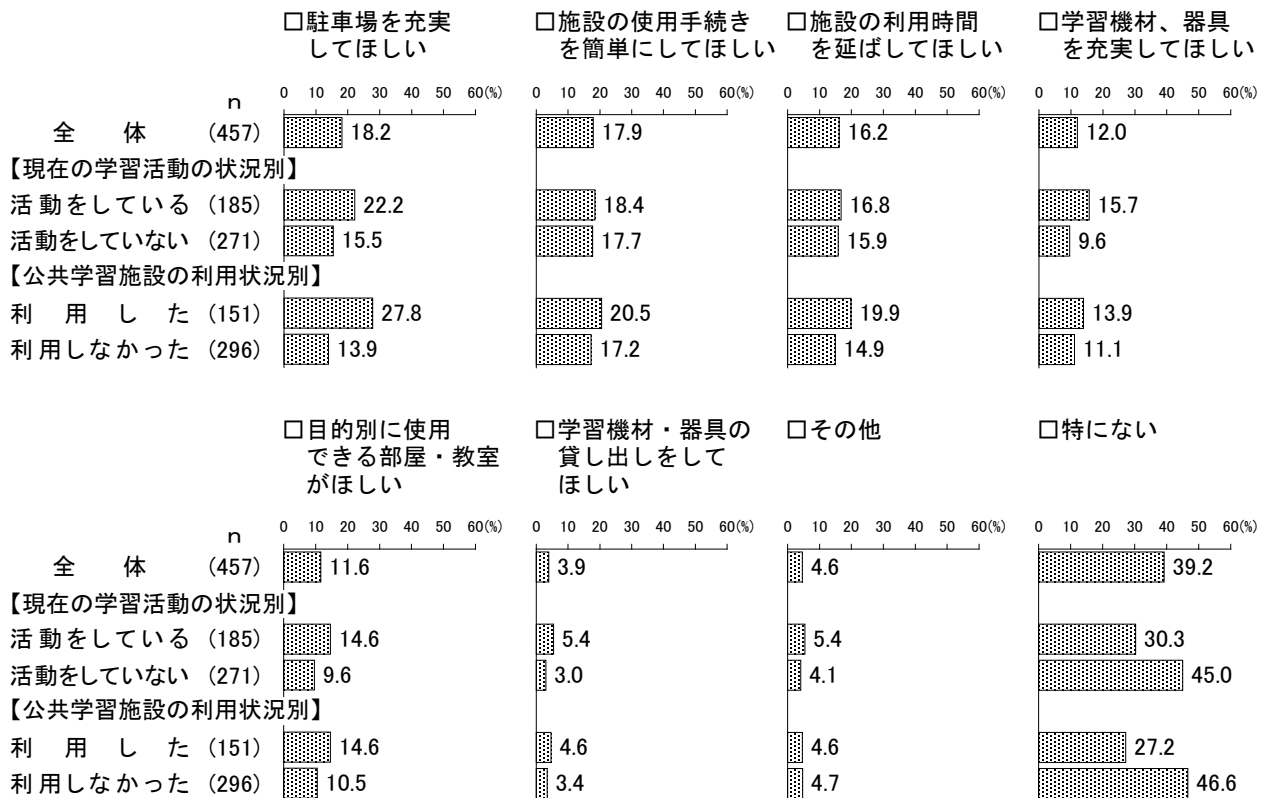
性・年齢別でみると、「駐車場を充実してほしい」は男性60歳以上で25.0%と高くなっている。「施設の使用手続きを簡単にしてほしい」は女性60歳以上で24.4%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞

現在の学習活動の状況別でみると、「駐車場を充実してほしい」は現在学習活動をしている人（22.2%）が活動をしていない人（15.5%）より6.7ポイント、「学習機材・器具の貸し出しをしてほしい」は現在学習活動をしている人（15.7%）が活動をしていない人（9.6%）より6.1ポイント、それぞれ高くなっている。

公共学習施設の利用状況別でみると、公共学習施設を利用している人は「駐車場を充実してほしい」が最も高く、利用しなかった人より13.9ポイント高くなっている。「施設の使用手続きを簡単にしてほしい」、「施設の利用時間を延ばしてほしい」は、公共学習施設の利用状況に関わらず、改善へのニーズがある。



5 市の「市民向け生涯学習事業」の利用実態および評価

〔結果と課題（概要）〕

◇「市民向け生涯学習事業」の利用・認知状況

- ・「利用したことがある」は①「戸田市民大学」(3.1%)、②「公民館講座」(7.0%)、③「戸田人材の森」(0.7%)と低い結果となった。「知っていたが、利用したことがない」を含めた認知率は①28.9%、②34.6%、③16%であった。

◇「市民向け生涯学習事業」の認知方法

- ・「広報戸田市」を通して認知する人がほとんどである。

◇「市民向け生涯学習事業」を知っていたが利用しなかった人の理由

- ・市民大学や公民館講座に関しては、開催日時の分散化や、内容の工夫などを、世代ごとのニーズに合わせて検討していくことが求められる。人材の森については、利用しなかった理由として「特に理由はない」、「講座に参加する時間がない」、「それ自体に興味がない」などの理由が上位を占めており、制度そのものの在り方や周知方法等についても改めて検討することが必要である。

◇開催を希望する講座

- ・「趣味講座」が突出して高い。また、「資格取得につながる講座」は女性20～30代で特に高い。

◇講座に参加する場合に都合のよい日時

- ・平日の午前・午後は60歳以上が多く希望しており、20代では平日の夜間、30代では土曜日の午前・午後を望む声が多い。

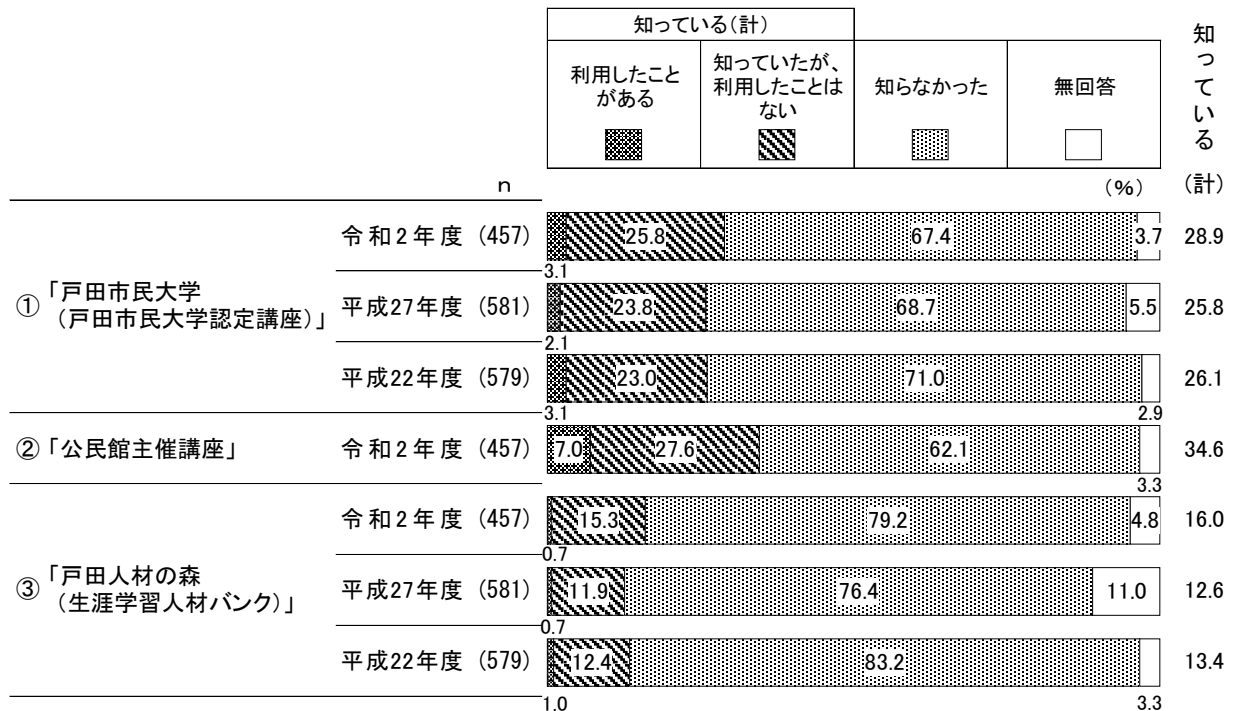
◇受講したいと思う講座の進め方

- ・世代によって講座の進め方に関する嗜好は異なっているため、ターゲットとする参加者の年齢層に合わせた開催方法を検討することも必要である。

(1) 「市民向け生涯学習事業」の利用・認知状況

◇「利用したことがある」は“「公民館主催講座」”で7.0%、『知っている（計）』は“「公民館主催講座」”で34.6%

問14 戸田市では市民向け生涯学習事業として、以下の①～③のような講座や支援制度を実施しています。あなたは、これらを利用したことはありますか。（それぞれ1つだけに○印）



※「公民館主催講座」は令和2年度から追加された項目

「市民向け生涯学習事業」の利用・認知状況を聞いたところ、「利用したことがある」は“「公民館主催講座」”で7.0%と最も高くなっている。

また、「利用したことがある」と「知っていたが、利用したことはない」を合わせた『知っている（計）』は“「公民館主催講座」”で34.6%と最も高く、次いで“「戸田市民大学（戸田市民大学認定講座）」”（28.9%）、“「戸田人材の森（生涯学習人材バンク）」”（16.0%）と続いている。

一方、「知らなかった」は“「戸田人材の森（生涯学習人材バンク）」”で79.2%と最も高くなっている。

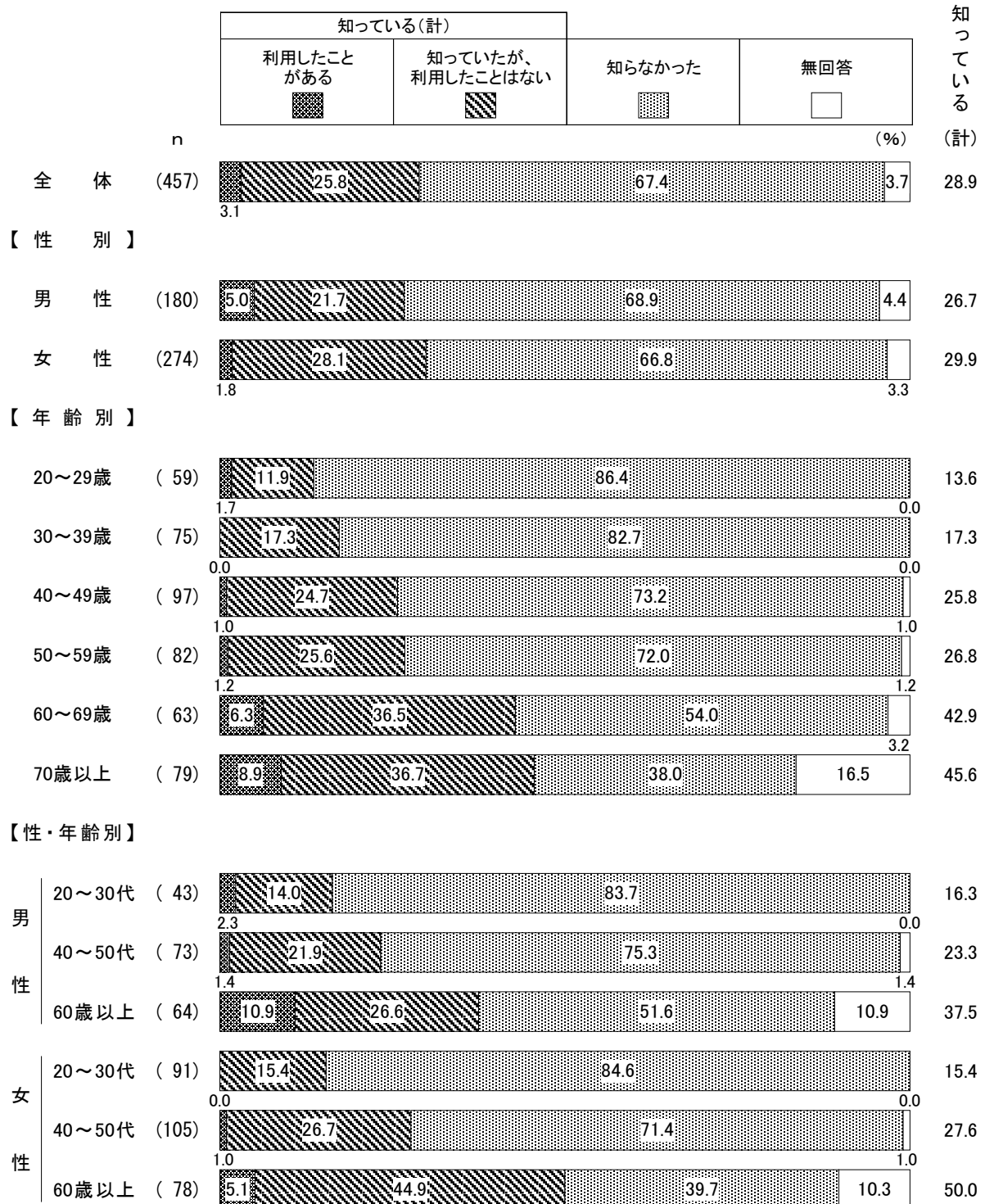
過去の調査結果と比較すると、『知っている（計）』は“「戸田人材の森（生涯学習人材バンク）」”で平成27年度より3.4ポイント、“「戸田市民大学（戸田市民大学認定講座）」”で平成27年度より3.1ポイント、それぞれ増加している。

<性別、年齢別、性・年齢別> ①「戸田市民大学（戸田市民大学認定講座）」

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（29.9%）が男性（26.7%）より3.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『知っている（計）』は年齢が上がるにつれて高くなっており、70歳以上で45.6%となっている。一方、「知らなかった」は20～29歳で86.4%と高くなっている。

性・年齢別で見ると、『知っている（計）』は女性60歳以上で50.0%と高くなっている。一方、「知らなかった」は女性20～30代で84.6%、男性20～30代で83.7%と高くなっている。

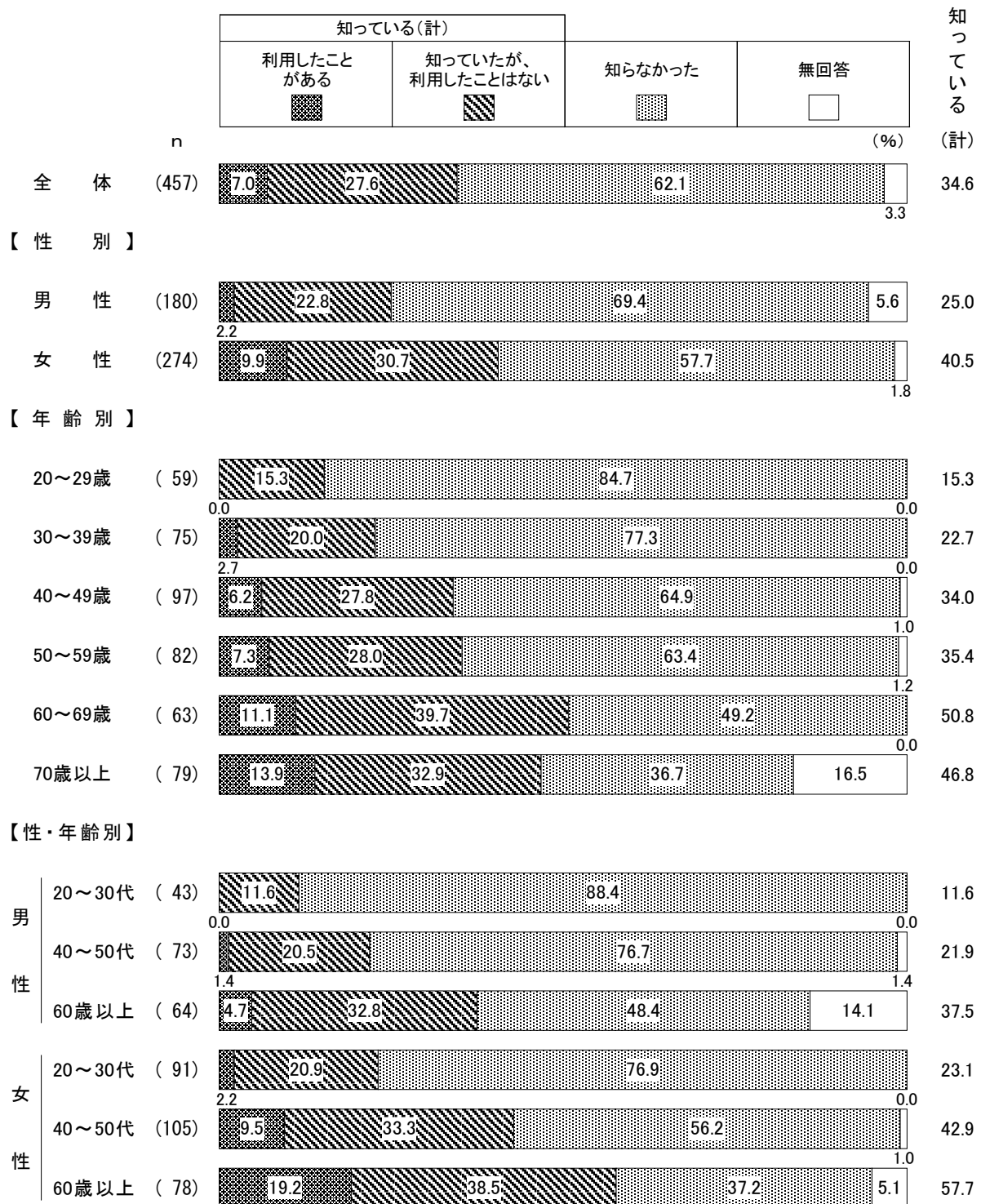


<性別、年齢別、性・年齢別> ②「公民館主催講座」

性別でみると、「利用したことがある」は女性（9.9%）が男性（2.2%）より7.7ポイント高くなっている。『知っている（計）』は女性（40.5%）が男性（25.0%）より15.5ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『知っている（計）』はおおむね年齢が上がるにつれて高くなっており、60～69歳で50.8%となっている。一方、「知らなかった」は20～29歳で84.7%と高くなっている。

性・年齢別でみると、『知っている（計）』は女性60歳以上で57.7%と高くなっている。一方、「知らなかった」は男性20～30代で88.4%と高くなっている。

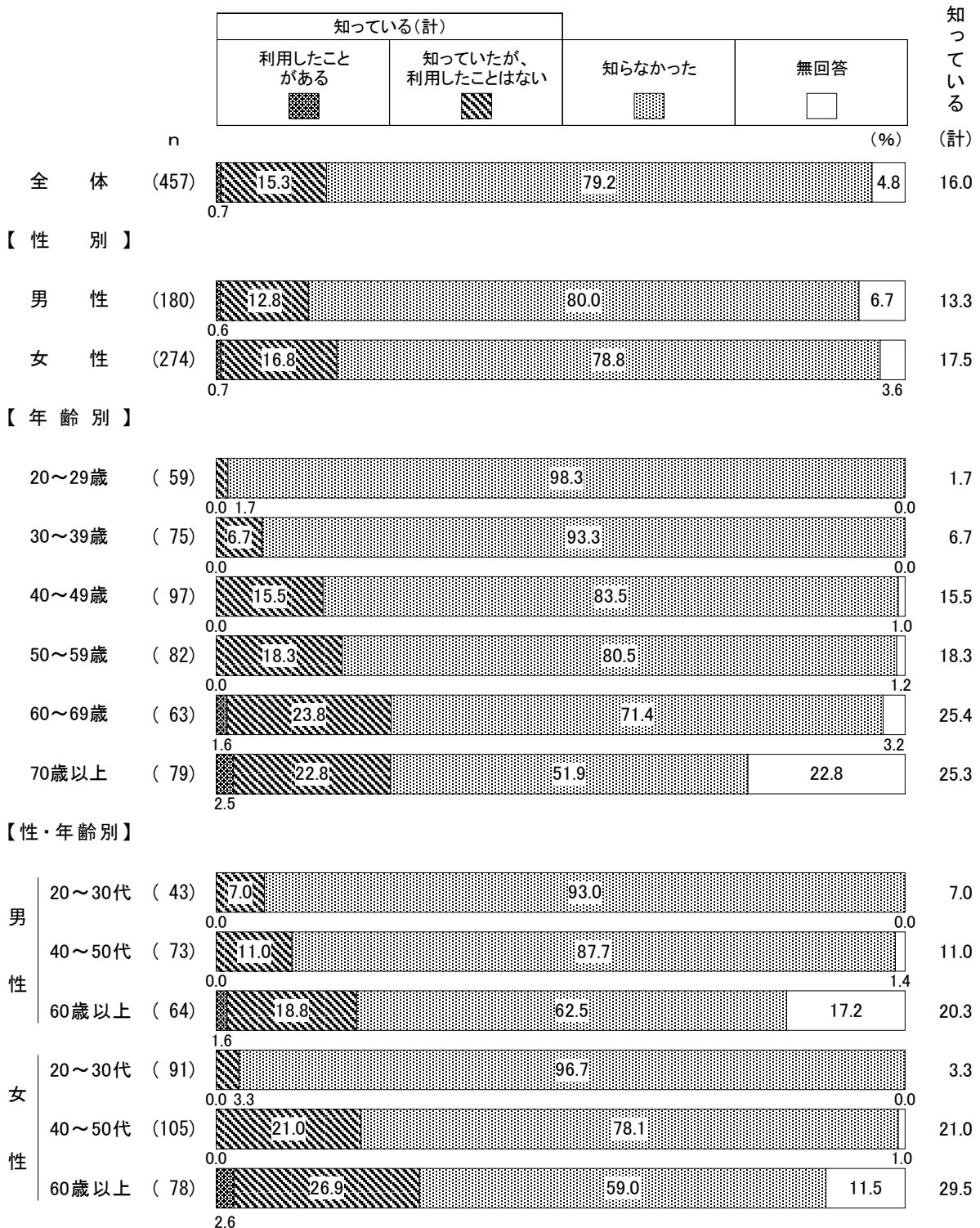


＜性別、年齢別、性・年齢別＞ ③「戸田人材の森（生涯学習人材バンク）」

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（17.5%）が男性（13.3%）より4.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『知っている（計）』はおおむね年齢が上がるにつれて高くなっており、60～69歳で25.4%、70歳以上で25.3%となっている。一方、「知らなかった」は20～29歳で98.3%、30～39歳で93.3%と高くなっている。

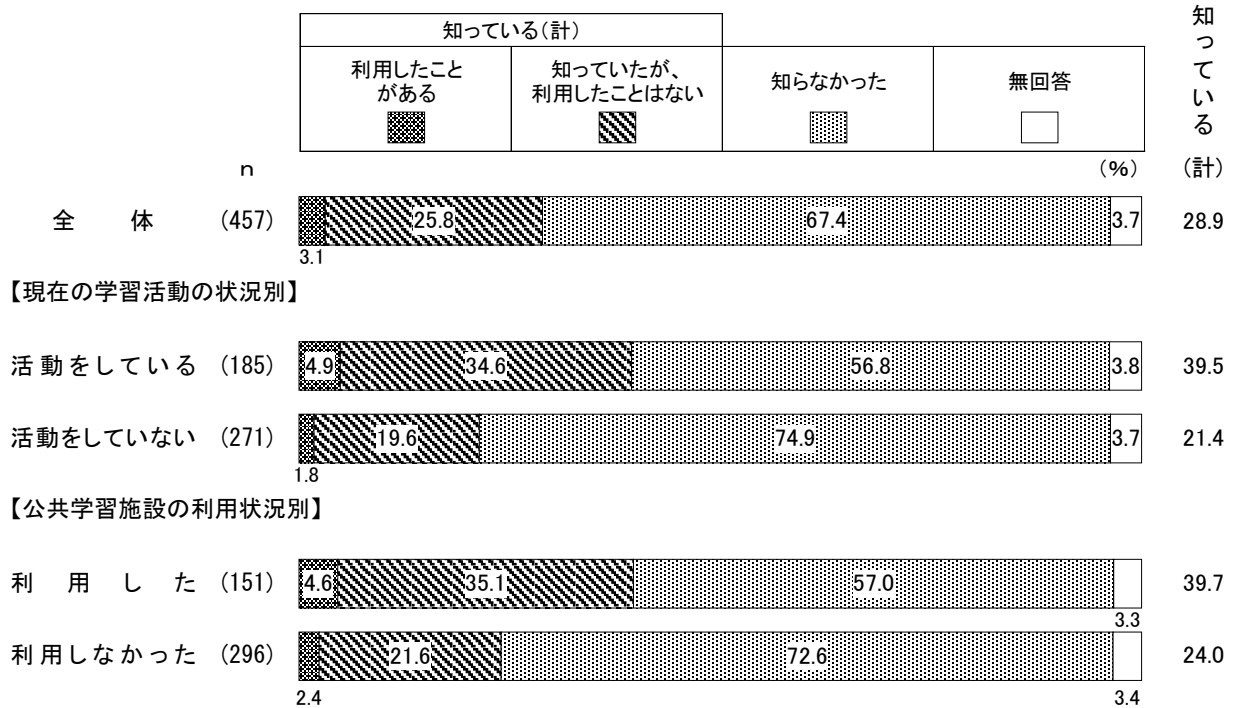
性・年齢別で見ると、『知っている（計）』は女性60歳以上で29.5%と高くなっている。一方、「知らなかった」は女性20～30代で96.7%、男性20～30代で93.0%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞ ①「戸田市民大学（戸田市民大学認定講座）」

現在の学習活動の状況別でみると、『知っている（計）』は現在学習活動をしている人（39.5%）が活動をしていない人（21.4%）より18.1ポイント高くなっている。

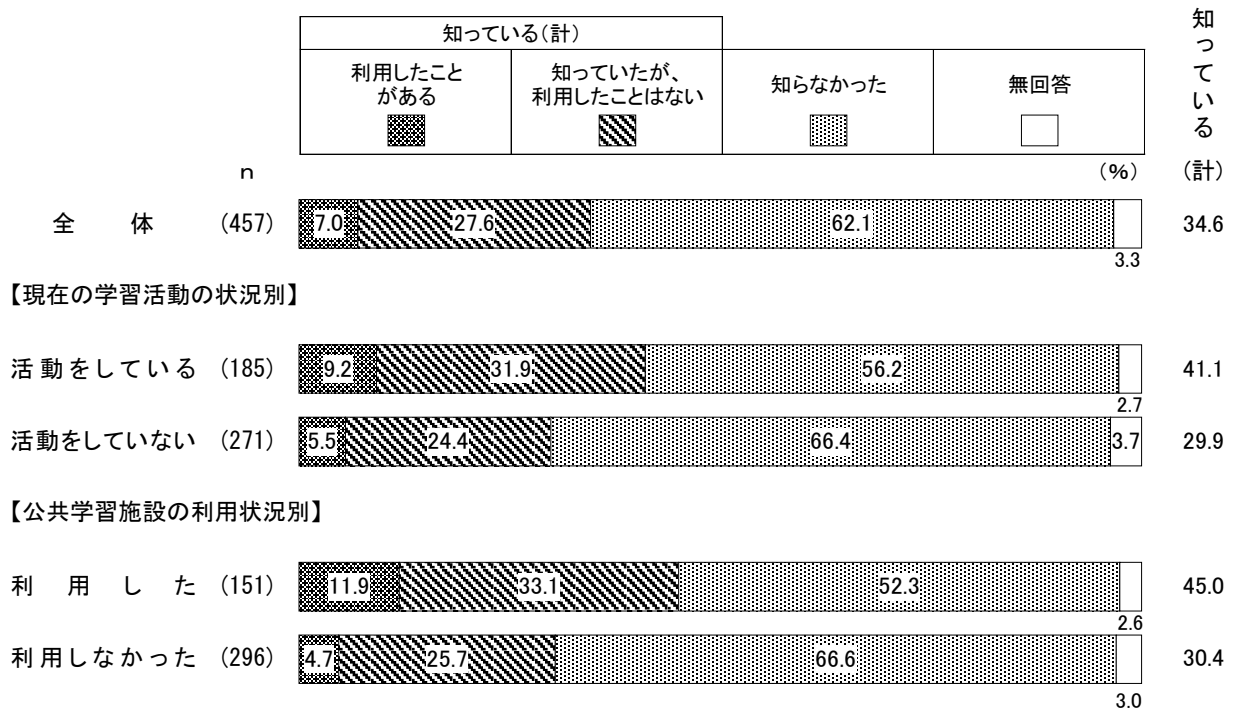
公共学習施設の利用状況別でみると、『知っている（計）』は公共学習施設を利用した人（39.7%）が利用しなかった人（24.0%）より15.7ポイント高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞ ②「公民館主催講座」

現在の学習活動の状況別でみると、『知っている（計）』は現在学習活動をしている人（41.1%）が活動をしていない人（29.9%）より11.2ポイント高くなっている。

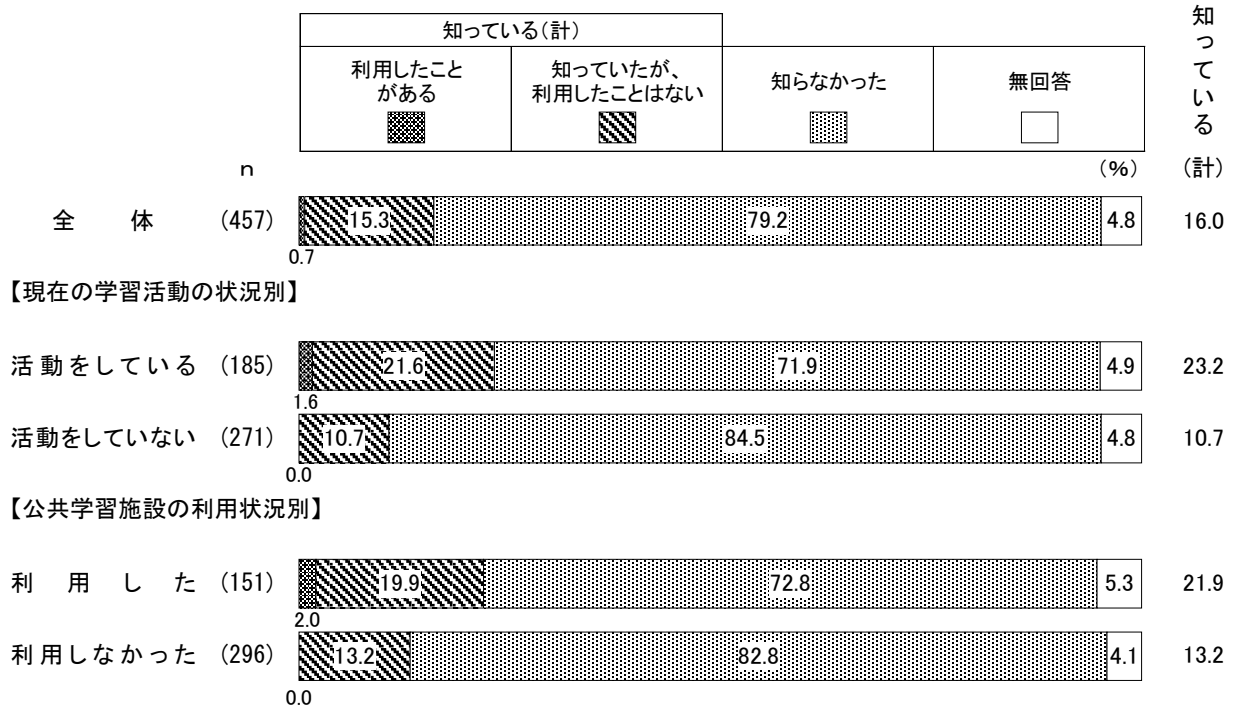
公共学習施設の利用状況別でみると、『知っている（計）』は公共学習施設を利用した人（45.0%）が利用しなかった人（30.4%）より14.6ポイント高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞ ③「戸田人材の森（生涯学習人材バンク）」

現在の学習活動の状況別でみると、『知っている（計）』は現在学習活動をしている人（23.2%）が活動をしていない人（10.7%）より12.5ポイント高くなっている。

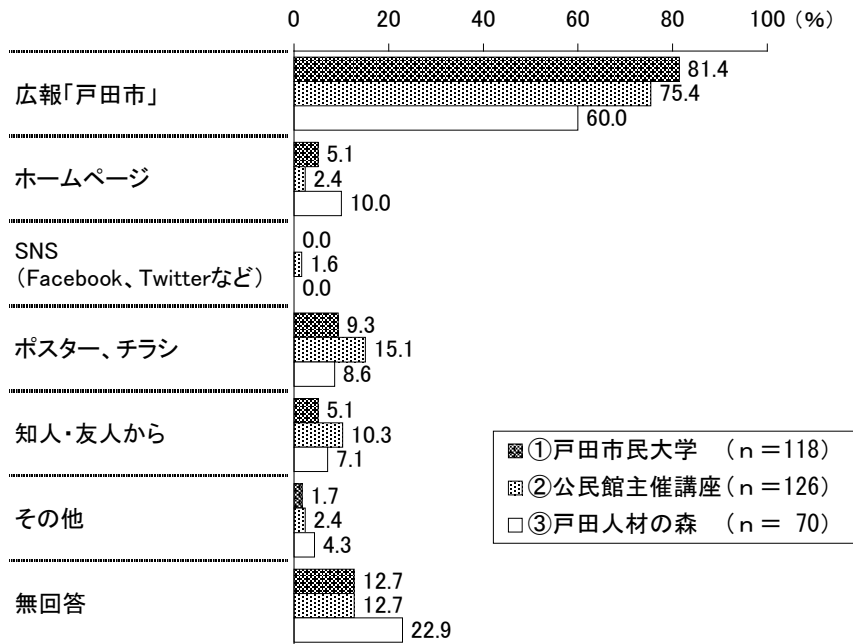
公共学習施設の利用状況別でみると、『知っている（計）』は公共学習施設を利用した人（21.9%）が利用しなかった人（13.2%）より8.7ポイント高くなっている。



(2) 「市民向け生涯学習事業」の認知方法

◇「広報『戸田市』」での認知が“戸田市民大学”は81.4%、“公民館主催講座”は75.4%、“戸田人材の森”は60.0%

【問14の①から③について、「知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします】
 問14-1 あなたは、どこで「戸田市民大学」「公民館主催講座」「戸田人材の森」を知りましたか。（いくつでも○印）



「市民向け生涯学習事業を知っていたが、利用したことはない」と答えた方に、認知方法を聞いたところ、“戸田市民大学”では「広報『戸田市』」が81.4%で最も高く、次いで「ポスター、チラシ」(9.3%)、「知人・友人から」(5.1%)と続いている。

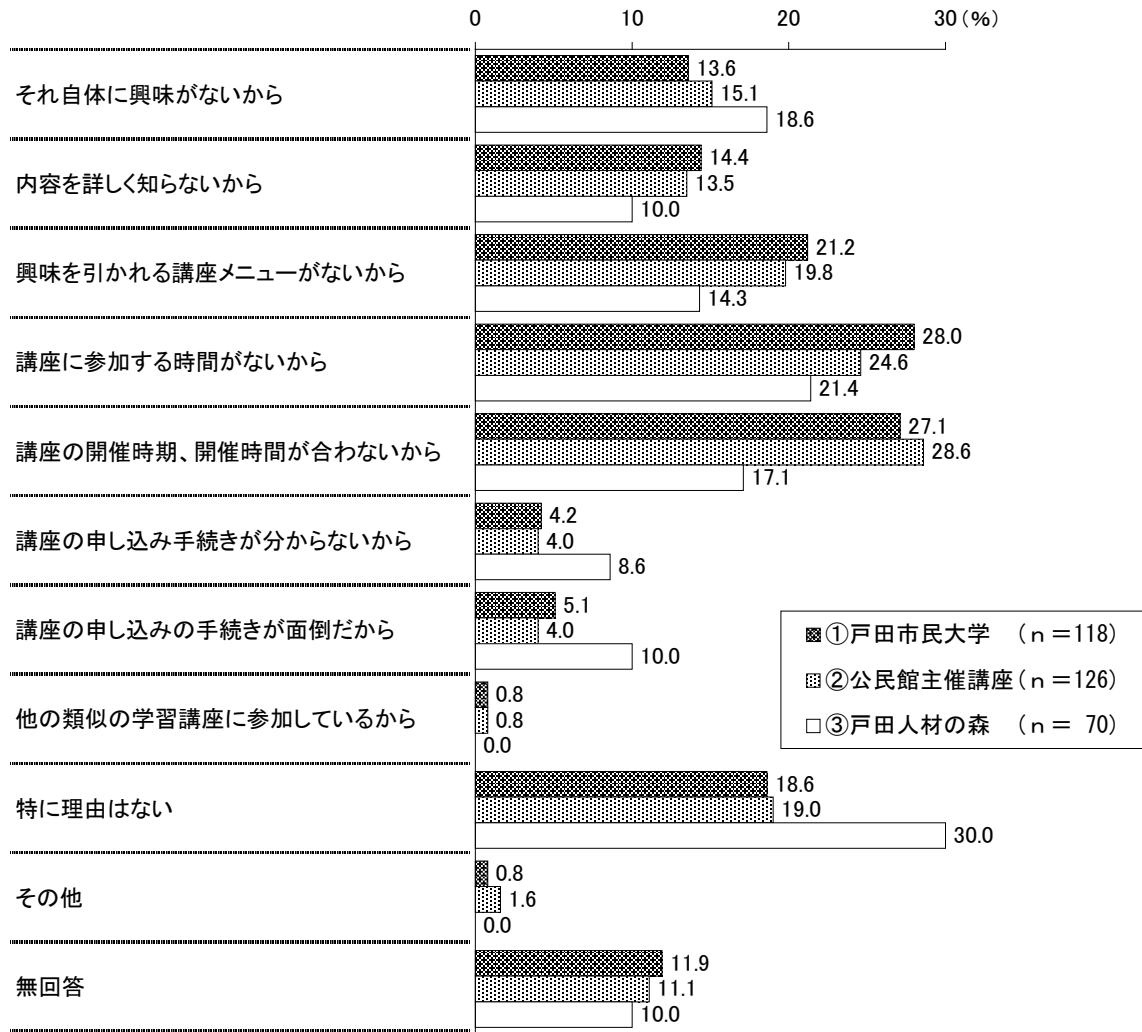
“公民館主催講座”では「広報『戸田市』」が75.4%で最も高く、次いで「ポスター、チラシ」(15.1%)、「知人・友人から」(10.3%)と続いている。

“戸田人材の森”では「広報『戸田市』」が60.0%で最も高く、次いで「ホームページ」(10.0%)、「ポスター、チラシ」(8.6%)と続いている。

(3) 「市民向け生涯学習事業」の認知かつ非利用の理由

- ◇ “戸田市民大学”では「講座に参加する時間がないから」が28.0%
- “公民館主催講座”では「講座の開催時期、開催時間が合わないから」が28.6%
- “戸田人材の森”では「特に理由はない」が30.0%

【問14の①から③について、「知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします】
 問14-2 あなたが利用しなかった理由は何ですか。（いくつでも〇印）



「市民向け生涯学習事業を知っていたが、利用したことはない」と答えた方に、利用しなかった理由を聞いたところ、“戸田市民大学”では「講座に参加する時間がないから」が28.0%で最も高く、次いで「講座の開催時期、開催時間が合わないから」(27.1%)、「興味を引かれる講座メニューがないから」(21.2%)と続いている。

“公民館主催講座”では「講座の開催時期、開催時間が合わないから」が28.6%で最も高く、次いで「講座に参加する時間がないから」(24.6%)、「興味を引かれる講座メニューがないから」(19.8%)と続いている。

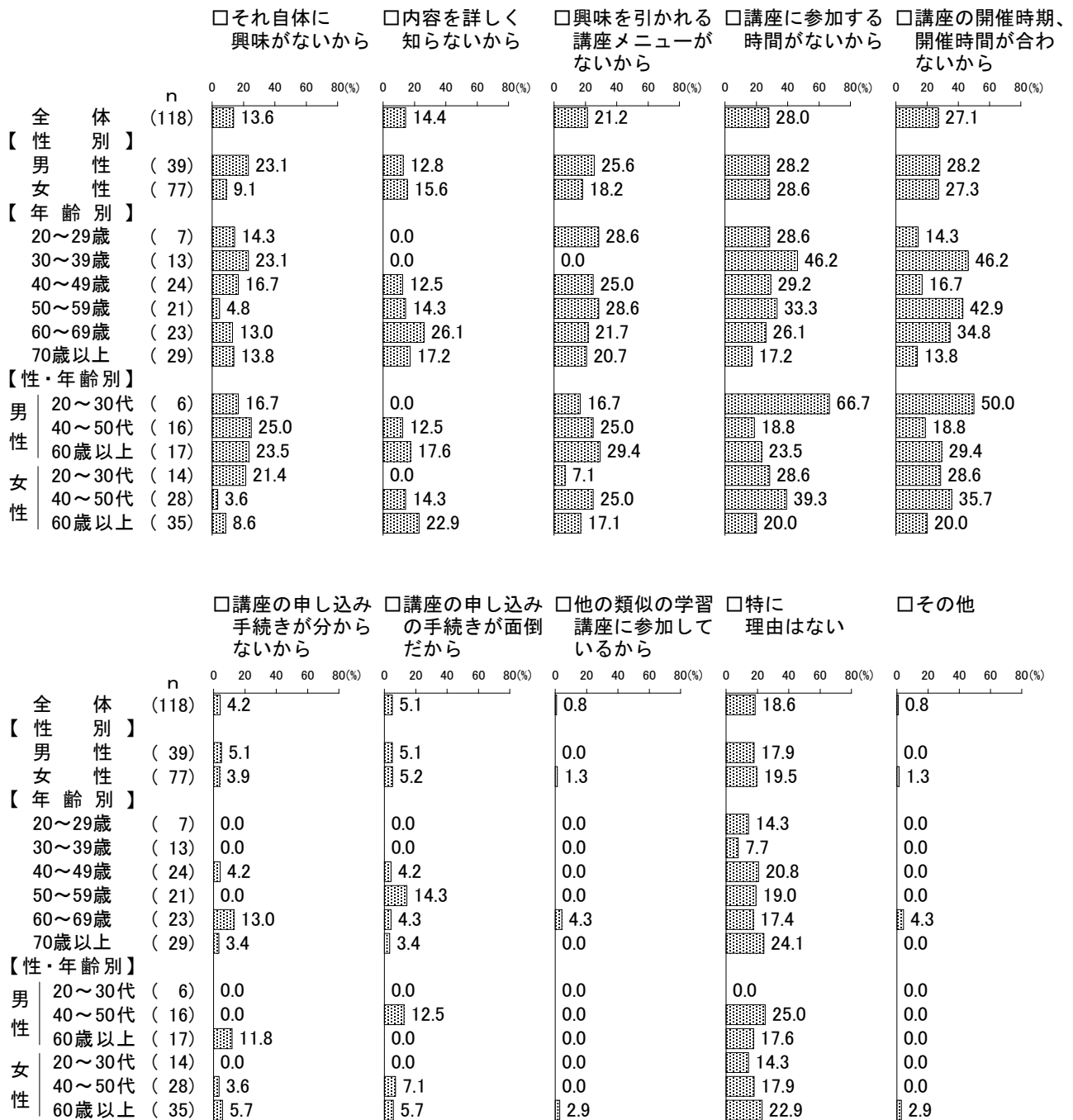
“戸田人材の森”では「特に理由はない」が30.0%で最も高く、次いで「講座に参加する時間がないから」(21.4%)、「それ自体に興味がないから」(18.6%)と続いている。

<性別、年齢別、性・年齢別> ①「戸田市民大学」

性別で見ると、「それ自体に興味がないから」は男性（23.1%）が女性（9.1%）より14.0ポイント、「興味を引かれる講座メニューがないから」は男性（25.6%）が女性（18.2%）より7.4ポイント、それぞれ高くなっている。

n値の少ない属性（20～29歳）を除いた年齢別で見ると、「講座に参加する時間がないから」は30～39歳で46.2%と高くなっている。「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は30～39歳で46.2%、50～59歳で42.9%と高くなっている。

また、n値の少ない属性（男性20～30代）を除いた性・年齢別で見ると、「講座に参加する時間がないから」は女性40～50代で39.3%と高くなっている。「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は女性40～50代で35.7%と高くなっている。



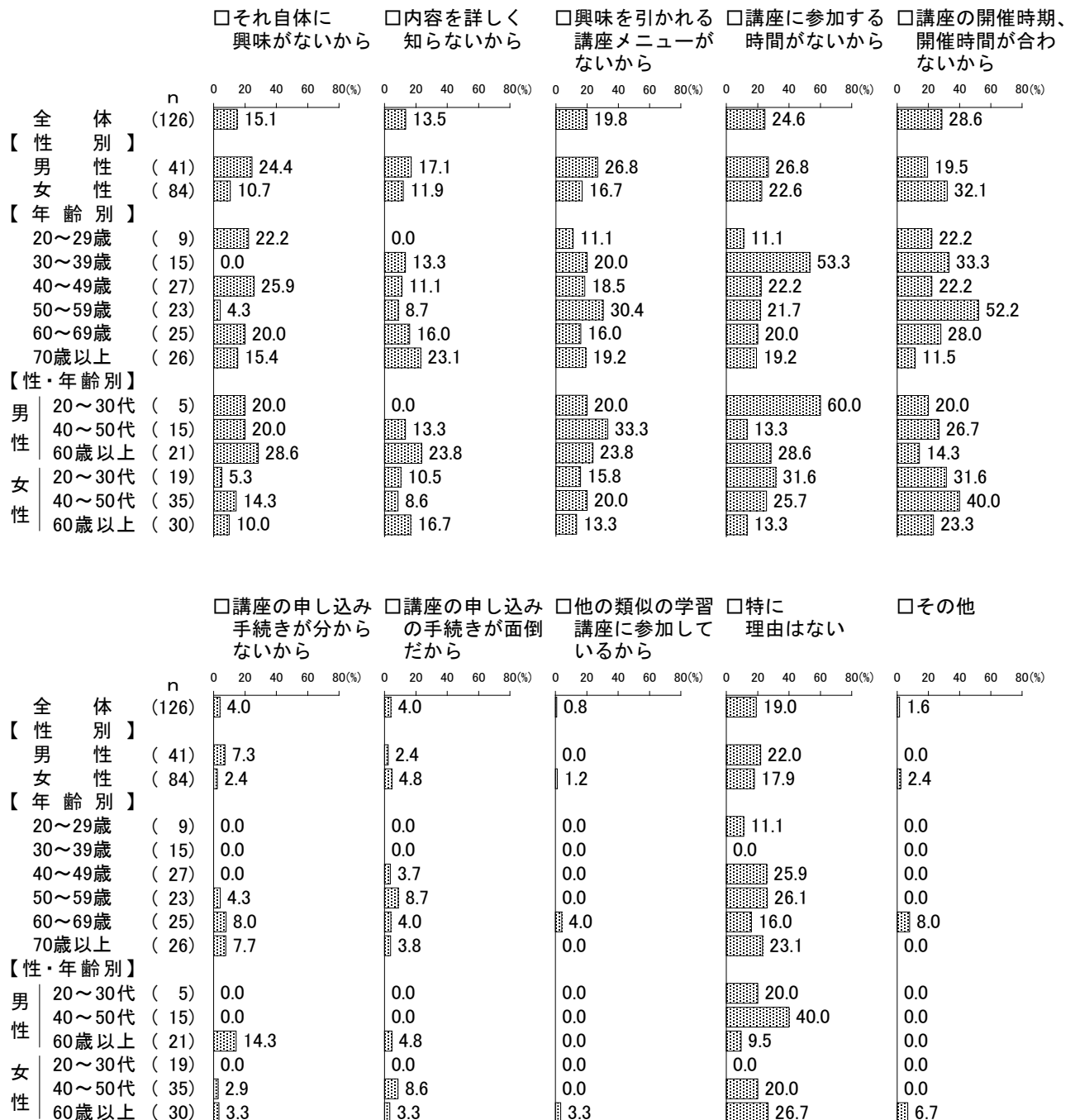
※回答者数が10に満たないものについては図示するに留め、この報告書の中では特に取り上げていない。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞ ②「公民館主催講座」

性別で見ると、「それ自体に興味がないから」は男性（24.4%）が女性（10.7%）より13.7ポイント高くなっている。一方、「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は女性（32.1%）が男性（19.5%）より12.6ポイント高くなっている。

n値の少ない属性（20～29歳）を除いた年齢別で見ると、「講座に参加する時間がないから」は30～39歳で53.3%と高くなっている。「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は50～59歳で52.2%と高くなっている。

また、n値の少ない属性（男性20～30代）を除いた性・年齢別で見ると、「興味を引かれる講座メニューがないから」は男性40～50代で33.3%と高くなっている。「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は女性40～50代で40.0%と高くなっている。



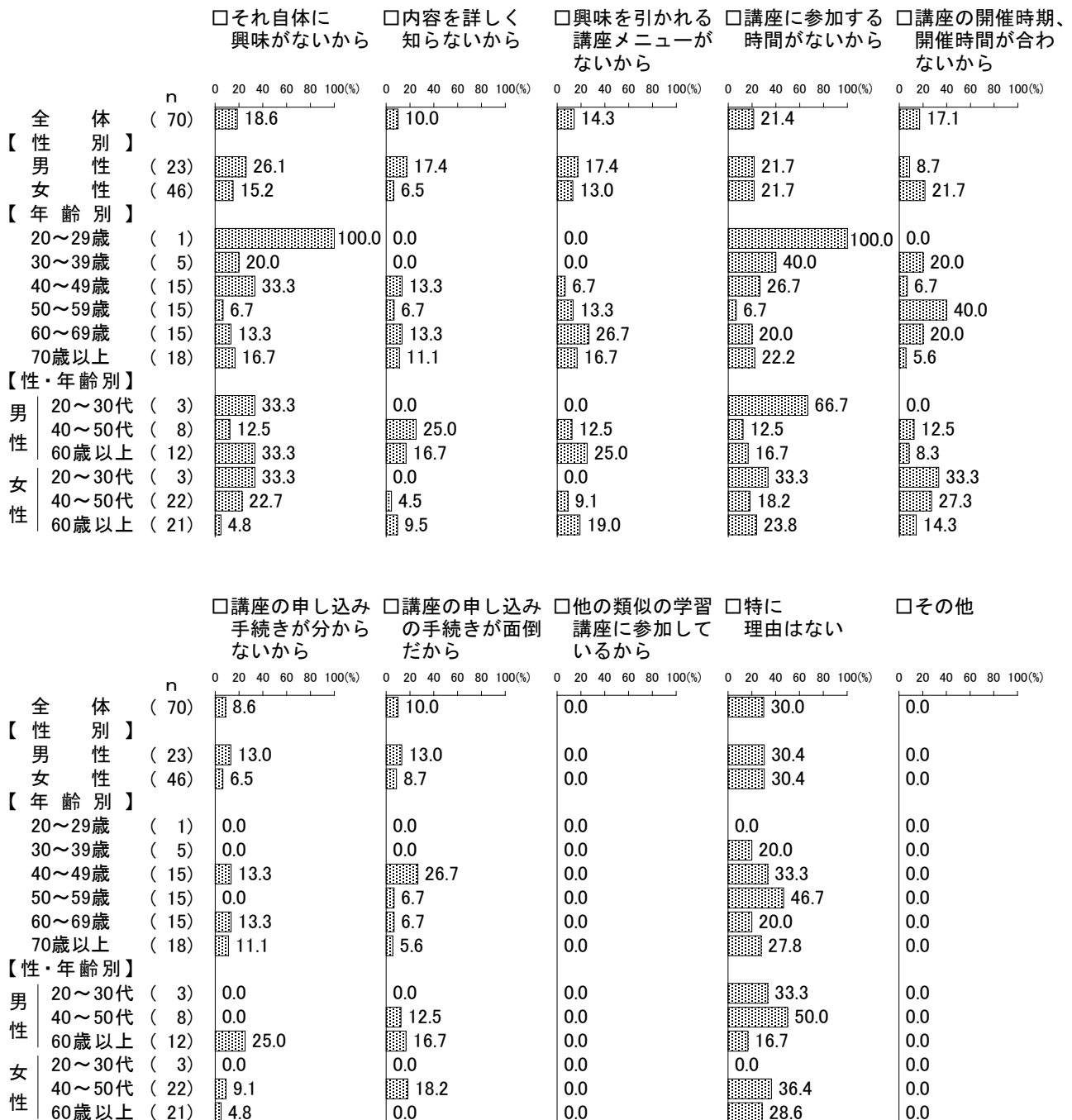
※回答者数が10に満たないものについては図示するに留め、この報告書の中では特に取り上げていない。

<性別、年齢別、性・年齢別> ③「戸田人材の森」

性別でみると、「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は女性（21.7%）が男性（8.7%）より13.0ポイント高くなっている。一方、「それ自体に興味がないから」は男性（26.1%）が女性（15.2%）より10.9ポイント、「内容を詳しく知らないから」は男性（17.4%）が女性（6.5%）より10.9ポイント、「内容を詳しく知らないから」は男性（17.4%）が女性（6.5%）より10.9ポイント、それぞれ高くなっている。

n値の少ない属性（20～29歳・30～39歳）を除いた年齢別でみると、年齢別でみると、「それ自体に興味がないから」は40～49歳で33.3%と高くなっている。「講座の開催時期、開催時間が合わないから」は50～59歳で40.0%と高くなっている。

また、n値の少ない属性（男性20～30代・40～50代、女性20～30代）を除いた性・年齢別でみると、「それ自体に興味がないから」は男性60歳以上で33.3%と高くなっている。



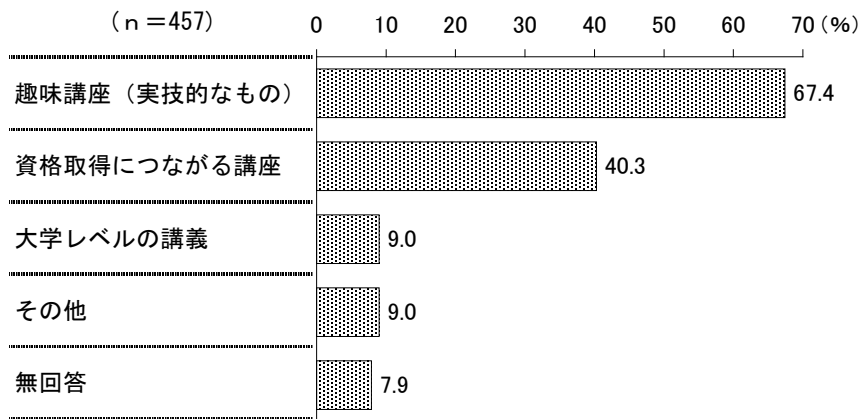
※回答者数が10に満たないものについては図示するに留め、この報告書の中では特に取り上げていない。

(4) 開催を希望する講座

◇「趣味講座（実技的なもの）」が67.4%

問15 あなたはどのような内容の講座（市主催）を開催してほしいと思いますか。

（いくつでも○印）



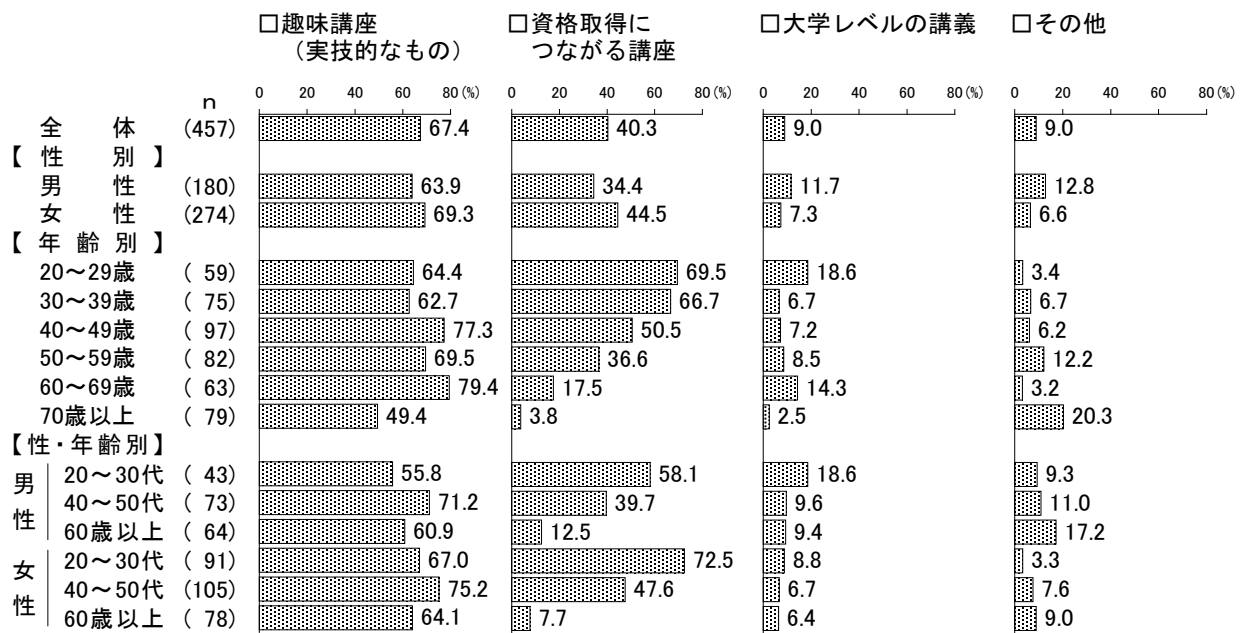
開催を希望する講座を聞いたところ、「趣味講座（実技的なもの）」が67.4%で最も高く、次いで「資格取得につながる講座」（40.3%）、「大学レベルの講義」（9.0%）と続いている。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞

性別でみると、「資格取得につながる講座」は女性（44.5%）が男性（34.4%）より10.1ポイント高くなっている。一方、「大学レベルの講義」は男性（11.7%）が女性（7.3%）より4.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「趣味講座（実技的なもの）」は60～69歳で79.4%、40～49歳で77.3%と高くなっている。「資格取得につながる講座」は年齢が下がるにつれて高くなっており、20～29歳で69.5%となっている。

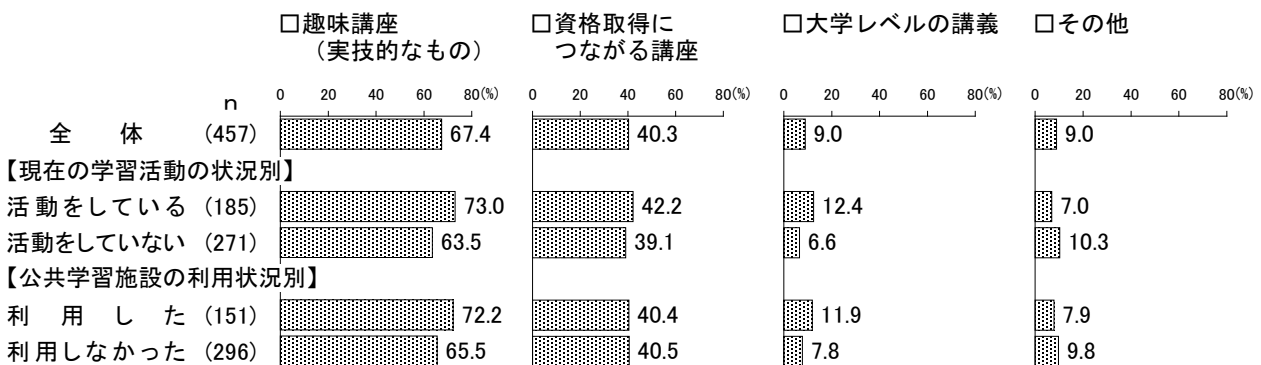
性・年齢別でみると、「趣味講座（実技的なもの）」は女性40～50代で75.2%と高くなっている。「資格取得につながる講座」は女性20～30代で72.5%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞

現在の学習活動の状況別でみると、「趣味講座（実技的なもの）」は現在学習活動をしている人（73.0%）が活動をしていない人（63.5%）より9.5ポイント高くなっている。

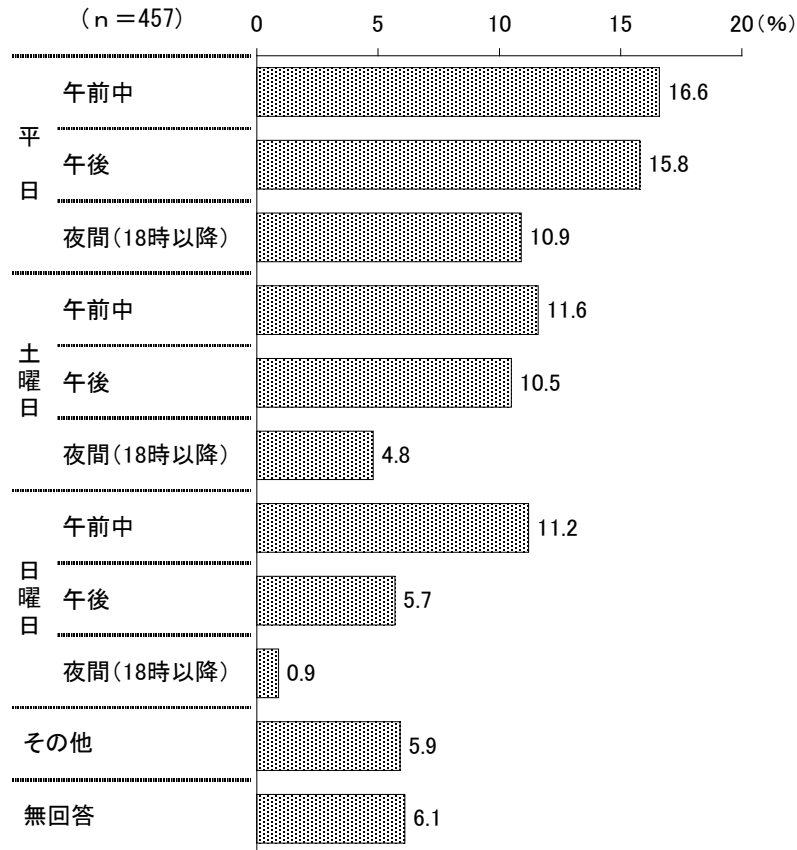
公共学習施設の利用状況別でみると、「趣味講座（実技的なもの）」は公共学習施設を利用した人（72.2%）が利用しなかった人（65.5%）より6.7ポイント高くなっている。



(5) 講座に参加する場合に都合のよい日時

◇「平日の午前中」が16.6%

問16 あなたが講座（市主催）に参加する場合、最も都合のよい開催日、時間帯はいつですか。（1つだけに○印）



講座に参加する場合に都合のよい日時を聞いたところ、「平日の午前中」が16.6%で最も高く、次いで「平日の午後」（15.8%）、「土曜日の午前中」（11.6%）、「日曜日の午前中」（11.2%）と続いている。

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別でみると、「平日の午前中」は女性（21.9%）が男性（8.9%）より13.0ポイント高くなっている。一方、「日曜日の午前中」は男性（15.6%）が女性（8.4%）より7.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「平日の午前中」は60～69歳で23.8%と高くなっている。「平日の午後」は70歳以上で31.6%、60～69歳で27.0%と高くなっている。「平日の夜間（18時以降）」は20～29歳で25.4%と高くなっている。

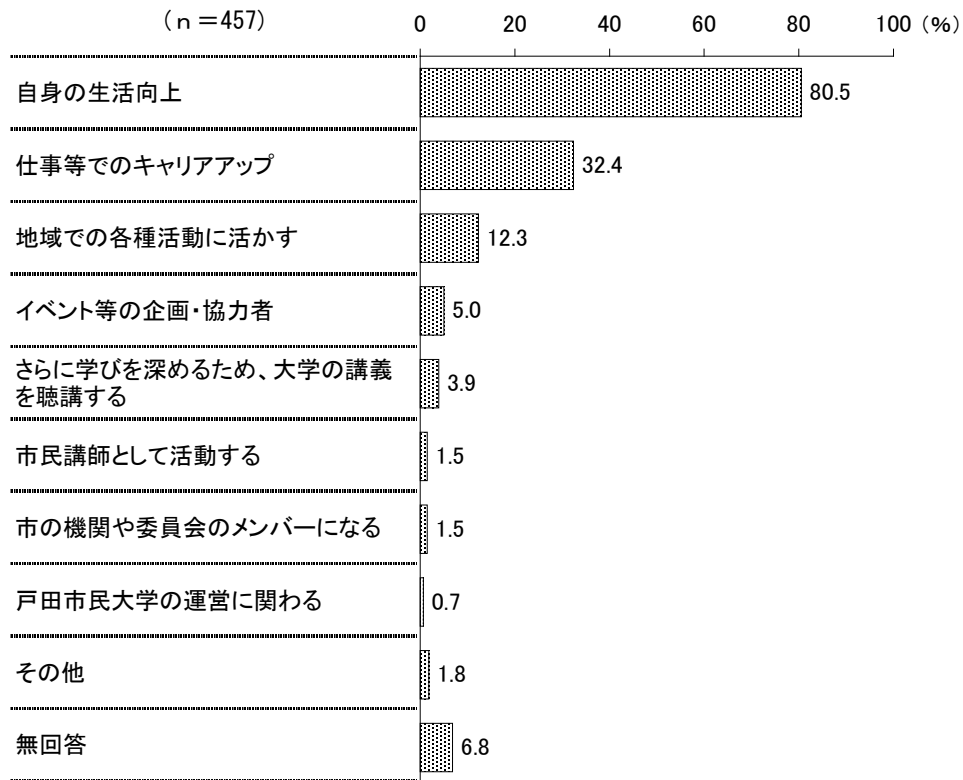
性・年齢別でみると、「平日の午前中」は女性60歳以上で26.9%と高くなっている。「平日の午後」は女性60歳以上で32.1%、男性60歳以上で26.6%と高くなっている。「日曜日の午前中」は男性40～50代で24.7%と高くなっている。



(6) 講座の受講を修了した場合に活かしたい場面

◇「自身の生活向上」が80.5%

問17 あなたが講座（市主催）を受講および終了した場合、学んだことをどのような場面で活かしたらよいと思いますか。（いくつでも○印）



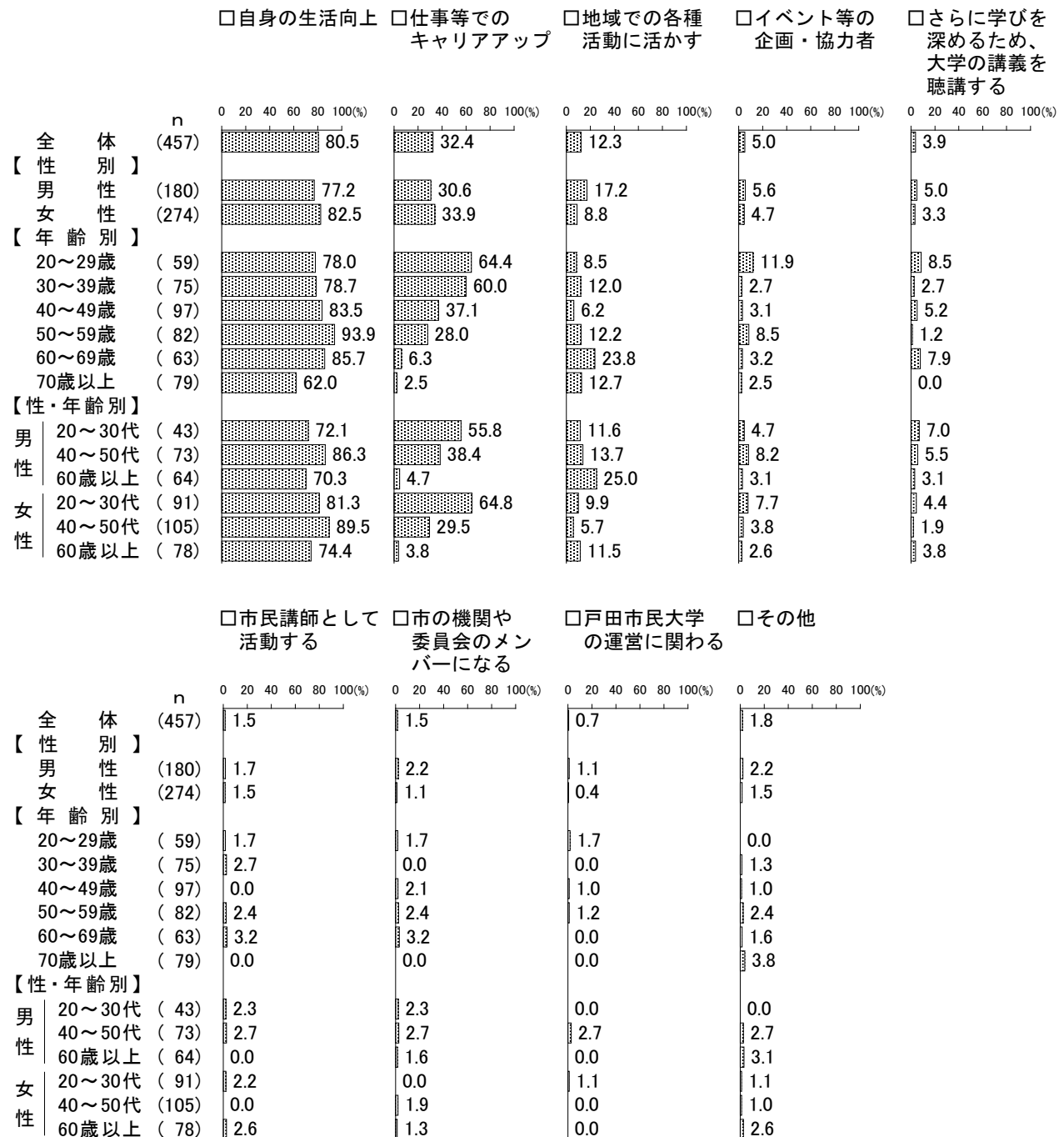
講座の受講を修了した場合に活かしたい場面を聞いたところ、「自身の生活向上」が80.5%で最も高く、次いで「仕事等でのキャリアアップ」(32.4%)、「地域での各種活動に活かす」(12.3%)、「イベント等の企画・協力者」(5.0%)と続いている。

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別で見ると、「地域での各種活動に活かす」は男性（17.2%）が女性（8.8%）より8.4ポイント高くなっている。一方、「自身の生活向上」は女性（82.5%）が男性（77.2%）より5.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「自身の生活向上」は50～59歳で93.9%と高くなっている。「仕事等でのキャリアアップ」は年齢が下がるにつれて高くなっており、20～29歳で64.4%となっている。

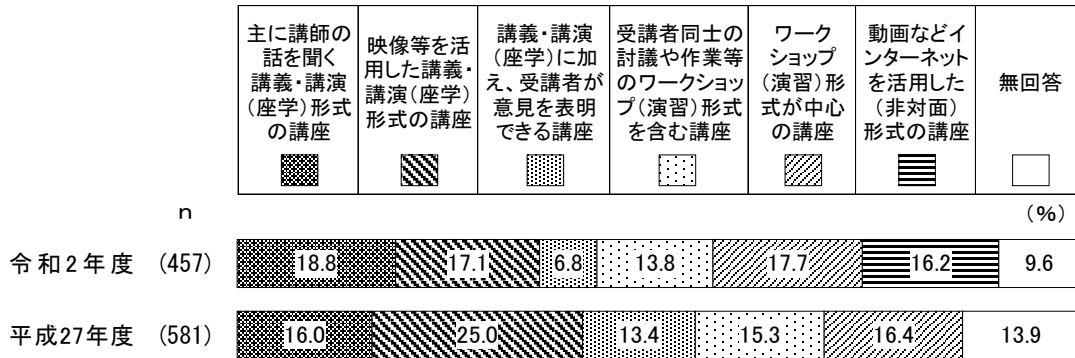
性・年齢別で見ると、「自身の生活向上」は女性40～50代で89.5%、男性40～50代で86.3%と高くなっている。「仕事等でのキャリアアップ」は女性20～30代で64.8%、男性20～30代で55.8%と高くなっている。



(7) 受講したいと思う市民向け講座の開催形式（進め方）

◇「主に講師の話を聞く講義・講演（座学）形式の講座」が18.8%

問18 どのような進め方（形式）の講座であれば、あなたは、市民向けの学習講座を受講したいと思いますか。最もあてはまるものに1つだけ○印をしてください。



※「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」は令和2年度から追加された選択肢

受講したいと思う市民向け講座の開催形式を聞いたところ、「主に講師の話を聞く講義・講演（座学）形式の講座」が18.8%で最も高く、次いで「ワークショップ（演習）形式が中心の講座」（17.7%）、「映像等を活用した講義・講演（座学）形式の講座」（17.1%）、「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」（16.2%）と続いている。

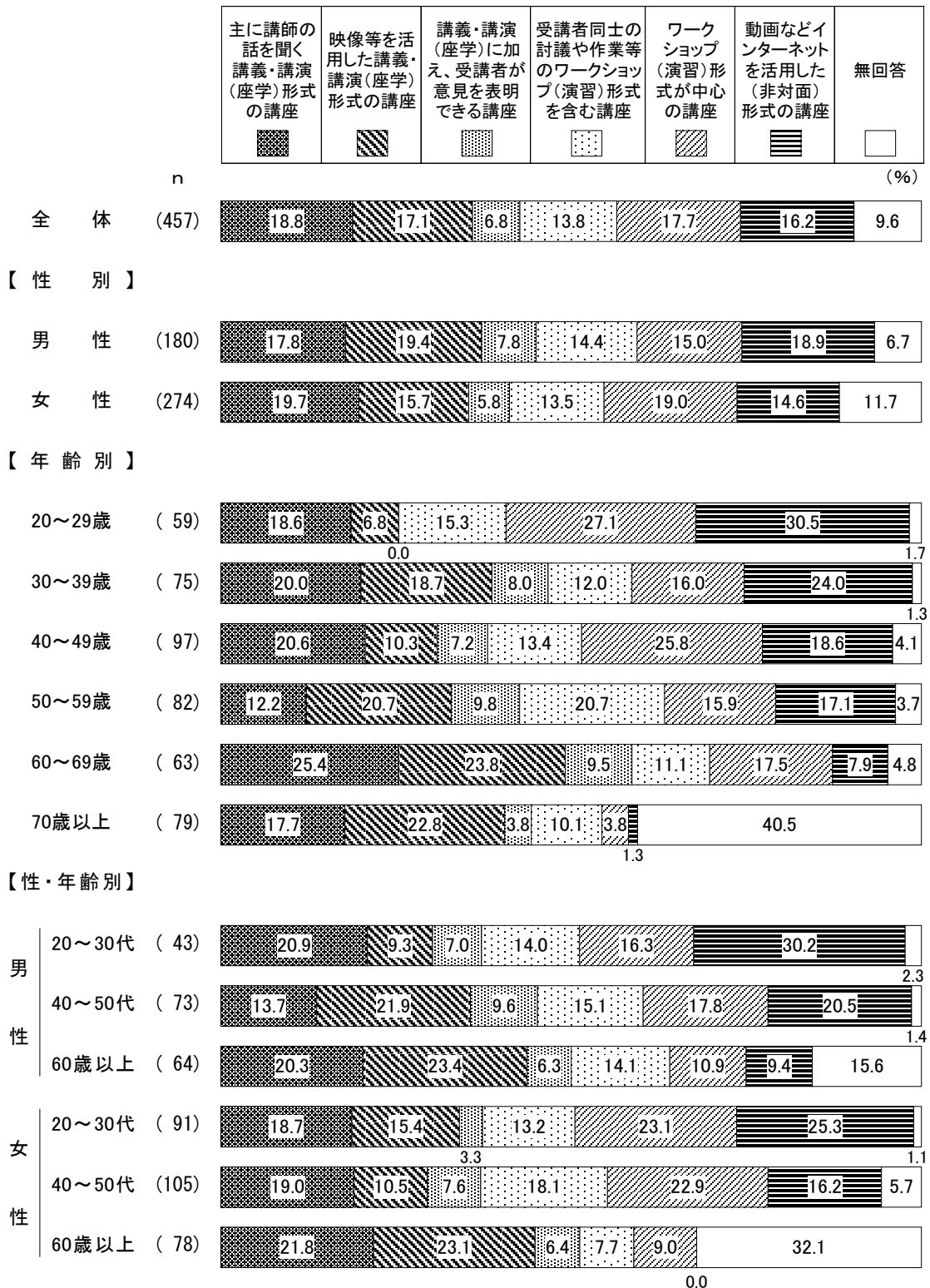
過去の調査結果との比較は選択肢が追加されているため、参考に図示する。

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別でみると、「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」は男性（18.9%）が女性（14.6%）より4.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」は年齢が下がるにつれて高くなっており、20～29歳で30.5%となっている。「ワークショップ（演習）形式が中心の講座」は20～29歳で27.1%と高くなっている。一方、「講義・講演（座学）に加え、受講者が意見を表明できる講座」は0.0%となっている。

性・年齢別でみると、「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」は男性20～30代で30.2%と高くなっている。

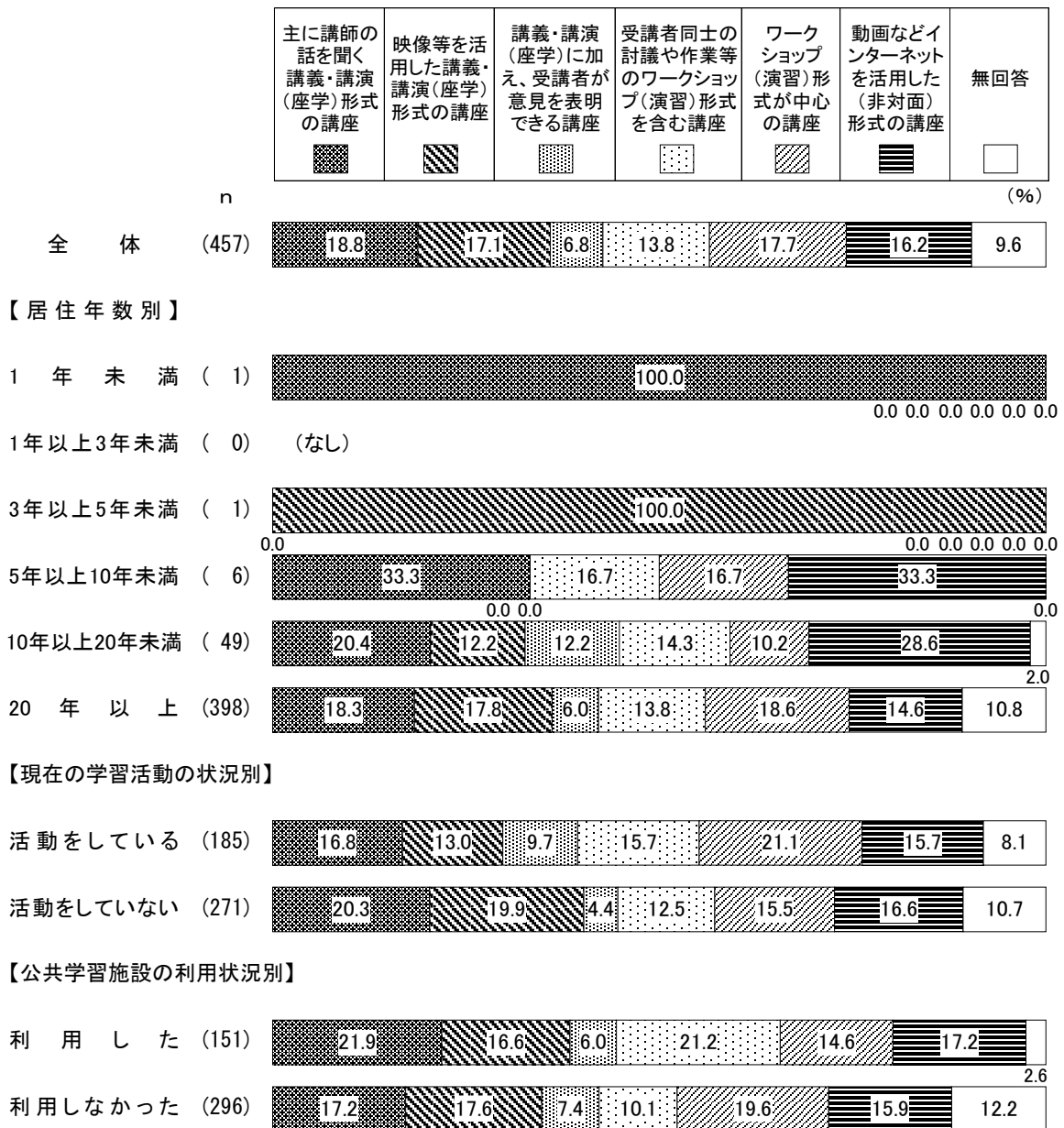


＜居住年数別、現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞

居住年数別でみると、「動画などインターネットを活用した（非対面）形式の講座」は10年以上20年未満で28.6%と高くなっている。

現在の学習活動の状況別でみると、「映像等を活用した講義・講演（座学）形式の講座」は現在学習活動をしていない人（19.9%）が活動をしている人（13.0%）より6.9ポイント高くなっている。一方、「ワークショップ（演習）形式が中心の講座」は現在学習活動をしている人（21.1%）が活動をしていない人（15.5%）より5.6ポイント高くなっている。

公共学習施設の利用状況別でみると、「受講者同士の討議や作業等のワークショップ（演習）形式を含む講座」は公共学習施設を利用した人（21.2%）が利用しなかった人（10.1%）より11.1ポイント高くなっている。一方、「ワークショップ（演習）形式が中心の講座」は公共学習施設を利用しなかった人（19.6%）が利用した人（14.6%）より5.0ポイント高くなっている。



6 市民の生涯学習への意欲・関心（まちづくりへの参加を一視点として）

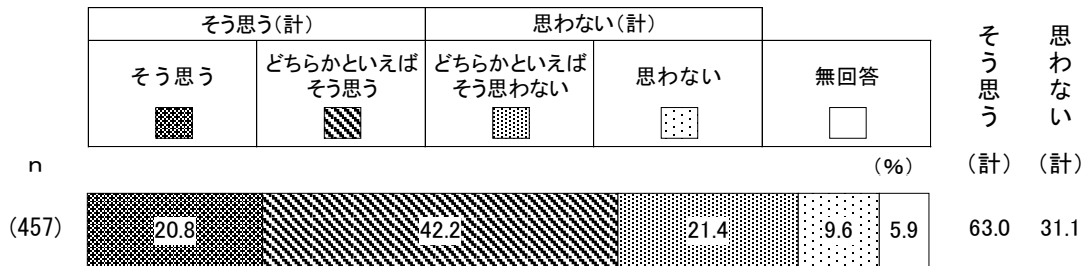
〔結果と課題（概要）〕

- ◇「学習活動を行うことが住民参加・住民主体のまちづくりの一步となると思う」と回答した人は63%であった。特に、20～30代においてその回答率は高く、学習活動とまちづくりの関連性について認識されており、将来まちづくりの担い手となることが期待される。
- ◇また、まちづくりの視点から参加したい具体的な学習活動としては、「スポーツ・文化活動のほか、学校をはじめ地域の子どもたちへの支援を目的とした学習活動への参加の意向が高い。男性20～30代は上記のほか、障害者や高齢者、外国人住民などの支援、女性20～30代は国際交流を目的とした学習活動への参加の意欲が高い。

(1) 生涯学習活動を行うことがまちづくりの第一歩となると思うか

◇『**そう思う（計）**』が**63.0%**

問19 あなたは、生涯学習活動を行うことが、住民主体・住民参加のまちづくりの第一歩となると思いますか。（1つだけに○印）



生涯学習活動を行うことがまちづくりの第一歩となると思うか聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『**そう思う（計）**』は63.0%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」と「思わない」を合わせた『**思わない（計）**』は31.1%となっている。

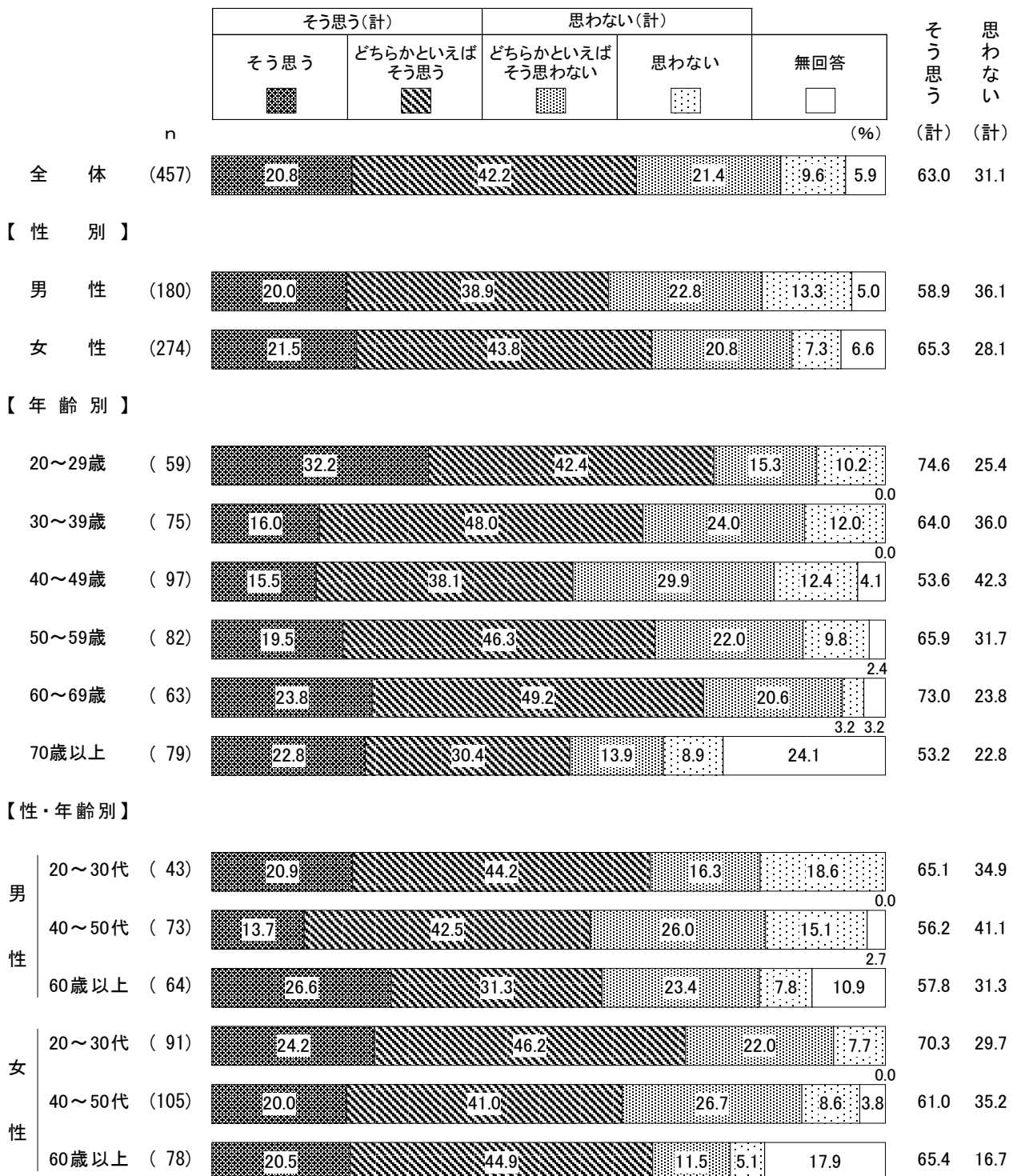
「Ⅲ 調査結果（個人） 6. 市民の生涯学習への意欲・関心
（まちづくりへの参加を一視点として）」

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別でみると、『そう思う（計）』は女性（65.3%）が男性（58.9%）より6.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は20～29歳で74.6%、60～69歳で73.0%と高くなっている。一方、『思わない（計）』は40～49歳で42.3%と高くなっている。

性・年齢別でみると、『そう思う（計）』は女性20～30代で70.3%と高くなっている。一方、『思わない（計）』は男性40～50代で41.1%と高くなっている。

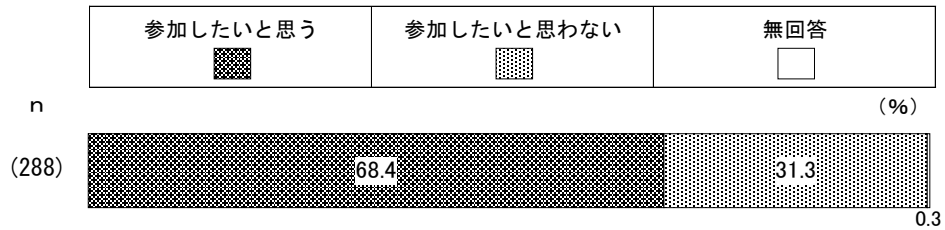


(2) 「まちづくりの視点」から考えたときの「学習活動」への参加意向

◇ 「参加したいと思う」が68.4%

【問19で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします】

問19-1 このようなまちづくりの視点から生涯学習活動を考えたとき、あなたは活動に参加したいと思えますか。（1つだけに○印）



「生涯学習活動を行うことがまちづくりの第一歩となると思う」と答えた方に、「まちづくりの視点」から考えたときの「学習活動」への参加意向を聞いたところ、「参加したいと思う」が68.4%、「参加したいと思わない」は31.3%となっている。

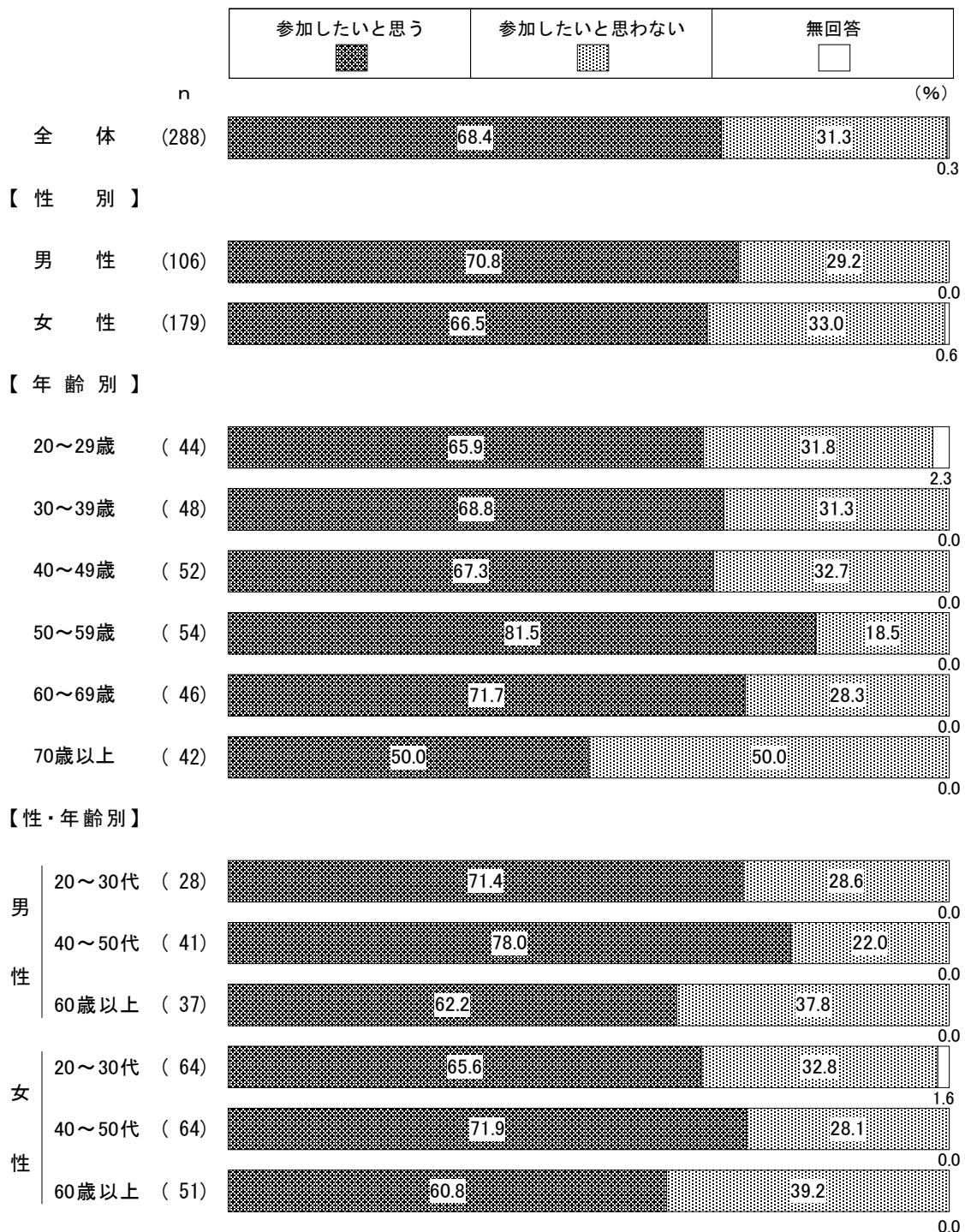
「Ⅲ 調査結果（個人） 6. 市民の生涯学習への意欲・関心
（まちづくりへの参加を一視点として）」

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別で見ると、「参加したいと思う」は男性（70.8%）が女性（66.5%）より4.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「参加したいと思う」は50～59歳で81.5%と高くなっている。一方、「参加したいと思わない」は70歳以上で50.0%と高くなっている。

性・年齢別で見ると、「参加したいと思う」は男性40～50代で78.0%と高くなっている。一方、「参加したいと思わない」は女性60歳以上で39.2%と高くなっている。

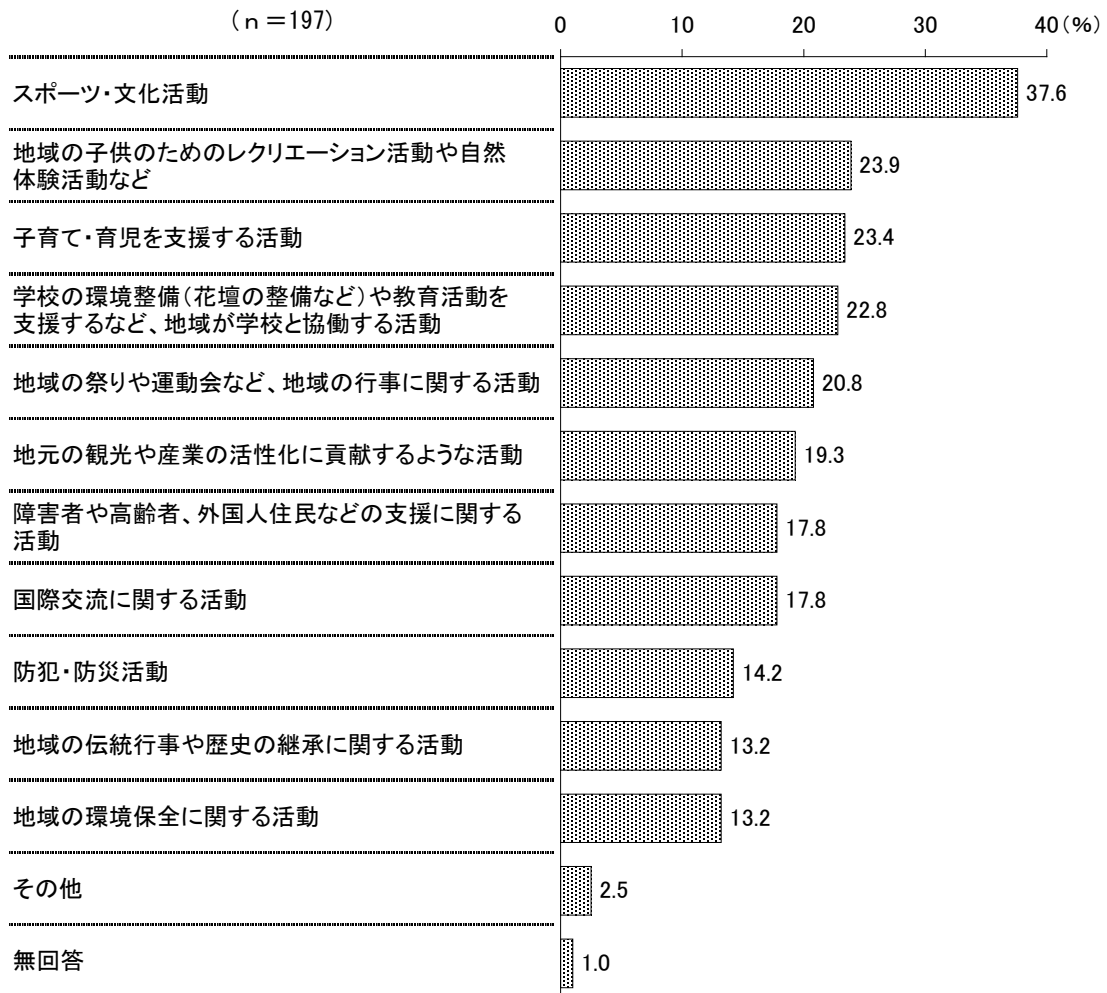


(3) 「まちづくりの視点」から参加したい具体的な「学習活動」

◇「スポーツ・文化活動」が37.6%

【問19-1で、「参加したいと思う」と答えた方にお聞きします】

問19-2 あなたはどのような活動に参加したいと思いますか。（いくつでも○印）



「まちづくりの視点から考えたとき、学習活動に参加したいと思う」と答えた方に、具体的な「学習活動」を聞いたところ、「スポーツ・文化活動」が37.6%で最も高く、次いで「地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など」(23.9%)、「子育て・育児を支援する活動」(23.4%)、「学校の環境整備（花壇の整備など）や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動」(22.8%)と続いている。

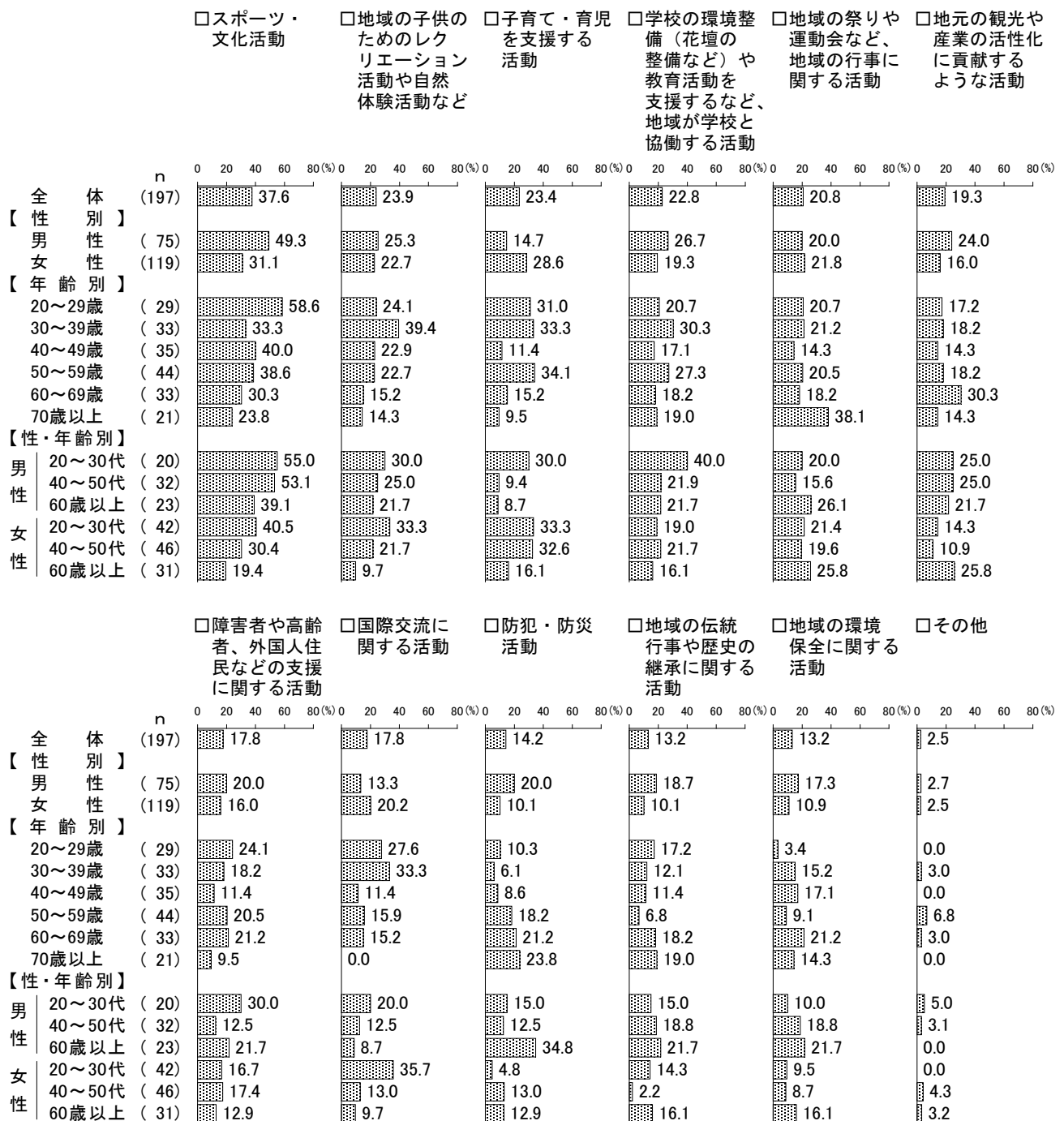
「Ⅲ 調査結果（個人） 6. 市民の生涯学習への意欲・関心
（まちづくりへの参加を一視点として）」

<性別、年齢別、性・年齢別>

性別で見ると、「スポーツ・文化活動」は男性（49.3%）が女性（31.1%）より18.2ポイント高くなっている。一方、「子育て・育児を支援する活動」は女性（28.6%）が男性（14.7%）より13.9ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「スポーツ・文化活動」は20～29歳で58.6%と高くなっている。「地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など」は30～39歳で39.4%と高くなっている。「地域の祭りや運動会など、地域の行事に関する活動」は70歳以上で38.1%と高くなっている。

性・年齢別で見ると、男性20～30代では「スポーツ・文化活動」が55.0%、「学校の環境整備（花壇の整備など）や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動」が40.0%、「障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動」が30.0%と高くなっている。「国際交流に関する活動」は女性20～30代で35.7%、「防犯・防災活動」は男性60歳以上で34.8%と高くなっている。



7 市の生涯学習環境づくりに向けての意見

〔結果と課題（概要）〕

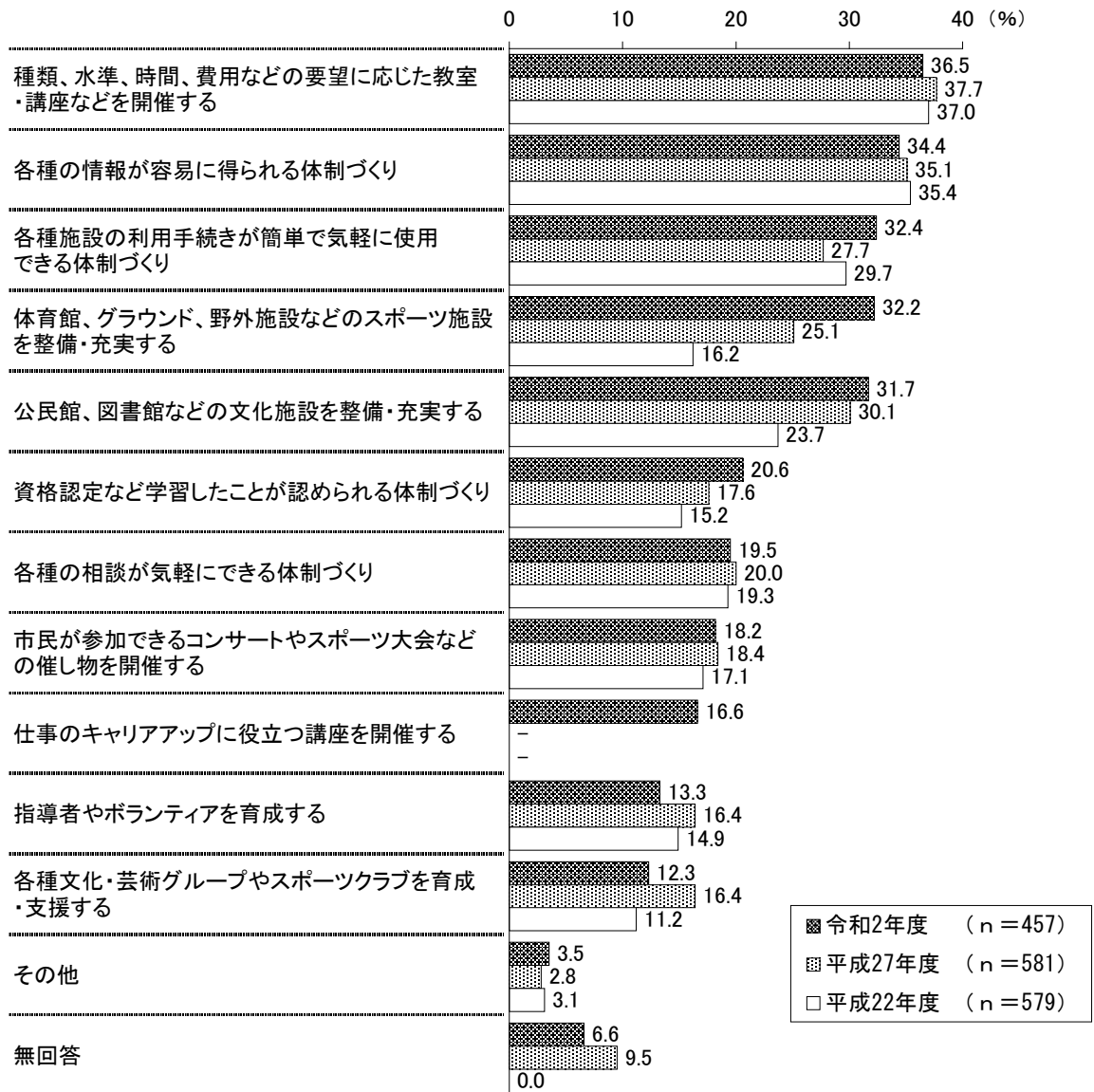
◇講座内容や情報体制といったソフト面の充実が上位だが、施設の設備・充実についても期待度が増している。

◇特に、女性の20～30代では、「資格認定など学習したことが認められる体制づくり」や、「仕事のキャリアアップに役立つ講座の開催」についてもニーズが高い。働き世代にとって参加しやすい講座の在り方や内容、関係課や民間企業等と連携した情報発信などについても検討していく必要がある。

(1) 生涯学習環境づくりに向けた施策の希望

◇「種類、水準、時間、費用などの要望に応じた教室・講座などを開催する」が36.5%

問20 あなたは戸田市の生涯学習を充実させ、盛んにするためにはどのような環境づくりが大切だと思われますか。（いくつでも○印）



※「仕事のキャリアアップに役立つ講座を開催する」は令和2年度から追加された選択肢
※平成22年度では回答個数を3つまでとしていた

生涯学習環境づくりに向けた施策の希望を聞いたところ、「種類、水準、時間、費用などの要望に応じた教室・講座などを開催する」が36.5%で最も高く、次いで「各種の情報が容易に得られる体制づくり」(34.4%)、「各種施設の利用手続きが簡単で気軽に使用できる体制づくり」(32.4%)と続いている。

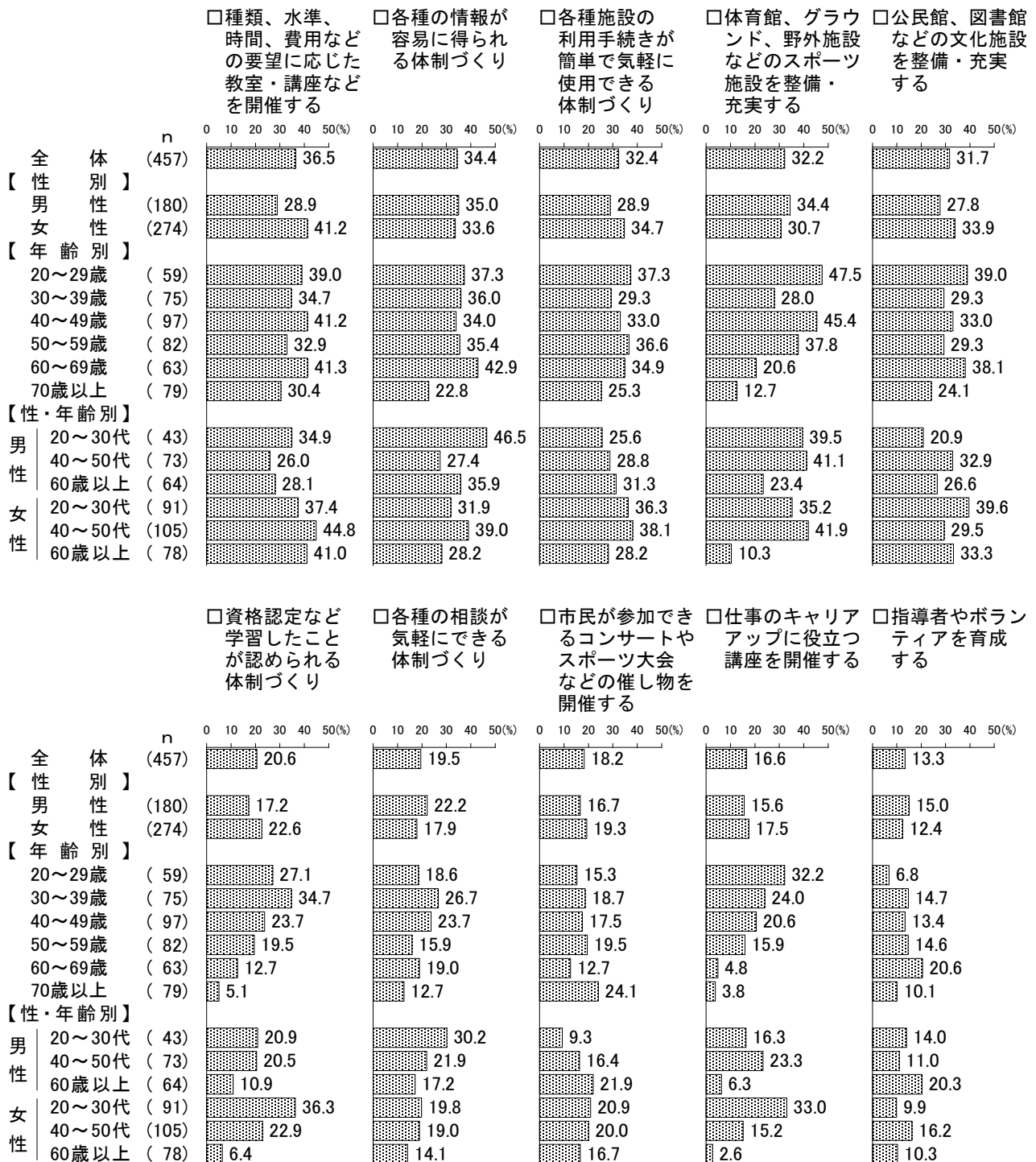
過去の調査結果と比較すると、「体育館、グラウンド、野外施設などのスポーツ施設を整備・充実する」は平成27年度より7.1ポイント増加している。

＜性別、年齢別、性・年齢別＞（上位10項目）

性別でみると、「種類、水準、時間、費用などの要望に応じた教室・講座などを開催する」は女性（41.2%）が男性（28.9%）より12.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「各種の情報が容易に得られる体制づくり」は60～69歳で42.9%と高くなっている。「体育館、グラウンド、野外施設などのスポーツ施設を整備・充実する」は20～29歳で47.5%、40～49歳で45.4%と高くなっている。

性・年齢別でみると、「種類、水準、時間、費用などの要望に応じた教室・講座などを開催する」は女性40～50代で44.8%と高くなっている。「各種の情報が容易に得られる体制づくり」は男性20～30代で46.5%と高くなっている。女性20～30代では、「資格認定など学習したことが認められる体制づくり」が36.3%、「仕事のキャリアアップに役立つ講座を開催する」が33.0%と高くなっている。



＜現在の学習活動の状況別、公共学習施設の利用状況別＞（上位10項目）

現在の学習活動の状況別でみると、「体育館、グラウンド、野外施設などのスポーツ施設を整備・充実する」は現在学習活動をしている人（42.7%）が活動をしていない人（25.1%）より17.6ポイント、「市民が参加できるコンサートやスポーツ大会などの催し物を開催する」は現在学習活動をしている人（24.3%）が活動をしていない人（14.0%）より10.3ポイント、それぞれ高くなっている。

公共学習施設の利用状況別でみると、「公民館、図書館などの文化施設を整備・充実する」は公共学習施設を利用した人（43.0%）が利用しなかった人（26.4%）より16.6ポイント、「指導者やボランティアを育成する」は公共学習施設を利用した人（21.9%）が利用しなかった人（8.4%）より13.5ポイント、それぞれ高くなっている。

